

529
227

7. 5. 3

昭和五年

管内概況及事務概要

花蓮港廳

7. 5. 3

579-227

管内概況及事務概要目次

(昭和七年)

發行所寄贈本

一 管内概況
イ 總叙



- 一 地理
- 二 民情
- 三 風俗ノ變遷
- 四 施政ノ大要
- 五 人口
- 六 人口動態靜態ノ大要並最近ノ戸口
- 七 制度ノ變遷
- 八 事務ノ改善
- 九 法令周知ノ狀況
- 十 政務ニ對スル本島人ノ感觸

八 七 七 七 六 五 三 二 一 一 一 一



111

頁	正誤表	正	誤
一一四	地方廳 俸給 決算	一一九、二八四、五三〇	一一九、二八四、五三〇
一一三	臨時部 殘 受入 高	二九四、四〇〇	二九四、四〇〇
一一一	臨時部 組合 受入 高	六三、四九九	六三、四九九
一〇九	臨時部 組合 受入 高	一六三、一九一	一六三、一九一
一〇八	臨時部 組合 受入 高	四、五五、九三六一	四、五五、九三六一
一〇七	臨時部 組合 受入 高	二、六三五、八二〇	二、六三五、八二〇
一〇六	臨時部 組合 受入 高	一、七三三	一、七三三
一〇五	臨時部 組合 受入 高	二八、七四五〇	二八、七四五〇
一〇四	臨時部 組合 受入 高	七三九九	七三九九
一〇三	臨時部 組合 受入 高	一、五三九	一、五三九
一〇二	臨時部 組合 受入 高	六四五	六四五
一〇一	臨時部 組合 受入 高	二、八二五	二、八二五
一〇〇	臨時部 組合 受入 高	二、八〇〇	二、八〇〇
九九	臨時部 組合 受入 高	八、七三三、二〇一	八、七三三、二〇一
九八	臨時部 組合 受入 高	一一、〇四三	一一、〇四三
九七	臨時部 組合 受入 高	三、六〇〇	三、六〇〇
九六	臨時部 組合 受入 高	三、五二、二八四	三、五二、二八四
九五	臨時部 組合 受入 高	五〇〇	五〇〇
九四	臨時部 組合 受入 高	三〇二	三〇二
九三	臨時部 組合 受入 高	一、四	一、四
九二	臨時部 組合 受入 高	一一、七二一	一一、七二一
九一	臨時部 組合 受入 高	一、〇一八	一、〇一八
九〇	臨時部 組合 受入 高	一、〇一八	一、〇一八
八九	臨時部 組合 受入 高	一、三三八	一、三三八
八八	臨時部 組合 受入 高	一一、三七一	一一、三七一

五 官公吏ニ對スル本島人ノ感觸..... 八

二 財 政..... 九

一 國稅廳地方費稅並稅外負擔..... 九

二 國稅廳地方費稅ノ消長..... 一

三 生産調査ノ大要..... 一三

四 國庫並廳地方費豫算決算ノ大要..... 一四

水 社寺宗教並教育..... 一九

一 神社及宗教ト島民教化..... 一九

二 信仰心ノ變遷..... 二一

三 宗教ト慈善事業..... 二一

四 國民教育ノ普及..... 二二

五 社會教化ノ狀況..... 二三

へ 社會事業ノ一斑..... 二五

ト 公共事業ノ興廢..... 二六

子 交通運輸及水利土工..... 二七

本島市會

リ 産業金融並貿易..... 二九

又 司法保安衛生慈善行政ノ一斑..... 三六

ル 官營移民..... 三九

二 事務ノ概要..... 四三

イ 庶務課文書係主管..... 四三

一 秘書事務..... 四三

二 文書事務..... 四六

三 統計事務..... 四九

四 恩給事務..... 五〇

ロ 庶務課會計係主管..... 五一

一 經費出納事務..... 五一

二 其ノ他..... 五二

ハ 稅務課直稅係主管..... 五二

一 地 租..... 五三

二 官 租..... 五五

三 所得稅.....	五五
四 鑛區稅.....	五七
五 土地臺帳及地圖.....	五七
六 地籍.....	五八
七 土地測量標.....	五九
八 相續未定地.....	六〇
九 土地整理組合.....	六〇
二 稅務課間稅係主管.....	六〇
一 砂糖消費稅.....	六〇
二 酒精稅.....	六一
三 間接國稅犯則者處分.....	六四
四 間接國稅ノ消長.....	六五
水 稅務課應地方費稅係主管.....	六五
一 一般事務.....	六五
二 應地方費稅及稅外收入.....	六六

三 應地方費稅調查及監視.....	六六
四 應地方費稅調查委員.....	六六
五 應地方費稅ノ消長.....	六七
へ 稅務課徵收係主管.....	六八
一 一般事務.....	六八
二 國稅及稅外收入ノ消長.....	六九
三 應地方費稅及稅外收入ノ消長.....	七〇
四 國稅應地方費並公課負擔ノ狀況.....	七一
ト 庶務課調停係主管.....	七三
一 民事爭訟調停.....	七三
二 民事爭訟調停執行事務.....	七四
チ 庶務課庶務係主管.....	七五
一 行政區劃ノ異動.....	七五
二 街庄協議會及協議會員.....	七五
三 街庄職員ノ任免.....	七八

四 區職員ノ任免	七九
五 街庄ノ行政經濟並監督	八〇
六 埤圳水利	八九
七 國庫及廳地方費財產ノ管理處分	九四
八 市區改正	九六
九 森林原野	九六
一〇 兵事事務	九七
一一 其ノ他	九八
リ 庶務課土木係主管	九九
一 營繕	九九
二 土木	一〇〇
三 庶務	一〇四
又 庶務課教育係主管	一〇五
一 社寺宗教事務	一〇五
二 教育事務並教化改善事務	一〇五

ル

三 賑恤慈善感化及其ノ他ノ社會事業	一一〇
庶務課勸業係主管	一一四
一 農業事務	一一四
二 林業事務	一二七
三 水産事務	一三一
四 船舶	一三六
五 鑛業事務	一三六
六 商工事務	一三六
七 畜産事務	一三九
八 移民事務	一四一
才 警務課警務係主管	一四四
一 警務事務	一四四
二 經理事務	一五二
ワ 警務課保安係主管	一五二
一 保安事務	一五三

二 司法事務	一六〇
力 警務課衛生係主管	一六二
一 衛生事務	一六二
二 防疫事務	一七六
三 警務課理蕃係主管	一八五
一 教化教育事務	一八五
二 授產事務	一八六
三 蕃地衛生事務	一八九
四 防備事務	一八九
夕 將來施設事項ノ大要	一九〇
一 教育	一九〇
二 勸業	一九一
三 管繕	一九二
四 土木	一九三
五 衛生	一九六

六 理蕃	一九八
------	-----

以上

管内概況及事務概要

一管内概況

イ 總 叙

一 地

理

花蓮港廳ハ東部臺灣ノ中央ニ位シ北回歸線其ノ南部ヲ貫通ス東方ノ大部分ハ海ニ面シ西ハ中央山脈ノ脊梁ヲ以テ臺中州及高雄州ノ一角ト境シ南ハブラクサン山、崙天山及海岸山脈ノ一部ヲ以テ臺東廳ニ隣シ北ハ大濁水溪ヲ以テ臺北州ト相接ス

廣袤東西約七里乃至十一里、南北三十五里餘ニシテ面積約三百方里ナリ山野ノ分布ハ概ネ山地八、七平地〇、七河川〇、六ノ割合ナリ、應ノ西方ヲ限ル中央山脈ニハ北ニ南湖大山南ニ南雙頭山アリ其ノ間一萬尺以上ノ峻嶺三十二峰ヲ數ヘ而モ尙他ニ一萬尺以上ノ高峰各所ニ聳立シ別ニ應ノ東方ニ海岸山脈アリテ中央山脈ト並走ス、河川ノ重ナルモノ南ニ秀姑巒溪、北ニ花蓮溪タツキリ溪等アリ何レモ高山山麓ニ源ヲ發スルヲ以テ概ネ急流ニシテ常時ハ水量ニ乏シク雨期ハ氾濫甚シク流域モ亦變遷シテ到底舟筏ヲ通スルヲ得ス

現在ノ海岸ハ大部分斷崖絶壁ニシテ港灣ヲ形成セサルニ因リ船舶ノ碇泊ニ適セサルモ花蓮港築港完成ノ曉ハ三千噸級ノ船舶三隻大型魚船五十艘ヲ繫留シ得ヘシ

(イ) 一般民情

各種族間ノ折衝ハ概シテ良好ニシテ著シキ變化ヲ認メス住民ハ各種族毎ニ各々其ノ風習並進化ノ状態ヲ異シ又生活教育ノ程度同シカラス從テ西部地方ニ於テ見ルカ如キ激越性ヲ帶フル者ナキカ如キモ時代思潮ノ大勢ト交通ノ利便トナリタルニ伴ヒ或一部ニ於テハ漸次思想惡化ノ徵ナキニアラス殊ニ本島人ノ思想傾向ニ就テハ著シキ變化ヲ認ムルニ至レリ

(ロ) 街庄區域内ニ於ケル民情

花蓮港街ニハ四千五百六十七人ノ内地人五千八百一人ノ本島人アリ其ノ差ハ他ノ都市ニ見ルカ如キ大ナル懸隔ナキヲ以テ優越セル内地人ノ實力ニヨル威化力ハ本島人ヲシテ和衷共同ノ精神ヲ養ハシメ民情極メテ靜穩ナリ

玉里庄ハ玉里ノ一市街地ト織羅觀音山等ノ蕃人部落ヲ包含シ内地人本島人ノ多クハ市街地ニ居住シ水道其ノ他衛生上ノ諸施設アルモ地方部落ニハ未タ其ノ恩惠ニ浴セス然レトモ之カ爲地方部落民ノ感情ヲ害スルコトナク圓滿ナル發達ヲ遂ケ民情極メテ純朴ナリ

(ハ) 區ノ區域内ニ於ケル民情

廳下八區中吉野區ハ純然タル内地村ニシテ村民間ニ吉野村居住民會ナルモノヲ設ケ規約ヲ以テ負擔ヲ約束シ

衛生、治水、土木、交通等ノ自治的施設ノ資源ニ供ス故ニ本居住民會ハ恰モ内地ニ於ケル村會ノ如ク自治的訓練アル點ニ於テ全島ニ其ノ比ヲ見ス從テ本會ヲ助成スルハ他日街庄制施行ヲ容易ナラシムルモノニシテ村民モ亦街庄制實施ノ一日モ早カラムコトヲ希望シ居レリ、又壽區ノ如キモ吉野村ト同様ナル純内地人村タル豊田村アリ、壽村ハ鹽水港製糖株式會社花蓮港製糖所ノ所在地ニシテ多數有力ナル内地人集團在住シ地勢民情、財政狀態等々自治團體トシテノ諸要件ヲ具備シツツアリ、次ニ鳳林區鳳林ハ廳下ニ於ケル第三位ノ市街地ニシテ諸施設次第ニ整頓シツツアリ、以上ノ地方ハ人文啓ケ教育普及シ早晚街庄制ノ實施セラルヘキ地方ナリ以上ノ外各區ハ概シテ住民ノ生活程度低ク民情ハ敦厚ナリト雖未タ自治ヲ要求スルニ至ラス

三 風俗ノ變遷

内地人ニ對シテハ特筆スヘキ事項ヲ認メス
本島人中ノ所謂新人ナルモノニ在リテハ一時衣服住居ヲ内地人ニ倣ハントスルモノナキニアラサルモ一般本島人ハ其ノ實生活ニ適セス且不經濟ナリトナシ本島古來ノ風習ヲ保守シツツアル状態ナリ又アミ族ニ在リテハ内地人風ニ倣ヒ神棚ヲ設ケ禮拜スルモノ漸次増加シツツアルモ一面衣服家屋等ハ本島人ニ習フノ風アリ之レ彼等實生活上ノ便宜ニ依ルモノト認メラル

四 施政ノ大要

(一) 地方行政

花蓮港街、玉里庄ニ於テハ財政ノ基礎未タ充分鞏固ナラスト雖指導監督ノ徹底ニ依リ墾實ナル發達ヲ期シツ
ツアリ、行政事務執行補助機關タル吉野區外七區ニ在リテモ近時一般ノ事象進歩ノ顯著ナルモノアリ將來街
庄制施行ノ機運ヲ促進スヘク各種産業開發ノ施設ヲ爲シ民力ノ充實ヲ計ルト共ニ自治精神ノ訓練ニカメツツ
アリ

(二) 教育

小公學校教育ノ學力向上ニ就テハ年來ノ方針ニ基キ教員心得ニ對シ教授力ノ養成並教育事務ノ統一其ノ他各
般ニ亘リ内容ノ充實ニカヲ致シツツアリ本年度中既設學校ノ學級増加セルモノ小學校一公學校五アリ、社會
教化ニ關シテハ青年指導示針ヲ定メ青年團ノ増設ヲ圖リ指導者ノ養成講習會ヲ開設シ又一面國語夜學會ノ內
容充實改善ヲ圖リ國語ノ普及國民性ノ陶冶ニ努メ特ニアミ族ノ教化指導ニ就テハ最モ力ヲ致シ毎年蕃社月見
祭ナル行事ヲ施行シ蕃社ヲ內地式ニ教化シツツアリ

(三) 勸業

開墾ヲ督勵シテ耕地ヲ擴張シ圳路ノ改修ニ依ル水利ヲ興シ綠肥ノ栽培ヲ獎勵シテ地力ヲ増進シ米種改良事業
ヲ實施シテ產米ノ改良増殖ヲ策シ種牡牛ノ設置ニ依リ產牛ノ改良ヲ圖リ獸疫ノ豫防ヲ督勵シテ畜產ノ發達ヲ
助長セシム又一面農會ヲシテ水稻ノ試作牛豚及鶏ノ改良増殖果樹栽培粉乾燥場及堆肥舍ノ建設獎勵等ヲ爲
サシメ更ニ農事改良組合ヲ組織セシメ一般ノ農事改良ヲ期セシム又林業ハ廳下總面積ノ約八割七分ヲ占ム山

林ヲ有シ未タ斧鉞ノ跡ナキ蓄材積豐富ナルヲ以テ其ノ森林ヲ開拓シテ良材ヲ內地ニ移出シ又沿岸三十五里ニ
亘ル海洋ハ魚族豐富ニシテ就中惣田鯉多ク龜節製造講習會ヲ開設シテ加工法ヲ習得セシム更ニ各地ニ信用組
合又ハ事業組合ヲ組織セシメ小口資金ノ融通個人經濟ノ向上ヲ圖ラシムル等地方産業發展ノ促進ヲ圖リツツ
アリ

(四) 警察

廳下ハ人口稀薄ニシテ文化ノ程度西部ニ比肩シ得サルトコロナリト雖住民ハ內地人、本島人、蕃人、支那人ノ各
種族ヲ包擁シ執レモ言語習慣ヲ異シ民度亦同シカラス殊ニ廳下人口ノ大半ヲ占ムルアマミ族ニ對シテハ警察官
吏ノ保護ニ俟ツモノ多ク一面近年海陸ノ交通頻繁トナリ一般文化ノ向上スルニ從ヒ思想ノ變遷著シク之ニ伴
ヒ諸種ノ犯罪逐年増加シツツアリ

以上ノ外土木、衛生並産業ニ關スル施設ノ狀況ニ付テハ別項事務概要中ニ記述シアルヲ以テ此處ニ之ヲ略ス

口 戸 口

一 人口ノ動態、靜態ノ大要並最近ノ戸口

廳下ノ人口ハ年年増加ノ情勢ニアリ之ヲ種族別ニ見ルニ內地人、蕃人(アマミ族)、支那人ハ著シキ變動ナキモ
單リ本島人ハ増加率著シク最近五箇年間ニ於テ二千三百人ノ増加ヲ示セリ是近年交通機關ノ發達ト最近擡頭
シタル東部開發ノ聲ニ刺戟セラレ西部方面ヨリ轉住スルモノ多キヲ加ヘタルニ因ル尙每年製糖期及漁期ニ於

テ多数ノ人夫轉入シ事業期ヲ過クルモ其ノ儘殘留スルモノ多シ

種族	戸数	人口	人口動態		摘要
			男	女	
内地人	三、五一五	六、五〇八	五、七七七	一一、二八五	
本島人	八、二八一	二〇、一六三	一六、七二六	三六、八八九	
蕃人	三、七〇七	一一、五六六	一一、六八〇	二三、二四六	蕃地ノ蕃人ヲ含マス
朝鮮人	二	八	一一	一九	
計	一六、〇五八	三九、六四一	三四、八〇二	七四、四四三	

種族	出生	死亡	結婚	離婚	轉入		轉出		年末現在人口
					戸数	人口	戸数	人口	
内地人	四二五	二〇	三三	一	一、三二二	一、三三〇	三、五二五	二、二八五	
本島人	一、四四四	六六	三八八	三二	一、八九四	七、一六四	二、八六三	三六、八八九	
蕃人	一、〇八四	六二	三六〇	三二	三、七七一	二、〇六〇	一〇、六八〇	二三、二四六	
朝鮮人	一	一	一	一	二	二、一〇四	一一	一九	
計	二、九六六	一〇三	八二二	二二	三、七〇二	三、五〇八	一七、九六六	七四、四四三	

八 政 務

一 制度ノ變遷

本年八月九日廳訓令第十四號ヲ以テ花蓮支廳下バトラン駐在所玉里支廳下三四溪鏡水ボッコノ三警察官吏駐在所ヲ廢シ同時ニ鳳林支廳下ニ安來大安ノ二警察官吏駐在所ヲ新設シ更ニ十月二十八日廳訓令第二十七號ヲ以テ研海支廳下ニ海鼠山警察官吏駐在所ヲ新設セリ而シテ當廳巡查ノ定員ハ前年ノ通り(五百六十三名)ニシテ各般警察行政上ノ實績順調ニ實行セラレツツアリ

二 事務ノ改善

(一) 本年四月一日訓令第七號ヲ以テ廳分課規程施行細則ヲ改正シ同日訓令第八號ヲ以テ廳事務代決規程ヲ制定シテ一般事務取扱上ノ改善ヲ圖リ事務簡抄ヲ講シタリ

(二) 本年四月二十九日廳訓令第九號ヲ以テ巡查部長勤務規程ヲ制定シ巡查部長トシテ其ノ實際ノ勤務ニ適應スル各々勤務ノ性質ニ依リ監督ノ方法及其責任ヲ明カニシ以テ警察事務ノ改善ヲ圖ルコトトセリ

三 法令周知ノ狀況

法令周知ハ制規ノ公布式ニ依ル所ナリト雖尙之カ徹底ヲ期スル爲新ニ法令ノ公布アリタル場合ハ特ニ街庄區長ヲシテ區委員或ハ區總代ニ周知方ヲ令達シ其ノ他警察官吏ヲシテ保甲議會又ハ蕃社會議等ノ機會ニ於テ周知セシムルノ方法ヲ執リツツアリ、廳下ハ一街一庄八區及蕃地ノ區分アリテ之ニ對スル政令各同シカラス又在住民ニハ内地人本島人蕃人等ノ種族別アリ其ノ民度各異ルヲ以テ法令實施ノ狀況ハ一概ニ論スル能ハサル

モ内地人ハ多年内地ニ於テ自治ノ訓練ヲ受ケ常ニ優秀ノ地位ヲ占メ直接間接本島人蕃人等ニ範ヲ示シツツアリ、本島人ハ近時文化ノ發達ト共ニ一般智識向上シ法令ノ理解力増加シツツアルモ其ノ大多數ハ不知不識法令ニ違反スルモノ尠ナカラサルヲ以テ常ニ保甲役員ヲ督勵シテ特ニ指導ヲ怠ラス平地アミ族ハ本島人ニ比シ民度更ニ低ク殆ト法令ニ對スル理解ヲ有セサル状態ニ在ルモ彼等ハ性純朴ニシテ能ク官憲ノ指導ニ倚賴シ概シテ堅實ニ社會的發達ヲ遂ケツツアリ、此ノ外管内住民ノ内蕃地ニ居住スル「タイヤル」「プヌン」ノ兩族ハ其ノ智能ノ發達社會的地位等ヨリシテ未タ之ニ法令ヲ適用スルノ域ニ達セス其ノ他ノ一般住民ニ對シテハ之カ實施上何等ノ障礙困難ヲ感セス又曾テ警察處分等ニ對シ不平ヲ唱ヘ訴願ヲ爲シタル等ノ事例ナク諸法令極メテ適順ニ行ハレツツアリ

四 政務ニ對スル本島人ノ感觸

最近西部トノ交通著シク利便トナリタルニ從ヒ廳下在住本島人ニシテ表面政務信賴ノ態ヲ裝フカ如キモ其ノ反面ニ一部ノ者施政ノ是非ヲ云爲シ或ハ其ノ取扱不公平ヲ論難スル者ナキニアラサルモ大體ニ之ヲ觀察スルトキハ質朴柔順政務ニ信賴シ居ルモノト認ムルヲ得ヘシ

五 官公吏ニ對スル本島人ノ感觸

内地人官公吏ニ對シテハ表面敬意ヲ表シ居ルカ如キモ其ノ反面取扱ノ不公平ヲ難シ相當反感ヲ抱藏スル者アルカ如シ然レトモ之カ爲一般ニ影響スルカ如キ事端ヲ惹起シタルコトナシ

二 財政

一 國稅、廳地方費稅並稅外負擔

(イ) 負擔

區分	頁 額	一 月 當	一 人 當	備 考
國 稅	一一〇、一一八	七、二〇二	一、五二〇	昭和五年末現在
廳 地方費稅	一五二、六四二	九、九八四	二、一〇八	人口 七二、四二一人
街 庄 稅	五五、七二八	一〇、八六三	二、四七八	戶數 一五、二八九戶
其ノ他ノ公課	五六、六四一	三、七〇五	七、八二	人口 二二、四八一人
				戶數 五、一三〇戶

備考 間接稅ニ屬スルモノ國稅中砂糖消費稅、酒精稅、廳地方費稅中遊興稅、屠宰稅、街庄稅中遊興稅、屠宰稅則ヲ除キタルモノナリ

(ロ) 昭和五年度收入豫算ト實收額トノ對照

昭和五年度中國庫歲入金參拾七萬四百九拾九圓餘廳地方費歲入參拾萬七百九拾七圓餘ニシテ國庫歲入豫算ハ本應ヨリ報告シタルモノ廳地方費歲入ハ豫算分達ニ依ルモノニシテ其ノ收入豫算ト實收額トノ對照左ノ如シ

國庫歲入			
區分	收入豫算額	收入實額	差引過△不足
區分	收入豫算額	收入實額	差引過△不足

租 官有及 官有 財產 收入	租 官有 收入	雜 收 入	官 有 物 拂 下 代 入	雜 收 入	官 有 物 拂 下 代 入	臨時 部 計	合 計
一九六、〇八三	八一、七六五	一九、九七〇	二九七、八一八	二一、六七〇	五〇	二一、七二〇	三一九、五三八
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二二一、六三五	一一八、二〇二	一六、四四四	三四六、二八三	二二、九〇〇	三一六	二四、二一六	三七〇、四九九
八二〇	四五〇	九六五	二三五	一九〇	二五〇	四四〇	六七五
一五、五五二	三六、四三七	三、五二五	四八、四六五	二、二三〇	二六六	二、四九六	五〇、九六一
八二〇	四五〇	〇三五	二三五	一九〇	二五〇	四四〇	六七五

應地方費歳入

地 租 附 加 稅	所 得 稅 附 加 稅	戶 籍 稅	營 業 稅	雜 種 稅	雜 種 稅	經 常 部 計	貸 付 價 還 金	臨時 部 計
三九、九九八	二、四〇九	一一、八四三	五五、五八〇	五三、一六三	六三、〇五三	二二六、〇四六	一	一
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	一	一
四二、七一八	一、六五一	一一、七五九	六八、九三四	六四、六〇五	九五、五五二	二八五、二二三	一五、五七四	一五、五七四
九一〇	九三〇	二四〇	八九〇	四六〇	七九〇	二二〇	四六〇	四六〇
二、七二〇	七五七	八三	一三、三五四	一一、四四二	三二、四九九	五九、一七七	一五、五七四	一五、五七四
九一〇	〇七〇	七六〇	八九〇	四六〇	七九〇	二二〇	四六〇	四六〇

總計	二二六、〇四六	〇〇〇	三〇〇、七九七	六八〇	七四、七五一	六八〇
----	---------	-----	---------	-----	--------	-----

街庄稅

區 分	收 入 課 算 額	收 入 額	差 引 過 △ 不 足
地 租 稅	二、九一〇	三、〇六七	一五七、四九
所 得 稅	二〇五	二〇七、五六	二、五六
戶 籍 稅	三三、四九六	三三、七二四	二二八、二六
營 業 稅	一三、七一〇	一四、八四八	一、一三八、二〇
雜 種 稅	九、〇六〇	九、七二七	六六七、三三
總 計	五九、三八一	六一、五七四	二、一九三、八四

二國稅、應地方費稅ノ消長

地租ハ各移民村ノ所有權移轉豫約開墾ノ成功登錄地目變換ニ因ル異動處分ノ結果増加シ砂糖消費稅ハ新式工場ニ於テ工場經濟ノ見地ヨリ蔗園面積ノ増加ニ意ヲ用ヒス專ラ優良品種ノ改良ニ力ヲ注キ收穫及歩留ノ向上ニ努メタル結果甲當收穫ノ増加ト製糖歩留ノ西部地方ノ夫ト比較シ遜色ナキニ至レルモ製品ノ殆ト全部カ内地移出ナルヲ以テ稅收入極メテ僅少ナリ舊式糖廠ニ於テハ作業ハ持續シツツアルモ採算上有利ナラス額稅ニ於テモ前年ニ比シ僅カニ増加シタルノミナリ酒精稅ノ前年ニ比シ著シク減少シタルハ年來ノ賣行成績ニ鑑ミ需要ヲ考慮シ製造手控ヲ爲シタルト隣邦支那方面ヘノ輸出殆ト杜絶シタルト徵收猶豫期間中工業用ニ使用

シタル結果減少シタルモノニシテ所得税ノ第一種所得税ニ於テ増加シタルハ主トシテ電氣事業ノ自然増收ニ因ルモノニシテ第二種所得税ノ減少セルハ臺灣銀行定期預金ノ減少ニ依ル第三種所得税ノ増加ハ納税人員ノ増加及田畑所得並商工業所得ノ増加ニ因ルモノナリ阿片收入ノ前年ニ比シ増加シタルハ阿片令規則改正ニ依リ阿片吸食者數ノ増加ニ因ルモノニシテ森林收入ノ増加ハ延納許可關係ニ依ル増加ナリ而シテ昭和四年度總收入額四十二萬二千六百四十五圓九十一錢ニ對比シ本年度三十七萬四百九十九圓六十七錢五厘ニシテ差引五萬二千四百四十六圓二十三錢五厘ノ減少ヲ示セリ

應地方費稅及稅外收入

地租附加稅ハ本稅タル地租ノ増加ニ伴ヒ自然増加シ所得稅附加稅ノ減ハ各法人事業不振ノ結果所得ノ減少ニ因ルモノニシテ戶稅ノ増加ハ配賦額ノ増加ニ依ルモノナリ營業稅ノ増加ハ交通機關ノ完備ト人口増加並蕃人生活程度向上ニ因ル購買力ノ増進ト各種事業進展ニ因ル増ニシテ雜種稅ノ増加ハ應下一般道路ノ開鑿改修等ニヨリ車ノ増加ニ因ル増ナリ雜收入ノ前年ニ比シ著シク増加シタルハ主トシテ貸付償還金ノ新設ト貸下料水道給水料ノ増加ニ因ルモノニシテ要スルニ昭和四年度總收入額二十六萬九千六百七十三圓二十四錢ニ對比シ昭和五年度ニ於テ四十七萬五千六百六十八圓二十九錢ニシテ差引二十萬五千四百九十五圓五錢ノ増加ヲ示セリ

街庄稅

街庄稅ハ主トシテ國稅及應地方費稅ノ附加稅ニシテ從テ其ノ消長ハ本稅ト始終ス本年度及前年度トヲ對照セ

ハ左表ノ如シ

稅目別收入額

稅目	昭和四年 見込額	昭和五年 見込額	増減	備考
地租	二、八九二	二、九一〇	一八	
所得稅	一九九	二〇五	六	
戶稅	三三、三二七	三一、八七七	一、四五〇	
營業稅	一一、二〇九	一三、一一〇	九〇一	
雜種稅	八、八三五	九、〇六〇	二二五	
計	五七、四六二	五七、一六二	三〇〇	

三 生産調査ノ大要

戶稅生産調査ノ方法及情況

調査着手前以テ其ノ衝ニ當ル街庄吏員及區書記ヲ本廳ニ招集シ調査上ニ於ケル必要事項ノ打合ヲ爲シ且調査心得ヲ指示シ全管内ノ統一公平ヲ圖リ各種資料ヲ蒐集シ關係街庄區ニ通報シテ調査ヲ便ナラシメ現住者ハ所轄警察官署備付ノ戶口簿ヲ参照セシム街庄區ニ於テハ各種資料ヲ參考トシ實地調査ニ依リ各人別生産額ヲ算定ス而シテ調査半ニ際シ應職員ヲ街庄區ニ派遣シテ負擔ノ權衡ニ留意モシム調査ノ結果昭和五年度調査生産額ハ前年度ニ比シ四分八厘ノ増加ヲ示セリ

ノナルヲ以テ島民教化上極メ重要ナル問題ナリト謂ハサルヘカラス、近時教育ノ普及社會文化ノ進運ニ伴ヒ敬神ノ念歲ト共ニ加ハリ爲ニ神社參拜者逐年増加シツツアリ、廳下各神社ニ於ケル本年中ノ參拜者總數七萬四千人ニ及ヘリ

(ロ) 宗教ト島民教化

舊慣ニ依ル宗教

本島在來ノ宗教ハ何レモ實利的ニシテ神格教義ヲ無視シ専ラ除災招福治病ノ爲ノ信仰ニシテ地方教化ノ爲ニ努力スルヲ聞カサルモ齋友中ニハ稍々自覺スル者アリ内地傳來ノ佛教教徒ト相提携シテ佛教宣傳ニ意ヲ用ヒ島民教化ニ努力シツツアルヲ見ルニ至レリ

神道

神道ニハ實行教金光教、天理教ノ三教派アリ各布教所一箇所布教師一名アリテ何レモ内地人布教ニ從事シ未タ島民教化ニ着手スルニ至ラス

佛教

臨濟宗ハ廳下ニ寺院一箇所、布教所一箇所ヲ有シ住職一名布教師一名アリテ内地人布教ノ傍島民（主ニタイヤル族）教化ニ努メ現在内地人七五二島民一一八ノ信徒ヲ有ス

淨土宗ハ寺院一箇所布教所一箇所任職一名布教師一名アリ内地人六八四本島人一六二

ノ信徒ヲ有ス

眞宗本願寺派ニハ布教所五箇所布教師五名アリテ内地人二、八三九本島人一四〇ノ信徒ヲ有ス

其ノ他廳下ニハ眞言宗及日蓮宗アリ何レモ布教所一箇所布教師一名アリテ布教ニ精勵シツツアリト雖内地人本位ノ布教ニシテ島民ノ教化ヲ閉却セルハ洵ニ遺憾トスルトコロナリ

基督教

長老教ニハ北部臺灣基督長老教會所屬ノ教會六箇所、講義所一箇所、牧師二名、傳道師四名アリテ本島人布教ニ從事シ信徒一、四一八ヲ有ス

東洋宣教會ホーリネス教會ニハ教會二箇所、福音使二名、定住福音使一名、傳道使一名アリ内地人傳道ノ傍アマミ族教化ニ意ヲ用ヒ漸次信徒増加シツツアリ

二 信仰心ノ變遷

教育ノ普及、産業ノ振興、交通機關ノ發達ニ伴ヒ思想ノ啓發習俗ノ改善等見ルヘキモノアリト雖本島人間ニ於ケル信仰心ハ依然舊套ヲ脱セス除火招福治病等ノ祈願ニ依ル信仰者最モ多シ善人間ニハ社遙拜所ヲ建立シ各自屋内ニ神棚ヲ設クル者漸次増加シ毎年舊曆八月十五日前後ニ行ハル廳ニ於テ指導スル月見祭實施以來敬神思想頓ニ向上セルヲ認メラル

三 宗教ト慈善事業

本項該當事項ナシ

四 國民教育ノ普及

(一) 中等教育

花蓮港高等女學校ハ昭和二年四月一日廳地方費立トシテ設置開校セラレ昭和六年三月二十三日第一期卒業生内地人三十六名、本島人二名ヲ出セリ、昭和五年四月末日現在一學年五十名、二學年四十五名、三學年三十一名、四學年四十名ニシテ之ヲ種族別ニスレハ内地人百五十一名、本島人十二名、アミ族三名ナリ、職員ハ校長一名、教諭八名、嚮託三名、書記一名、雇一名、計十二名ナリ

(ニ) 實業教育

花蓮港農業補習學校ニ於ケル昭和五年四月末日現在生徒數ハ一學年四十九名、二學年三十一名ニシテ之ヲ種族別ニスレハ内地人一名本島人一名アミ族七十八名ナリ職員ハ校長一名助教諭二名計三名ナリ

(三) 初等教育

小學校 昭和五年四月末日現在十二校、四十九學級ニシテ何レモ尋常高等小學校ナリ、兒童總數二千十五名ニシテ其ノ中共學生本島人二十三名、アミ族十三名ヲ收容ス職員ハ訓導五十三名、准訓導三名教員心得十一名、合計六十七名ナリ

公學校 昭和五年四月末日現在二十校百十四學級ニシテ校種別ニスハレ六箇年制公學校八内高等科ヲ置ク

モノ一、四箇年制公學校十二ニシテ本島人兒童二千五百六十二名蕃人二千七百五十名他ニ内地人共學兒童八名アリ職員ハ訓導八十六名准訓導十三名教員心得四十二名計百四十一名ナリ

(四) 幼稚園

花蓮港第一幼稚園 花蓮港街立ニシテ大正十四年設立ニ係リ内地人子女ヲ收容ス、昭和五年四月末日現在男五二名女四八名ニシテ二組ナリ園長ハ花蓮港小學校長之ヲ兼務ス職員ハ保姆一名保姆心得一名ナリ
花蓮港第二幼稚園 昭和三年三月一日ノ設立ニ係リ本島人子女ヲ收容ス 昭和五年四月末日現在園兒四十一名ニシテ園長ハ花蓮港公學校長之ヲ兼務ス職員ハ公學校ヨリ兼務ス

(五) 私立學校

私立花蓮港中學會 小公學校卒業者ニシテ上級學校ニ入學ヲ希望スルモ家庭其ノ他ノ事情ニ依リ就學出來サル者ノタメニ、昭和二年五月一日私立花蓮港中學會ヲ設立シ夜間教授ヲ爲シ花蓮港街長之カ會長タリ職員ハ街有志ニ依リ奉仕的無報酬教授ヲ繼續シツツアリ、昭和五年四月末日現在生徒數内地人四十二名本島人十三名蕃人六名計六十一名ニシテ職員内地人二十四名本島人一名ナリ

五 社會教化ノ狀況

(一) 青年團

昭和五年十月三十日花蓮港廳訓令第三十號ヲ以テ青年團設置準則ヲ發布シ其ノ指導ト組織ノ基準ヲ定メ既設

青年團ニ在リテハ本訓令ニ基キ組織編制統一ヲ圖リ未タ設置ヲ見ナル地方ニ對シテハ堅實ナル團體設置ノ機運醸成ニ努メツツアリ現況左ノ如シ

男子青年團數一九、中内地人三、本島人五、蕃人一

女子青年團數一一、中内地人三、蕃人八

(二) 婦人會

婦人會ニ主婦會一、佛教婦人會五アリ主トシテ主婦ヲ以テ組織シ集會ノ都度婦徳ノ修養思想ノ向上等ニ關スル講演又ハ講習會ヲ開催シ一面共同事業ニ依リ資金ノ造成ヲ圖リ貧困者又ハ罹災者ノ救助慰問等ヲ爲シ其實績ヲ擧ケツツアリ

(三) 青年訓練所

吉野村及林田村居住民會ニ於テハ大正十五年四月勅令第七〇號ヲ以テ發布セラレタル青年訓練所令ニ準シ昭和二年九月二十四日吉野村ニ昭和五年十二月十一日林田村ニ青年訓練所ヲ設置シ修身公民科普通科職業科ノ外ニ教練ヲ課シ青年ノ志氣ヲ練リ心身ノ練磨ト素質ノ向上ヲ圖リツツアリ現在訓練生左ノ通り

吉野村青年團訓練生 五十二名

林田村青年團訓練生 二十二名

(四) 共勵會

花蓮支廳内ニ事務所ヲ置キ管内各蕃社ニ分會ヲ有シ各種社會教化團體ト相提携シ教育獎勵生活改善勤儉貯蓄産業獎勵體育衛生保健其ノ他大衆教化ノ爲着々効果ヲ收メツツアリ

(五) 國語普及

現在廳下ニ於ケル國語普及會ハ其ノ數一七、會場數五三、會員一、八九二ヲ有ス是等各會ニ於テハ農繁期ヲ除クノ外夜學會ヲ開設シ公學校卒業者不就學者半途退學者等ニ分テ修身國語算術唱歌遊技等ヲ教授シ専ラ國語ノ普及ヲ圖ルト共ニ習俗ノ改善思想ノ善導ニ努メツツアリ

(六) 圖書館

昭和三年四月一日花蓮港街立圖書館ノ設置以來該館ノ利用者漸次多キヲ加ヘツツアリ、昭和五年度末ニ於ケル藏書冊數和漢書二、〇五八冊、閱覽延人員八、五七一内本島人四、三〇二アリ、閱覽延冊數ハ八、八〇四冊内本島人三、一八八冊ニ及ヘリ

へ 社會事業ノ一斑

社會事業施設

名	稱	所在地	代表者	事業別	經營	
花蓮港旅行病人救護所	花蓮港街	瑞穗溫泉公共浴場	瑞穗區	廳地方費管理者花蓮港廳長	療養、保健衛生	同 廳地方費

新城無料宿泊所	研海區	同	宿泊保護	同
花蓮港街市市場	花蓮港街	花蓮港街長	經濟保護	街營
玉里市市場	玉里庄	玉里庄長	同	街營
花蓮港街簡易宿泊所	花蓮港街	花蓮港街長	宿泊保護	街營
玉里無料宿泊所	玉里庄	玉里庄長	同	街營
花蓮港街水浴場	花蓮港街	花蓮港街長	兒童體育並娛樂	街營
花蓮港街公會堂	同	同	一般集會用	同
玉里溫泉	玉里庄	玉里庄長	療養保護	庄營

ト 公共事業ノ興廢

花蓮港廳農會

沿革

大正四年一月二十五日臺灣總督府告示第八號ヲ以テ花蓮港廳管内ニ農會ヲ設置セラレ臺灣農會規則施行細則第一條ニ據リ花蓮港廳長規約其ノ他ノ事項ヲ整備シ同年五月五日第一回總會ヲ招集シ役員ヲ選任セリ爾來年ト共ニ發展シ其ノ施設ハ良ク廳下ノ實況ニ應シ地方農事ノ刷新改良ニ寄與スルトコロ尠カラス

經費

本年度收入豫算ハ總計六萬一千七百二十二圓ニシテ經常部收入三萬四千四百二十八圓臨時部收入二萬七千二百九十四圓ナリ而シテ經常部收入ノ主ナルモノハ田畑所有者負擔金牛豚割當金生產物拂下代及雜收入ニシテ

臨時部收入ハ繰越金トス支出豫算總計ハ六萬一千七百廿二圓ニシテ內經常部支出三萬八千三百五十六圓臨時部支出二萬三千三百六十六圓ナリ臨時部支出ノ主ナルモノハ馬太鞍所有地ノ埤圳開鑿及水刎堤防工事ナリ

事業概況

昭和五年中ニ於ケル施行事業ハ左記ノ通ニシテ何レモ廳ニ於ケル施設ト相俟テ益々實績ヲ收メツツアリ

- (イ) 農場ニ於テ實施セルモノ
 - 水稻ニ關スル試驗、優良稻種ノ蕃殖普及果樹苗木ノ養成配付、種鷄ノ飼育、種卵配付
 - (ロ) 農産改良並獎勵
 - 改良豚舍並牛舍堆肥舍獎勵、粗乾燥場獎勵、綠肥採種獎勵、果樹栽培獎勵
 - (ハ) 牛畜改良増殖
 - 水牛、黄牛、乳牛ノ改良
 - 產馬ノ獎勵、養豚改良、養鷄改良、家畜保健事業
- チ 交通、運輸及水利土工
- 一 鐵道

(イ) 國有鐵道

臺東線ハ花蓮港ヲ基點トシ南下縱貫シ臺東廳ニ入ル延長七十餘哩ニ及ヘリ

昭和五年中ノ乗客及貨物

乗	降	貨	積
七九三、六六二	七九三、四六七	二〇五、四一九	二〇三、八三五
乗	客	發	物
七九三、六六二	七九三、四六七	二〇五、四一九	二〇三、八三五
乗	客	貨	積
七九三、六六二	七九三、四六七	二〇五、四一九	二〇三、八三五

(ロ) 私設鐵道

鹽水港製糖株式會社所有ノモノ三十一哩餘ニシテ自家用製糖原料其ノ他ノ運輸ニ使用ス

二船舶

海上交通ハ大阪商船會社ノ命令航路タル基隆起點高雄ヲ終點トスル東沿岸線及花蓮港蘇澳間ヲ連絡スル航路アリ前者ニハ嘉義丸長春丸ノ二隻就航シテ毎月十二回寄港シ後者ハ別府丸毎日兩地間ヲ往復運航セリ
昭和五年中ニ於ケル船客及貨物ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

船客

上	陸	船
連絡船	定期船	臨時船
一三、五二八	五、二八七	四、〇六六
定期船	臨時船	計
二二、八八一	一一、七六一	二、七六三
定期船	臨時船	計
三、四二〇	一八、九四四	
計	計	摘要

貨物

移	入	移	出
連絡船	定期船	臨時船	計
一三、五二八	五、二八七	四、〇六六	
定期船	臨時船	計	計
二二、八八一	一一、七六一	二、七六三	
定期船	臨時船	計	計
三、四二〇	一八、九四四		
計	計	計	摘要

五五〇	二九、二一七	七、九八九	三七、七五六	四二	三六、二八七	一、〇二二	三七、三五二
-----	--------	-------	--------	----	--------	-------	--------

三 水利

屬下ノ水利ハ近年著シク進展シ農民ノ福利ハ勿論地方經濟ノ發展及産米ノ需給調節上貢獻スルトコロ多大ナリ而シテ現在ニ於テハ既ニ自産自給ノ域ニ達シタリト雖尙農産增收ヲ期スルニハ灌漑排水事業ヲ計畫シ面積ヲ擴張セサルヘカラス依テ應水利事業調査並施設ノ計畫ニ基キ工費ノ一部ヲ應地方費ニ於テ補助ヲ爲シ以テ一層指導獎勵ニ努メツツアリ尙又管内多數ノ河川ニハ豊富ナル水量ヲ有シ灌漑ニ資スルニ足ルモ水源ハ多ク急峻ナル中央山脈ニ發シ地勢上流域短キヲ以テ一朝豪雨ニ際會セハ亂流奔放スルヲ以テ耕地ヲ埋没又ハ流失スルコト屢々ニシテ其ノ被害甚大ナルモノアリ故ニ將來ハ河川整理及治水事業ニ伴ヒ灌漑面積ヲ擴大シ産業ノ振興ヲ期セサルヘカラス

四 土工

昭和五年度中施行セル土工ハ別項事務概要ノ項ニ記載セル如ク花蓮港市區改正工事外十六件ニシテ此工費十萬四千八百八十六圓七十一錢ニ達ス斯クシテ其ノ面目ハ徐々ニ改メラレツツアリト雖尙幾多緊急ノ施設ヲ爲ササルヘカラサルモノ多シ其ノ最重要ナルモノニ付別項將來施設ヲ要スル事項ニ登載セリ

リ 産業、金融並貿易

一 産業

廳下ノ田畑面積ハ二萬一千八百二十餘甲ニ過キスト雖今後各地ニ散在スル未墾ノ原野及山腹傾斜地並各河川ノ流域ニ沿フテ農耕ニ適スル箇所ヲ選ヒ適所ニ制水護岸ノ工事ヲ施シ耕地ヲ造成スルニ於テハ優ニ約二萬甲ノ耕地ヲ増加シ得ヘキ見込ナリ尙廳下ニハ牛畜ノ蕃殖ニ適スル放牧地約三千甲歩アリテ産牛地タルニ適ス現ニ西北部地方ニ對シ年々三百頭内外ノ耕牛ヲ搬出シツツアリ又山地ニハ千古斧鉞ヲ加ヘサル森林鬱蒼トシテ雲際ニ連リ藏スル所ノ扁柏材ハ花蓮港木材株式會社ノ手ニ依リ内地京阪地方ニ移出サレツツアリ更ニ廳下南北三十五里ニ亘ル沿岸一帯及其ノ海岸ハ鯉漁業ヲ始トシ沖合漁業ノ好漁場ニシテ逐年水産業ノ振興ヲ見ツツアリ加フルニ昭和二年ヨリ本年ニ亘リ總督府ニ於テ調査サレタル加禮宛ヨリ、タツキリニ至ル一帯ノ平野ハ砂金採取地トシテ未タ發表ノ時期ニ至ラサルモ其含有量ハ豊富ニシテ有望ナルモノノ如シ如斯海ニ陸ニ將タ山ニ天惠的寶庫ヲ藏シ優秀ナル天然資源ヲ擁シナカラ徒ニ産業不振ニアリシハ主トシテ交通機關ノ不完備ニ因ル所大ナリト言フヲ得ヘシ然レ共大正十四年四月以來定期船回航ノ外ニ毎日花蓮港蘇澳間ノ連絡船就航スルニ至リ交通往來漸ク頻繁トナリ又臨海花蘇道路ノ完成近キニアリ更ニ當地方多年ノ懸案タリシ米崙築港ノ計畫モ愈々實現ノ運ニ至リ近ク工事ニ着手サレントス一朝本工事完成サレシカ各種産業蔚然トシテ進展ヲ見ルニ至ルヘキハ疑ナシ

今各種産業ニ就キ其ノ生産額ヲ擧クレハ左ノ如シ

種別	昭和五年	昭和四年	比較増減	摘要
農産	四、四五〇、七一〇	四、八二八、九六八	△	三七八、二五七
畜産	五六〇、七九四	五四二、〇七九		一八、七一五
林産	五五七、五九二	四五〇、八〇二		一〇六、七九〇
水産	一九三、六七六	二二四、六一一	△	三〇、九三五
工業	一〇、四〇二、七八二	一一、〇七三、八九七	△	六七一、一一五
計	一六、一六五、五五五	一七、二二〇、三五七	△	九五四、八〇二

前表中年産額十萬圓以上ノ重要物産ヲ擧クレハ左ノ如シ

種類	昭和五年		昭和四年		比較増減		
	生産額	高價	生産額	高價			
砂糖	四〇、九六六、六四斤	四、〇八五、九三	四二、三三三、〇七四斤	四、三二一、八六	△	三三三、四〇斤	三五、九〇
米	三三、一五五石	一、〇七、四六六	三三、〇九七石	二、〇八九、九七	△	八五石	一八、四九
腦油	一、〇一〇、八六斤	二、九四、四六二	一、二二七、六四斤	五、九、四九四	△	二、四、八六斤	二、四、〇三
蔬菜	一、四七六、五九斤	四、九二、〇五七	一、六六五、〇〇斤	四、五、二六	△	一、八八、〇六斤	六、三三
木材	四〇、〇五三石	三、五三、三三	一八、六三三石	三、九四、〇三	△	三三、四九石	四〇、七〇
豚	三〇、三六頭	三、七、一四	一九、五九頭	三、六〇、八九	△	四七頭	一六、二五
甘藷	二七、三、六七斤	三、三、三三	二六、〇六、四六斤	二、三三、七四	△	一、〇一、三九斤	一七、六六
菓	三、三、〇八斤	一、六、二二	三、三、〇七斤	一、五、三七	△	五、四三斤	九、〇八
葉煙	三、三、〇八斤	一〇、九、五〇	三、〇、五〇斤	三、三、九七	△	九、五斤	二九、八四
花生	一、九、五五斤	三、五、〇〇	一、八、九七斤	三、六、二二	△	一、五八斤	七、六
家畜	一〇七、三九羽	三、五、〇〇	一〇八、九七羽	三、六、二二	△		

計	八〇五、八〇三	八、四〇、四〇九	△	四六四、六〇六
---	---------	----------	---	---------

金融 二金融並貿易

應下ノ金融機關ハ臺灣銀行花蓮港支店、臺灣商工銀行花蓮港支店東臺灣無盡株式會社及信用組合其ノ他頼母子講質屋等アリテ金融ノ圓滑産業及經濟ノ發達ニ資シツツアリ然レトモ深刻ナル財界不況ニ際シ各機關共引締リ警戒ノ態度ヲ持シ商人ハ商況不振ト資金回收ノ不圓滑ノ爲資金ヲ必要トスルモ之カ調達困難ナル状態ニアリテ依然順調ナリト言フヲ得ス

(イ) 銀行

銀行別	昭和五年 中 受 高			昭和五年 中 拂 高		
	請預金	貸出金	送金爲替	請預金	貸出金	送金爲替
臺灣銀行	二、四七四、四一九	九、九三三、五三四	二、四〇五、九七七	一、五七三、五八三	二、八二一、四六九	四、三〇二、五七七
臺灣商工銀行	三、九三三、一七三	一、四八八、三六六	五、八一、一五五	五、九二七、六六九	三、九六六、六八四	一、五三六、三三三
花蓮港支店	二、五、四七五、九二二	二、四三二、八〇〇	三、〇六四、〇九三	二、二六三、五三三	三、一〇八、二五五	二、四七三、〇五二
計	八、九一三、五九四	十二、九〇四、七〇〇	七、八八三、一六五	九、七六八、七九一	九、九〇〇、七三三	六、二四一、四六七

(ロ) 無盡

無盡組合	開會同數	掛金總數	給付金額	落札金額
	三九	四一九	六七三、三九八	六三七、三〇〇
				五八三、四三九

(ハ) 信用組合

組合名	貯金受入高	貯金拂戻高	貸付高	貸付同數高
有限責任花蓮港信用組合	六九三、一三三	六七〇、二〇八	一、九三三、五三三	一、八九九、三八〇
同 東部信用組合	一六四、四三〇	一五一、七二九	七七三、〇二五	七三八、六七五
同 鳳林信用組合	一六三、四九九	六〇、六六八	七七、三六九	六三、一九四
同 玉里信用組合	九一、五六九	八七、三九五	三〇〇、七四二	二九三、七四四
同 吉野村信用組合	六三、一九一	一六八、四〇五	四九〇、五六九	四〇二、一四五
同 豐田村信用組合	三五、一〇三	二九、六四八	一一八、二六三	五四、一〇一
同 販賣利用組合	四九、三〇七	四三、五六六	一一三、八一二	七三、八二九
同 林田村信用組合	一、二六〇、二二二	一、二二一、六一九	三、八〇七、三三三	三、五二五、〇六八
同 販賣利用組合				
合計				

(ニ) 頼母子

講數	講數當金額	開會同數	掛金總額	落札金額
六六	九、一二七	七二五	六〇、二四二	五六七、五八三

産業組合

本年末現在組合數ハ信用組合四、組合及事業兼營組合三、事業組合二、計九ニシテ各組合共理事者ノ努力ト組合員各自ノ覺醒ニ依リ漸次健全ナル發達ヲ遂ケツツアルモ未タ改善ヲ要スル點尠カラサルヲ以テ常ニ之カ指導監督ニ努メツツアリ

昭和五年末ニ於ケル組合ノ現況左ノ如シ

組合名	設立年月日	組合員數	出賣口數	出拂込額	立各種金	貯金	借入金	貸付金
有限責任 花港信用組合	大正五年十一月十二日	二五	三、七五	五九、〇四五	二四、二六八	一〇、〇〇〇	二五七、八六八	
同 東部信用組合	大正六年九月七日	二五	二、四四五	四八、九〇〇	四〇、二二七	三、四九九	三三、〇〇〇	二四七、五五〇
同 鳳林信用組合	大正九年十一月八日	一四	六、六一	一九、三三〇	二二、三二六	一六、五九三	二八七	四八、三八〇
同 玉里信用組合	大正六年五月二十日	三三	六、六六	三、九二〇	一七、五五九	三九、三七二	四、〇〇〇	六、四〇三
同 吉野村信用販賣	大正九年七月二十日	三〇	一、三三	二七、三三〇	八、四二八	八、一七四	三、七五七	三、五〇、五五〇
同 購買信用組合	大正十五年四月十七日	一七	一、九〇	一九、一〇〇	一、〇〇〇	二八、九六六	九八、二二六	九、三六六
同 林田村信用販賣	大正十一年四月十九日	一八	一、六二	二六、八〇〇	二、〇〇八	三〇、五五五	一、五、五五五	一四〇、六二七
同 豐田村信用販賣	大正十一年四月十九日	一八	一、六二	二六、八〇〇	二、〇〇八	三〇、五五五	一、五、五五五	一四〇、六二七
同 販賣信用組合	大正八年十二月十一日	三五	七、七	三、七五	五、二七九		一〇、〇〇〇	
同 花港鹽糖	大正八年十二月十一日	三五	七、七	三、七五	五、二七九		一〇、〇〇〇	
同 花港新炭	昭和三年十一月六日	一、六四	三、九〇	三三、三三五	一五、九六二	四四、一六六	六七七、三四四	一、一〇五、七三三
計								

貿易

對內地及對本島トノ取引ニシテ本年中ニ於ケル重要移出入貨物ノ種類及價額ヲ示セハ左ノ如シ

種類	移出		移入	
	昭和五年	昭和四年	昭和五年	昭和四年
腦油	五二八、四六五	六四〇、三〇八	一一一、八四三	
樟腦	七〇、九五〇	一〇三、一六一	三二、二一一	
砂糖	六、〇七一、五三二	五、六九七、九八四	七〇、六六二	
籐類	七二、四〇一	一四三、〇六三		
木材	二五八、五二九	二〇三、八〇一	五四、七二八	
酒類	七四九、九八六	五五六、六五〇	一九三、三三六	
鹽米	二、〇〇〇	八八、六四七		
葉草	四五、三〇〇	一五三、〇〇〇	八六、六四七	
煙草	三七七、八九七	四〇九、四四六	一〇七、七〇〇	
其他	八、一七七、〇六〇	七、九九六、〇六〇	三一、五四九	
計			四四〇、六一二	
差引			一八一、〇〇〇	

種類	比増		比較	
	昭和五年	昭和四年	増	減
腦油	八、一	九、一		
樟腦	六、七	七、一		
砂糖	一、一	一、一		
籐類	一、一	一、一		
木材	一、一	一、一		
酒類	一、一	一、一		
鹽米	一、一	一、一		
葉草	一、一	一、一		
煙草	一、一	一、一		
其他	一、一	一、一		
計	一、一	一、一		
差引	一、一	一、一		

内地米	昭和五年	昭和四年	比較
内地米	一一、五六九	二四、〇二〇	増
減			減
摘要			

差引	計	其	藥	石炭	綿	木	肥	セ	金	油	魚	罐	砂	味	醬	酒	雜	糖
	四、四七三、八八九	一、九九〇、三四四	六九、一三〇	一一四、八六七	七〇、五五〇	一八七、八九九	四六七、八一九	一二七、九〇〇	五四九、八九四	一五五、一三五	八八、九三六	五五、六六〇	六〇、四一八	四一、一二二	一一八、六〇六	一九九、六九六	五三、八四五	一一〇、四九九
	四、二九一、六二三	一、六一三、一七一	一七、三八〇	二〇一、八二八	三四、四〇〇	七九、二〇〇	六四〇、五九二	一五一、一三四	五七七、三七八	七八、六四一	一〇五、四九三	七一、九五〇	一〇一、五三九	二六、七二二	七二、〇三八	一九六、五〇〇	二四八、四五六	五二、一八一
	一八二、二六六	七二七、〇九四	三二七、一七三	五一、七五〇	一〇八、六九九	三六、一五〇	七六、四九四											
	五三四、八二八			八六、九六一					二七、四八四	二二、二三四	一七二、七七三	一六、五五七	四一、一二一	一六、二九〇				
																		一三七、九五七

又 司法、保安、衛生、理蕃行政ノ一斑
一 司法

逐年廳下ノ人口増加ニ伴ヒ各支廳共犯罪ハ自然其ノ量ニ於テ増加シ其ノ質ニ於テ複雑化シツツアリ事件ノ主ナルモノハ刑法犯ニアリテハ窃盜詐欺横領傷害等ニシテ特別法犯ニアリテハ銃砲火藥類取締規則森林令違反等ナリ廳下ニハ從來人命財產ニ關スル突發的ノ重大事件アリシモ一般的ニハ犯罪ノ手段方法等特異ノモノヲ見ス又犯罪發生原因等ニ關シ特ニ憂慮スヘキカ如キ現象ナク犯罪檢舉成績亦概シテ良好ナリ

二 保安

産業ノ開發文化ノ向上ニ伴ヒ一般保安風俗交通上ノ事件逐年増加ノ傾向アルヲ以テ平地警察力ノ充實ヲ圖リ保甲其ノ他警察補助機關ノ訓練ヲ爲シ治安保持福利増進ニ努メツツアリ殊ニ住民ノ過半ヲ占ムルアミ族ニ對シテハ從來積極的保護啓發ニ依リ最近進化ノ度見ルヘキモノアリト雖未タ本島人ニ及ハサルコト遠ク往々狡獪ナル奸策ニ乘セラレントスル傾向アルニ鑑ミ他種族トノ交渉事件ニ關シテハ嚴重ナル取締ヲ爲スト共ニアミ族ノ不良行爲ニ對シテモ又容赦ナク膺懲ヲ加ヘツツアリ

三 衛生

廳下住民ノ多數ハ本島人アミ族蕃人ニシテ文化ノ程度低ク衛生思想極メテ幼稚ナリ由來東部臺灣ハ交通ノ不便兇蕃ノ跳梁ト共ニマラリア黒水熱恙虫等ノ風土病猖獗ヲ極メ瘴癘ノ地ヲ以テ稱セラレタリ然ルニ明治四十二年置廳以來銳意衛生施設ノ普及改善ヲ圖リ醫治機關ノ普及マラリア其ノ他地方病ノ防遏上地下水ノ改善並衛生思想ノ普及等ニ努メタル結果最近住民ノ健康狀態著シク良好ニ赴キ死亡率ハ出生率ヲ超過スルコトナク

往時ヲ追想スレハ隔世ノ感アリ然リト雖應下ノ衛生施設ハ未タ以テ萬全ナル域ニ達セス各般ニ亘リ施設改善ヲ要スヘキ事項尠シトセス緩急ニ應シ漸次計畫實行ノ歩ヲ進メツツアリ

四 理 蕃

(イ) 生蕃ノ種類
 應下ニ於ケル蕃族ハ「アミ」「タイヤル」「ブヌン」ノ三種族ニシテ其ノ分布状態ハ「アミ」族ハ應下一帶ノ平地ニ居住シ「タイヤル」族ハ馬太鞍溪以北ノ山地及山脚地方ニ居住シ「ブヌン」族ハ其ノ以南山地及山脚地方ニ居住ス

昭和五年末戸口左ノ如シ

種族別	社 數	戸 數	人 口		計
			男	女	
アミ	四六	三、六二三	一一、三五九	一一、五〇九	二二、八六八
タイヤル	六〇	一、七六四	四、四四一	四、五二〇	八、九六一
ブヌン	二三	三三一	一、五三六	一、四四九	二、九八五
計	一二九	五、七七八	一七、三三六	一七、四七八	三四、八一四

(ロ) 性情風俗

アミ族ハ性穩順ニシテ克ク官命ヲ奉シ生業ヲ勵ミ應下勞働者ノ大部分ヲ占メ産業及土木ニ寄與スル處大ナリタイヤル族ハ大正三年ノ大討伐ニ依リ歸順以來撫育ノ効果著シク昔日ノ如ク犇猛ナル氣風ハ既ニ一掃セラレ

逐年授産及教化機關ノ充實完備トニ依リ克ク生業ヲ勵ミ漸次順以ニ馴致スルニ至レリ

ブヌン族ハタイヤル族ニ比シ進化稍々遅レタリ同族ハ遠ク高雄臺東ノ奥部蕃人ト親戚關係ヲ有シ之ト意ヲ通シ思想頑迷固陋ニシテ殺伐動モスレハ官命ヲ疑フカ如キ言動アリ之カ操縱啓發ニ就テハ特ニ意ヲ用ヒタル結果漸次山脚地方ニ移住シ授産教育醫療等ノ恩惠ヲ理解シ一般産業ニ従事スルニ至レリ

ル 官營移民

(イ) 概況

吉野豊田林田ノ三移民村ハ農村トシテ逐年堅實ナル發達ヲ遂ケツツアリ各村ニ住民會ヲ組織シ之ニ依リ自治的訓練ヲ爲スノ外産業組合煙草耕作組合等ヲ組織シテ産業ノ發達ヲ圖リ在郷軍人會青年會同窓會ヲ組織シテ各其ノ目的ノ達成ニ努メツツアリ

(ロ) 戸口

昭和五年末ニ於ケル三村ノ戸數人口ハ左記ノ通ニシテ吉野村ハ徳島縣人豊田村、林田村ハ福岡縣人最モ多ク三村共廣島、熊本、香川、山口及佐賀縣人之ニ次ク

村 別	戸 數	人 口	備 考
吉野村	二九〇	一、四八一	

林田村	一七七	八七一
豐田村	一七六	七二七
計	六四三	三、〇七九

(ハ) 衛生

三村ニ公醫ヲ配置スルト共ニ「マラリア」防遏所ヲ置キ移民ノ保健衛生ニ努力シタル結果逐年良好ニ向ヒツツアリ尙三村共産業組合ニ於テ醫院ノ經營ヲ開始シ一層其ノ改善ニ努メツツアリ
昭和五年中ニ於ケル患者調左ノ如シ

村別	患者延人数	人口千人ニ付	捕	要
吉野村	一、四四〇	八九三		
豐田村	六九九	八〇三		
林田村	一、五七八	二、一七八		
計	三、七一一	一、二〇七		人口 三、〇七九

(ニ) 教育

各村ニ尋常高等小學校アリ卒業生ニシテ中等學校ニ在學中ノ者二十九名ニシテ其ノ他ハ何レモ家業ニ従事シツツアリ
昭和五年末ニ於ケル兒童ノ就學狀況左ノ如シ

村別	學齡兒童	就學兒童	就學歩合	捕	要
吉野村	三一八	三〇七	九八		
豐田村	一九三	一九三	一〇〇		
林田村	一二六	一二四	九九		
計	六三〇	六二四	九九		

(ホ) 社寺・宗教

各村ニ守護神社アリ、毎年秋季大祭ヲ執行ス、村民ハ何レモ純真ナル敬神家ニシテ祭典行事又ハ其ノ餘興等ノ如キモ内地農村ニ於ケルト同様ノモノ行ハレ最モ盛大ナリ

各村ニ眞宗本願寺派布教所各一、吉野村ニ眞言宗布教所一ノ設置アリ宗教別信徒ヲ擧クレハ左ノ如シ

村別	神道	天理教	基督教	眞言宗	眞宗	禪宗	淨土宗	日蓮宗	天臺宗	計	捕	要
吉野村	五戸	三戸	二戸	六二戸	一七二戸	二四戸	一〇戸	八戸	四戸	二九〇戸		
豐田村	九戸	二戸	一戸	二二戸	一一二戸	一一戸	一一戸	九戸	一戸	一七七戸		
林田村	四戸	一戸	一戸	八戸	一四五戸	一一戸	二二戸	六戸	一戸	一七六戸		
計	一八戸	六戸	二戸	九一戸	四二九戸	四八戸	二二戸	二三戸	四戸	六四三戸		

(ヘ) 住民會

各村ニ住民會ヲ組織シ村内ニ於ケル産業衛生其ノ他各種公共事業等ニ關スル各般ヲ遂行シ之カ改善發達ヲ

圖リツツアリ本會ノ維持ハ總テ村民之ヲ負擔ス即チ自治的觀念ヲ涵養スル所以ナリ
 (ト) 社會教育施設
 之カ狀況ハ教育係、社會教化ノ狀況ノ項ニ於テ記述スルヲ以テ此處ニ省略ス

二 事務概要

イ 庶務課文書係主管

一 秘書事務

(一) 昭和五年中職員異動

異動事項	兼任及同待遇	判任及同待遇	嘱託及吏員 職員心得其他員	摘要
新任及新採用	一	四四	三九	
轉任及轉職	一	一三	二	
轉任及轉職來	一	三二	一四	
轉任及轉職去	一	一〇	一	
退官及退職	一	三九	三三	
復職	一	六	一	
休職	一	一	一	
陞等	一	一	一	
陞及昇給	二	一六四	八〇	
懲戒	一	一	一	
改氏	一	二	二	
死亡	一	四	二	
計	七	三一四	一七二	

(二) 昭和五年中叙位叙勳

叙位階別	人員	叙勳等別	人員	補	要
正五位	一	勳六等瑞寶章	二		
正七位	一	勳七等桐葉章	一		
從七位	三				
正八位	一				
計	六	計	三		

(三) 昭和五年末現在人員

官職	人員	備	考
廳長	一		
地方理事官	一		
地方警視	一		
高等女學校長	一		
産業技師	一		
警察	二		
視學	二		
農務	二		
衛生	二		
林務	四		
防疫	一		
高等女學校教諭	七		
同書記	一		
實業補習學校長	一		
同助教諭	二		
小學校訓導	五		
小學校教諭	八		
産業會記	七		
産業技師	二		
土木技師	六		
土木技師	一		
衛生技師	三		
衛生技師	一		
社會教育書記	一		
准司書	七		
公記	一		
書記	三		

林野其ノ他土地整理事務ニ從事スルモノヲ含ム

△林野其ノ他土地整理事務ニ從事スルモノヲ含ム
△印ハ定員外ヲ別記ス

技師	通譯	警務	稅務	林務	防疫	高等女學校教諭	同書記	實業補習學校長	同助教諭	小學校訓導	小學校教諭	産業會記	産業技師	土木技師	土木技師	衛生技師	衛生技師	社會教育書記	准司書	公記	書記	
一	一	九	四	四	一	七	一	一	二	五	八	二	二	六	一	三	一	一	七	一	三	一

土木吏員	一
檢稅吏員	一
囑託員	七
雇員	六
事務員	二
教務員	二
教員心得	五

御眞影奉戴奉還

眞ニ御下賜相成リタル 御眞影ト御引換ノ思召ヲ以テ宮内省ヨリ

天皇、皇后兩陛下御眞影ヲ本廳ニ下賜サル、ニ付十二月八日廣谷庶務課長ハ奉還御眞影ヲ捧持シテ陸路出府シ秘書課長室ニテ奉還シ十二月十日午前十時總督府會議室ニ於テ新タニ御眞影ヲ奉戴シ直ニ捧持シテ陸路歸廳十一月午後三時一般官民各學校生徒及兒童ノ出迎ヲ受ケ廳公室ニテ奉拜式ヲ行ヒ無事奉安シタリ

二 文書事務

(一) 廳命令公布

種別	公布月日	番	號	件	名
一	一月十六日			街庄制ヲ施行セサル地域ニ種痘施行方ノ件	

種別	公布月日	番	號	件	名
一	五月十七日		二	支廳管轄區域中變更ノ件	
二	七月三十一日		三	花蘆港水道給水規則	
三	八月二十四日		四	種牡豚取締規則	
四	九月四日		五	蠟燭檢診及治療規則	
五	九月四日		六	石油取締規則	
六	十月二十一日				

計六件

種別	公布月日	番	號	件	名
一	一月二十日		一	判任各官配置定員改正	
二	二月十九日		二	警察職員配置定員別表中改正	
三	同		三	警察共濟組合事務取扱規程施行細則	
四	同		四	警察官吏派出所同駐在所ノ名稱位置及受持區域別表中改正	
五	同		五	警察職員配置定員別表中改正	
六	同		六	警察監視區域別表中改正	
七	四月一日		七	廳分課規程施行細則	
八	同		八	廳事務代決規程	
九	四月二十九日		九	巡查部長勤務規程	
一〇	四月三十日		一〇	判任各官配置定員改正	
一一	五月二十四日		一一	警察職員旅費支給規程改正	
一二	七月十五日		一二	花蘆港關稅調查委員部規程	
一三	同		一三	同處務規程	

訓令	日期	事項
同	八月九日	一四 警察官吏派出所同駐在所ノ名稱位置及受持區域中改正
同	同	一五 花蓮港廳警察監視區域改正
同	八月二十八日	一六 警察職員配置定員改正
同	同	一七 地方警察配置及勤務規程施行細則中改正
同	八月三十一日	一八 警察處務細則中改正
同	九月四日	一九 州廳警察巡閱規程施行細則
同	同	二〇 娼妓檢診及治療規則取扱手續
同	九月十日	二一 婦人病院職務規程
同	同	二二 花蓮港廳事務代決規程中改正
同	九月十四日	二三 花蓮港廳警察職員旅費支給規程中改正
同	十月三日	二四 花蓮港水道給水費用徵收手續
同	十月十日	二五 警察專用電話保守區及租當區並電務工手配置定員
同	十月二十一日	二六 石油取締規則取扱手續
同	十月二十八日	二七 警察官吏派出所同駐在所ノ名稱位置及受持區域中改正
同	同	二八 警察職員配置定員中改正
同	同	二九 警察監視區域中追加
同	十月三十日	三〇 青年團準則
同	十一月六日	三一 須知簿規程中改正
同	十一月十一日	三二 廳地方費所屬營造物使用料徵收手續
同	十一月十八日	三三 徵兵検査ヲ受テヘキ所在下明者調査規程施行細則
同	十一月二十五日	三四 警察職員配置定員別表中改正
同	十一月二十六日	三五 警察專用電話規程施行細則
同	同	三六 警察電務士及電務工手服務規程

同	三七	學事會議規程
---	----	--------

計 三十七件
 告示 自一號 五十件
 應報發行回數ハ六十三回ニシテ其ノ登載事項ハ廳令六件訓令三十七件告示五十件叙任及辭令四十六件彙報七十九件公告十二件府報抄録三件計二百三十三件ナリ
 (二) 文書收發件數

課別	收受件數	發送件數	摘	要
庶務課	三三、三〇三	二九、八一二		
稅務課	五、一六一	二、四七九		
警務課	二〇、七二一	八、七〇四		
計	五九、一八五	四〇、九九五		

三 統計事務

國勢調査

本年ハ恰モ國勢調査施行ニ相當シ之カ調査準備トシテ七月十五日廳訓令ヲ以テ當廳國勢調査委員部ヲ設置シ同時ニ處務規程ヲ定メ且ツ幹事二名、主事十一名、書記九名ノ職員ヲ任命シタリ、督府ニ於テハ七月二十九日ヨリ四日間調査事務講習會ヲ開設セラレタルヲ以テ當廳ヨリ保安、理蕃各係長、統計主務、戶口事務主

任ノ四名ヲ出席受講セシメタリ其ノ後管内世帯數ニ從ヒ三十五ノ調査區ヲ設定シ之ニ當ラシムル監督員三十
 五名監督補助員三十五名調査員二百三名計二百七十三名ノ職員ヲ任命シタリ又一面各支廳ニ對シテハ督府ノ
 通達ニ基キ戸口副簿符箋記入ノ整理ヲ周到ナラシムル等準備調査上遺漏ナキヲ期シタルヲ以テ實地調査ノ成
 績ハ極メテ良好ニ終了スルヲ得タリ而シテ委員部ハ十二月二十五日ヲ以テ廢止シ之ニ關スル事務ハ廳ニ引繼
 クトセリ

五〇

四 恩給事務

種別	昭和五年		昭和五年末現在		摘要
	人員	金額	人員	金額	
教育職員恩給	三	一、三〇七	二九	一一、五三六	
同 扶助料	三	一、〇四四	一八	五、一一二	
同 一時恩給	二	五、七九四	三六	七五、九〇七	
警察職員恩給	二	一、三六二	八二	一〇、六一六	
同 扶助料	二	五五四	二九	二二、七四一	
同 一時恩給	二	五五四	二九	一一、九八七	
同 一時扶助料	二	五五四	二九	一一、九八七	
待遇職員恩給	一	一八〇	一	五五一	
同 一時恩給	一	一八〇	一	五五一	
合計	一八	一、八六八	一八	一一、五三六	

口 庶務課會計係主管

一 經費出納事務

國庫費支出

經常部	一、二八一、八六〇 _月 〇六〇
臨時部	一四一、二七八、八三〇
計	一、四二三、一三八、八九〇

廳地方費支出

經常部	五五三、七〇七 _月 八三〇
臨時部	四〇四、四一八、八〇〇
計	九五八、一二六、六三〇

歳入歳出外現金出納

受入	一四〇件	四二六 _月 六九〇
拂出	一四四件	四七七、二五〇

公共費ノ保管及出納

農會	三五、五四六 _月 二〇〇
收入	

五一

支拂 二六、五九九、四二〇

赤十字社 收入 二五三、七七〇

支拂 八四〇、九八〇

愛國婦人會 收入 七九九、八〇〇

支拂 一、七三五、六三〇

二其ノ他

備人異動 採用 (三九)

臨時備二、給仕四、工夫二三、小使五

常備夫三、測夫二

解備 (二二)

給仕五、工夫一五、小使一、常備夫一

ハ 稅務課直稅係主管

一 地 租

昭和六年一月一日現在ニ於ケル地租額ハ八七、六八二圓餘ニシテ之ヲ前年同期ニ對比セハ三、一九六圓ノ増加ニシテ主トシテ各移民村ノ所有權移轉並地押調査ニ於ケル地目變換等ニ因ル異動處分ノ結果ニシテ今後ニ於テモ諸般ノ産業施設ニ伴ヒ逐年土地開發セラレ漸次増加ノ趨勢ニ在リ最近三ヶ年間ニ於ケル地租額其ノ他ヲ對比セハ左ノ如シ

種別	昭和三年		昭和四年		昭和五年		昭和六年	
	地數	租額	地數	租額	地數	租額	地數	租額
田	七、〇三三	七、〇三三、〇〇〇	三、八、九、〇〇〇	三、三、〇、〇〇〇	七、七、三、三、三三	四、三、五、〇〇、三三	八、三、〇、六、〇〇	四、三、三、三、三三
畑	一〇、四、〇〇、四、五九	三、六、〇、〇、三、六	三、六、〇、〇、三、六	二、〇、四、五、七、九	三、五、七、七、九	二、〇、四、五、七、九	三、六、〇、〇、三、六	三、六、〇、〇、三、六
建物敷地	七、八、五、三	六、〇、七、六、六	六、〇、七、六、六	六、六、五、九	九、一、六、七、九	六、二、七、七	八、七、三、三、五	六、五、〇、三、三
計	一八、三、三、四、五	一八、〇、七、二、四	一八、〇、七、二、四	一四、六、六、二	一九、〇、〇、七、八	一四、六、六、二	一八、〇、七、二、四	一八、〇、七、二、四

(二) 無租地

地目	昭和三年		昭和四年		昭和五年		昭和六年	
	地數	租額	地數	租額	地數	租額	地數	租額
田	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八	三、三、三、八
畑	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇	二、五、四、〇

年別	種別	田		畑		建物敷地		計		摘要
		甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	
昭和三年	荒地免租年期地	八、五五五	六〇九	三、六四二	三、五五九	六二七	二、二五八	二九	四、五五五	一、二六五
昭和三年	建物敷地									
昭和三年	池沼									
昭和三年	山林									
昭和三年	原野									
昭和三年	牧場									
昭和三年	墳墓地									
昭和三年	鐵道用地									
昭和三年	祠廟敷地									
昭和三年	練兵場									
昭和三年	燈臺用地									
昭和三年	道									
昭和三年	鐵道線路									
昭和三年	溝渠									
昭和三年	用悪水路									
昭和三年	堤防									
昭和三年	雜種地									
昭和三年	合計	三、八〇三、三六六	七、六〇〇	三、〇八一、七五七	六、一七〇	二、二五二、四三七	四、九一九	四、八八、五七〇	二、六六六	四、九三三、一〇〇

(二) 荒地免租年期地

年別	種別	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	計	摘要
昭和三年	荒地免租年期地	八、五五五	六〇九	三、六四二	三、五五九	六二七	二、二五八	二九	四、五五五	一、二六五	

二官租

種別	田		畑		建物敷地		計		摘要	
	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙		
昭和四年	貸付タタルモノ	二、五三三	八、〇〇〇	二、五三三	三、一〇〇					
昭和四年	貸付セサルモノ	三、三六三	七、五〇〇	三						
昭和五年	貸付タタルモノ	二、五三三	八、〇〇〇	二、五三三	三、一〇〇					
昭和五年	貸付セサルモノ	三、三六三	七、五〇〇	三						

(一) 第一種所得税

應下ニハ十六法人アリ毎事業年度多少ト雖確實ニ所得ヲ上ケツツアルハ五、六ニシテ他ハ休業状態ニ在ルモノ又ハ事業繼續中ナルモ其ノ所得一定セサルモノ等ナリ

年度別	法人數	所得金額	税額	納税法人數	摘要
昭和三年	一六普通	二、二五、二二〇	六、四四六	九	
昭和四年	一五普通	一、三三、四二五	六、四二二	七	
昭和五年	一六普通	一、一三、八三七	七、〇六三	六	

(二) 第二種所得税

年度別	甲		乙		摘要
	所得金額	納税人員	所得金額	納税人員	
昭和三年	三七、〇三八	二〇	一、八四九	九八	
昭和四年	三四、九九九	二六	一、七四八	二五	
昭和五年	三一、八八八	五五	一、五九二	八三	
			二	二	
			一三九	四〇	
			一三九	四〇	
			一〇	四五	
			一〇	四五	
			二	二	

(三) 第三種所得税

前年ニ比シ所得税額ニ於テ二割強税額ニ於テ二割九分強ノ各増ハ納税人員ノ増加及土地、商工業所得増加ニ因ル

所得階級	山林伐採以外		山林伐採		内同居		家族	
	金額	納税人員	金額	納税人員	金額	納税人員	金額	納税人員
以千五百圓以下	三、〇〇〇	一五						
以二千圓以下	一五、〇〇〇	八五			一〇、三三二	五七		
以三千圓以下	三八、九〇二	一、〇九二			九、二六七	七九		
以五千圓以下	二〇、八九六	三、〇七			七、九三三	二七		
以七千圓以下	二二、六七八	二、〇七			一、四三〇	三二		
計								
金額	三、〇〇〇	一五	三、〇〇〇	一五	一〇、三三二	五七		
納税人員	一五	八五	一五	八五	五七	五七		
金額	一五、〇〇〇	八五	一五、〇〇〇	八五	一〇、三三二	五七		
納税人員	八五	一、〇九二	八五	一、〇九二	五七	七九		
金額	三八、九〇二	一、〇九二	三八、九〇二	一、〇九二	九、二六七	七九		
納税人員	一、〇九二	三、〇七	一、〇九二	三、〇七	七、九三三	二七		
金額	二〇、八九六	三、〇七	二〇、八九六	三、〇七	七、九三三	二七		
納税人員	三、〇七	二、〇七	三、〇七	二、〇七	一、四三〇	三二		
金額	二二、六七八	二、〇七	二二、六七八	二、〇七	一、四三〇	三二		
納税人員	二、〇七		二、〇七					

四 鑛 區 税

前年度ニ比シ著シク減少セルハ銅鑛區四、五六九千坪ノ廢業アリタルニ因ル

年度別	金		銅		炭		合計
	課税面積	税額	課税面積	税額	課税面積	税額	
昭和三年	九、〇〇三	二、一七九	九、〇〇三	二、一七九	八、九六	二〇	二〇
昭和四年	五、二八五	二、九八	五、二八五	二、九八	七、〇六九	二七	二七
昭和五年	一六、三三二	七、五三	一六、三三二	七、五三	三、六九五	五七	五七
合計	九、〇〇三	二、一七九	九、〇〇三	二、一七九	一五、六〇四	一〇四	一〇四

五 土地臺帳及地圖

土地臺帳三百三十冊地圖千三百十葉ニシテ前年ニ比シ地圖ニ於テ二葉増加セルハ豫約開墾成功地ノ新規登録ニ依ル
 本年中地利事務取扱件數筆數左ノ如シ

大 三 等 點 標 石	一 七					一 七	同
圖 根 三 等 點 標 石	一 八					一 八	同
圖 根 三 角 補 點 標 石	二 〇					二 〇	同
小 計	九 三					九 三	
總 計	四 一 五	六				四 一 九	

八 相 續 未 定 地

死亡所有者通知	五七	相續登記チナシ タルモノ	二〇	保管人ニ選任シ タルモノ		登記未済	三	摘	要
---------	----	-----------------	----	-----------------	--	------	---	---	---

九 土 地 整 理 組 合

土地整理組合ノ事業ハ前年ニ比シ著シキ變化ナク地籍事務ト相俟テ土地整理委員ノ教習ニ努メ實績ヲ舉ケツ
ツアリ本年度ニ於ケル組合費ノ調定ハ千參百八拾七圓六拾七錢ニシテ人員ハ九千七百五十六人ナリ

二 稅 務 課 間 稅 係 主 管

一 砂 糖 消 費 稅

應下ニ於ケル糖業ハ新式粗糖工場二、舊式糖廠(赤糖工場)四ニシテ其ノ產額約四〇九〇九七擔ナリ、而シ
テ新式粗糖工場ニ於テハ工場經濟ノ見地ヨリ昭和二年期以降甘蔗作付面積ノ増減ニ意ヲ用キス専ラ品種ノ改

良ヲ企圖シ地質ノ撰擇施肥栽培ノ改善ヲ計リ收穫及歩留ノ向上ニ努メツツアリ其ノ結果甘蔗收穫高及製糖歩
留ハ逐年増加シ殊ニ本期製糖歩留ハ一割二分六厘ニシテ前年期一割一分ニ比シ更ニ一分五厘昭和二年期ノ八
分ニ比シ四分ノ増ヲ示シ西部地方ノ其レト比較シ何等遜色ナキニ到レリ而シテ工場ノ經濟的生產能力ヲ考慮
シ歩留増加ニ伴フ能力ノ増加ハ作付面積ノ減少ニ依リ相殺シ居ルモノノ如シ
因ニ工場ノ經濟的能力ハ四十五萬擔ナリト云フ其ノ他砂糖移出場一、糖蜜移出場一アルモ特記スヘキ事項ナ
シ

最近三箇年ノ狀況左ノ如シ

年 次	製 造 場 數		作 付 面 積	甘 蔗 收 獲 高	產 額		收 入 稅 額	摘 要
	新 式	改 良 舊 式			分 蜜 粗 糖	含 蜜 赤 糖		
昭 和 三 年	二	三	二、九七三	三、八、五八七	二、五、四、一九六	一、三、七、九	九、六、二	
昭 和 四 年	二	四	三、四七	三、八、一六六	四、〇、九、一三五	三、四、二	一、一、三、〇	
昭 和 五 年	二	四	三、三二八	三、六、八四二	四、〇、四、五九四	四、五、〇	一、四、一、三	

二 酒 精 稅

應下ニ於ケル酒精製造ハ鹽水港製糖株式會社壽工場一ヶ所ニシテ製造能力約七千石ナルモ内地取引不振並支
那方面ヘノ輸出逐年減少シ最近殆ント杜絶ノ狀態ニアル關係上全能力ヲ發揮スルコト不能本年度ハ三千四百
五十二石八斗製造セリ而シテ酒精稅收入額ニ於テ前年ニ比シ著シク減少シタルハ年來ノ賣行成績ニ鑑ミ需用

ニ應シ製造ヲ考慮シ努メテ徵收猶豫期間中工業用ニ使用シタル結果停滯品減少シタルニ依ル
最近三箇年ノ狀況

年次	酒精造石高	糖蜜使用高	税額	收入額	摘要
昭和三年	三、五〇一 ^石	四、一三〇 ^{千斤}	五九二、四〇三 ^円	一四六、一三七 ^円	
昭和四年	三、一二六	三、五〇〇	五二八、八三五	一七六、六二八	
昭和五年	三、四五三	四、〇二〇	五八四、二一四	八七、四〇四	石数ト税額ト符合セサルハ石数ハ石以下 税額ハ圓以下四捨五入ニ依ル

酒精税免除高及交付高

酒精ヲ内地ニ於テ工業用ニ使用シ政府ニ讓渡シ外國ニ輸出シ朝鮮ニ移出シ又ハ本島ニ於テ燃料用變性酒精ヲ製造シ酒精令ニ依リ酒精税ノ免除又ハ戻税シタルモノ左ノ如シ

最近三箇年ノ狀況

年次	免除石数	免除税額	交付石数	交付税額	摘要
昭和三年	二、九一三 ^石	四九二、八〇五 ^円	三〇〇 ^石	五〇、八二〇 ^円	
昭和四年	二、八三〇	四七八、八一八	六〇六	一〇二、五二七	
昭和五年	二、四二六	四一〇、四〇二	四七五	八〇、三四四	

酒精用途別石高

用途	年次	昭和三年	昭和四年	昭和五年	摘要
火薬	火	三〇九 ^石	七五五 ^石	二七九 ^石	
グアニシユ(ニス)	グ	八七九	八五〇	八五八	
エーテル	エ	五八四	四七〇	二一四	
石鹼	石	一〇	二六	二〇	
タンニン	タ	一一八	二二	一六	
食酢	食	二一	二二	九七	
セリユロイド	セ	三〇	五六	八〇	
擬革用コロゲオン	擬	一四四	二〇〇	三六〇	
塗料用コロゲオン	塗	六四	三五八	四九四	
寫眞製板用コロゲオン	寫	一	二	二	
タロールエチール	タ	一	一	一	
エチール炭酸キニール	エ	一六	一〇	一	
プロテイン銀	プ	一〇	一	一	
ウイタミン類	ウ	一六	一	一	
クロラオール	ク	一	一	一	
醋酸エーテル	醋	一	一	一	
タロール炭酸エチール	タ	一	一	一	
エチールアニリン	エ	一	一	一	
カーバソールグアツトア	カ	一	一	一	
リユ	リ	一	一	一	
セントラリツト	セ	一	一	一	
燃料用變性酒精	燃	一一	四三	三五	

同 島内	1,000	200	44
政 府	11	400	140
外 國	3,214	3,436	2,713
計			

三 間接國稅犯則者處分

間接國稅ノ犯則ハ主トシテ印紙稅法違反ニシテ間稅事務閑散期ニ於テ檢査ヲ勵行スルト共ニ特ニ前年度ニ於テ講演又ハ相談會ヲ開催シ且ツ稅法ニ關スル印刷物ヲ配付説明スル等本法ノ周知宣傳ニ努メタルト尙本年度ニ於テモ同一方針ニ基キ更ニ印刷物ヲ配付シ且ツ機會アル毎ニ隨時本法ニ關スル注意ヲ喚起シタル結果既往ニ比シ違反者著シク減少ヲ來セリ

骨牌稅法ノ取締ニ關シテハ常ニ注意ヲ怠ラサルニ本年度ニ於テ更ニ違反者ノ現出ヲ見タルハ遺憾トス東都開發ニ伴ヒ西部トノ交通倍々密接ナル折而モ西部地方ハ此種違反者逐年増加シツツアルニ鑑ミ之カ取締勵行ニ努メツツアリ

酒精稅ノ違反者前年度ニ於テ五件ヲ出シタルハ内地ニ於テ共謀シテ酒精ヲ工業用ニ使用シタル如ク偽謀シ不法ニ酒精稅ノ免除メハ交付ヲ請求シタルモノナルカ本年度ニ於テハ此種ノ違反者ナシ

最近三箇年ノ狀況

年 次	印紙稅法違反		骨牌稅法違反		砂糖消費稅法違反		酒 類 令 違反		備 考
	件 數	罰 料 金	件 數	罰 料 金	件 數	罰 料 金	件 數	罰 料 金	
昭和三年	一三四	四五九	五	五〇	一	三	一	一	
昭和四年	九	四四	一一	一、〇〇〇	一	一	五	一	
昭和五年	二七	一〇〇	二	四四〇	一	一	一	一	

備考 骨牌稅法違反ノ内一件二四〇圓前年度ヨリ繰越ノ分ヲ含ム酒精令ノ違反ハ内地東京區裁判所ニ管轄シタルモノニシテ處分ノ結果未通知ノモノナリ

四 間接國稅ノ消長

間接國稅ノ主ナルモノハ砂糖消費稅及酒精稅ナルモ酒精ハ工業用ニ使用政府讓渡及外國輸出等ハ免稅又ハ戻稅トナルヲ以テ納稅額造石稅額ニ比シ甚タ僅少ナリ

砂糖消費稅ハ分蜜粗糖殆ント全部内地移出ナルヲ以テ本稅ニ依ル歳入ハ極メテ少シ、骨牌織物製造ハ孰レモ應下ニ無キヲ以テ之カ間稅收入ナシ

ホ 稅務課地方費稅係主管

一 一般事務

地方費稅係事務ハ地租附加稅、所得稅附加稅營業稅雜種稅ノ賦課並ニ稅外收入ノ調査ニシテ是等ハ各項目ノ細別ニ依リ各人別ノ課稅標準額ヲ調査シ一定ノ稅率ニ依リ課稅額ヲ算定シ之ヲ納稅義務者ニ告知シ其ノ範圍ヲ決定ス

二 廳地方費稅及稅外收入

廳地方費稅定期ハ毎年七月、十二月ノ兩期ニ分割徵收ス、隨時ハ納稅義務發生ノ都度納期日ヲ定メ賦課徵收シ稅外收入ハ收入ノ原因生シタル都度之ヲ徵收ス、昭和五年度中告知書發行數二萬九千九百三十四件ニシテ前年ニ比シ二百五十一件ヲ増加セリ

三 廳地方費稅調查及監視

全廳下ヲ三區ニ分テ調查監視區ヲ設ケ各區ニ監視員ヲ置キ調查及監視員ノ責ニ任セシム而シテ廳地方費稅ヲ賦課スヘキ物件及營業ニ付テハ毎年一月ヨリ二月ノ間ニ於テ定期調査ヲ爲シ尙隨時義務發生ノモノニ付テハ其ノ都度臨時調査ヲ施行シ課稅標準ヲ定ム監視ハ毎年二回定期監視ヲ施行シ其ノ他必要ニ應シ隨時監視ヲ爲シ調査監視規程ニ依ル諸種ノ事項ヲ調査監視セシム外ニ監視員ヲ置キ主席者ヲシテ之ニ當ラシメ監視員ノ職務及街庄區役場ノ廳地方費稅事務監督ヲ爲サシム

昭和五年度中調査延日數二百五十三日、監視延日數三百二十五日、監督延日數三十一日ニシテ調査監視中未申告ヲ發見シ申告書ヲ徵シタルモノ九百件ニ達セリ

四 廳地方費稅調查委員

廳地方費稅調查委員ハ定員二十七名ニシテ任期ハ二ケ年トス委員ハ官選ニシテ地方ノ名望家且土地ノ事情ニ精通シ相當ノ納稅ヲ爲ス者ヨリ之ヲ選任ス委員ノ職務ハ戶稅ノ賦課額、同標準額並廳地方費稅規則第六十條

ニ依リ課稅標準額及稅額ヲ査定スル時ノ調査ヲ爲サシム、昭和五年度調査委員會ハ昭和五年六月十三日開會シ諮問事項トシテ戶稅ノ賦課額及其ノ人別標準額ヲ調査セシメタリ

五 廳地方費稅ノ消長

地租附加稅及所得稅附加稅ハ共ニ國稅ニ屬スル本稅ニ附加サルヘキ稅目ニシテ其ノ消長ハ本稅ニ伴フ前年度ニ比較スルニ地租附加稅一千百八拾八圓餘ノ増加セシハ各移民村ノ所有權移轉地押調査土地檢査等ニ因ル地目變換處分及臺灣土地開拓株式會社所有地新規登錄等ノ主因ニシテ所得稅附加稅ノ百四十一圓餘ヲ減少セシハ法人所得ノ減ニ因ル、戶稅ハ配付稅ニシテ地方廳ニ於テ自由ニ増減スルコトヲ得ヌ前年ニ比シ七百八十三圓餘ヲ増加セシハ戶數ニ伴フ配付額増加ノ結果ナリ營業稅ハ近年交通ノ利便ニ伴ヒ逐年人口増加ト蕃人ノ生活程度ノ向上ニ依リ自然購買力ヲ増進セル結果ニシテ前年ニ比シ八千二百五十二圓餘ヲ増加セリ雜種稅ハ廳下一般道路ノ新設改修等ニ伴ヒ車ノ使用者増加セシト營業稅ノ増加ト同様事由ニ依リ稅額ニ於テモ前年ニ比シ二千六百六十五圓餘ヲ増加セリ

既往三箇年ノ調定額ヲ各種別ニ示セハ左ノ如シ

區分	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	摘要
地租附加稅	三九、三五六、五九	四一、五三〇、〇二	四二、七一八、九一	
所得稅附加稅	二、五九四、一五	一、七九三、五八	一、六五一、九三	
戶稅	一〇、五八〇、四四	一〇、九七七、五四	一一、七六〇、五八	

管業種	五六一、一六八、一七	六〇、六八六、四六	六八、九三八、八九
種稅	五七、五四〇、七七	六一、九四〇、九三	六四、六〇六、八一

既往三箇年ノ調定額ハ左ノ通ニシテ主ナルモノハ拂下代貸下料水道給水料屠場使用料授業料其ノ他一切稅外收入ノ總額ナリ

區分	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	摘要
雜收入	七六、七四四、一三	九二、四八二、九八	九五、六四一、三〇	

貸付償還金

貸付償還金トシテ一萬五千五百七十四圓四十六錢ヲ收入ス

稅務課徵收係主管

一 一般事務

國稅並稅外收入中地租官租第三種所得稅及廳地方費稅並屠場使用料ハ街庄又ハ區長ヲシテ收納セシメ其ノ他ハ廳直接又ハ日本銀行花邊港代理店廳地方費金取扱所ヲシテ收納セシム納稅成績ハ一般財界不況ノ爲メ徵收上ニ及ホシタル影響尠ナカラサリシモ昭和四年度ニ比シ成績ノ向上ヲ見ルヲ得タルハ豫テ納稅成績ノ向上ヲ圖

リ總テ納期內完納ノ美風ヲ助長セシメンカ爲各種ノ機會ヲ利用シテ納稅思想ノ涵養ニ努メ納稅組合ノ施設ヲ獎勵シ特ニ本年ハ全管内ニ亘リ納稅宣傳活動寫眞ノ映寫ヲ爲シ又納稅成績優良區及個人ニシテ納稅上功勞アル者ノ納稅表彰等ヲ行ヒタル爲之カ納稅成績ニ及ホシタル影響尠ニ甚大ナルモノアルヲ信ス而シテ定期ノ納期ニ際シハテ廳職員ヲ街庄區內ニ派遣シ街庄區吏員ト協力シテ納稅督勵ヲ爲シタリ然リト雖納期內全額ノ完納ヲ見サリシハ遺憾トス依テ今後納期限勵行ニ就キテハ尙一段ノ努力ヲ要スル次第ナリ

二 國稅及稅外收入ノ消長

科 目	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	摘要
租稅	二五九、〇〇〇	二九七、九八一	二二、六三五	八二〇
地稅	八〇、七九三	八五、一一〇	八七、五九二	〇九〇
砂糖消費稅	九、七八二	一一、六四〇	一四、一一三	三〇〇
酒稅	一四六、一三七	一七六、六二八	八七、四〇三	九七〇
鹽區稅	四、九三〇	四、九三〇	三六一	〇〇〇
所得稅	一七、三五七	一八、六七二	二二、一六五	四六〇
第一種所得稅	六、四四六	六、四二二	七、〇六三	八五〇
第二種所得稅	一、八四九	一、七五八	一、六〇三	二八〇
第三種所得稅	九、〇六一	一〇、四九一	一三、四九八	三三〇
官業及官有財產收入	七二、四四一	七二、八四〇	一一八、二〇二	四五〇
阿片收入	二六、〇五六	二八、四二五	三七、五八四	九六〇

科目	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度(測定高)
教科書収入	二、六九九	三、四〇五	三、二五二
森林收入	四〇、〇四六	三六、〇七二	七〇、四六六
官有地小作料	一六〇	八〇	七五
官有物貸下料	三、四七八	四、八五六	六、八二二
雑収入	三三、八一四	三三、二三〇	一六、四四四
免許及手数料	七三	一六	二六
懲罰及没収金	一一、八四六	一一、五八三	七、〇五三
辨償金	六八八	四〇〇	八八〇
小切手支拂	四二〇	七六〇	六九〇
未済金収入	九九〇	四六〇	二八五
雑収	二〇〇	〇〇〇	九〇〇
經常部計	二一、二〇六	二〇、二一六	八、四八四
官有物拂下代	三六五、二五六	四〇三、〇五二	三四六、二八三
物品拂下代	一六、九六五	一九、五六三	二二、九〇〇
地所拂下代	五五五	五五二	三七七
雑収入	一六、四〇九	一九、〇一〇	二二、五二二
探査貸金	二〇	三〇	三三六
國債償還金	二〇	三〇	二一
金賦納金	二〇	三〇	二一
臨時部計	一六、九八五	一九、五九三	二四、二一六
計	三八二、二四一	四二二、六四五	三七〇、四九九

三 廳地方費稅及稅外收入ノ消長

科目	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度(測定高)
地租附加稅	三九、三五九	四一、五三〇	四二、七一八
所得稅附加稅	二、五九四	一、七九三	一、六五一
戶稅	一〇、五七六	一〇、九七三	一一、七五九
營業稅	五六、一六六	六〇、六八六	六八、九三四
雜稅	五七、五四〇	六一、九四〇	六四、六〇五
稅收入計	一六六、二三七	一七六、九二四	一八九、六七〇
雜收入	七六、七三八	九一、九五〇	九五、五五二
恩給法受入金	一一四	一七九	九五、五五二
經常部計	二四三、一〇一	二六九、〇五四	二八五、二二三
貸付償還金	一一〇	一九〇	一五、五七四
臨時部計	二四三、一〇一	二六九、〇五四	一五、五七四
計	二四三、一〇一	二六九、〇五四	三〇〇、七九七

四 國稅、廳地方費並公課負擔ノ狀況

國稅	頁	攤	額	一	戶	當	一	人	當	備	要
地租			八七、五九二							昭和五年末現在	
砂糖消費稅			一四、一一三							戶數 一五、二八九	
酒稅			八七、四〇四							人口 七二、四二一人	
第一種所得稅			三六一								
計			七、〇六四								

農會費	總計	街庄稅					地方稅				稅			
		內 間接 稅	地 租 稅	所 得 稅	戶 稅	營 業 稅	內 間 接 地 方 稅	地 租 附 加 稅	所 得 稅	戶 稅	營 業 稅	內 間 接 國 稅	第 三 種 所 得 稅	第 二 種 所 得 稅
二一、四四九	四六三、三七六 一四四、八八八	二、九六八 一九三	三三、八一二 一五、二〇一	九、八九七 六二、〇七一	六、三四三	一八九、六七〇 三七、〇二八	四二、七一九 一、六五二	一一、七五九 六八、九三五	六四、六〇五	一二、四〇六 二、四二二	二、六二九 五一	一〇一、五一七	二一、六三五 一三、八四二	一、六〇三 一三、四九八
	三〇、三〇八 九、四七七	一一、一〇〇 一、二三六		二、三六一 二八二								一三、八四二 六、六四〇	二、九二二 一、四〇二	
	七、〇八九 二、〇〇〇													

昭和五年未現在
戶數 五、一三〇戸
人口 二二、四八一人

民會費	土地整理組合費	水利組合費	保甲費	公課	
				計	費
二一、〇二四	一一、三八七	七、八四七	四、九三四	三、七〇五	七、〇八九
五、六四一					二、〇〇〇

ト 庶務課調停係主管

一 民事争訟調停

當廳ニ於ケル民事争訟調停件數ハ逐年増加シツツアリ之カ主タル原因ハ財界ノ不況ニアランモ亦一面本島人並アミ族蕃人ノ權利思想著シク發達シ費用及時間ノ經濟上本制度ヲ利用スル者多キ現象ナリト思惟セラル而シテ昭和五年中取扱ヒタル民事争訟調停件數ハ新受五百四十五件及前年未済三十六件ヲ加ヘ計五百八十一件ニシテ前年ニ比シ新受十七件ヲ増加セリ之ヲ種類別ニ掲クレハ金錢四百九十件人事二十二件土地十四件殺類七件建物船舶四件證券二件雜事六件ナリ、以上ノ内處理済ニ係ルモノ五百五十二件未済二十九件ヲ殘セリ左ニ昭和五年中取扱ヒタル事件及前年二箇年ノ比較對照ヲ表示シ其ノ成績ヲ示ス

年別	新受	計	不調取	下其ノ他	計	未済
年別	新受	計	不調取	下其ノ他	計	未済

諮問事項

- 一、昭和五年度花蓮港街歳入歳出豫算ノ件
- 二、昭和五年度街税附加率決定ノ件

報告事項

- 一、寄附金受領ノ件
- 二、圖書受領ノ件

(以上昭和五年一月二十一日)

諮問事項

- 一、昭和五年度花蓮港街歳入歳出豫算追加ノ件

報告事項

- 一、昭和四年度花蓮港街歳入歳出決算ノ件
- 二、寄附受納ノ件
- 三、圖書受納ノ件

(以上昭和五年十月十八日)

玉里庄ハ昭和五年一月二十八日玉里庄役場ニ於テ左記事項ヲ諮問報告シタリ

諮問事項

- 一、昭和五年度玉里庄歳入出豫算ノ件
- 二、昭和五年度玉里庄税賦課税率ノ件
- 三、學校廢合ノ件

報告事項

- 一、昭和四年度歳入出追加豫算ノ件(第一回追加)
- 二、昭和四年度歳入出追加豫算ノ件(第二回追加)
- 三、昭和四年度歳入出更正豫算ノ件
- 四、昭和三年度歳入出決算ノ件

昭和五年末協議會員

街庄	定員	現員			計	摘要
		内地人	本島人	蕃人		
花蓮港街	一〇〇	七	三	一	一〇〇	
玉里庄	二〇〇	五	四	一	二〇〇	
計		一二	七	二	二〇〇	

區名	區		計	捕	要
	内地人	本島人			
吉野區	—	—	—	—	—
平野區	—	—	—	—	—
壽野區	—	—	—	—	—
鳳林區	—	—	—	—	—
新瑞區	—	—	—	—	—
大瑞區	—	—	—	—	—
新海區	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

昭和五年度末現在本島人タル區職員ノ國語程度

職名	人員	國語		上欄ノ内國文ヲ解スルモノ	上欄ノ内國文ヲ解セザルモノ	捕	要
		解	不				
區長	三	三	—	—	—	—	—
區書記	九	九	—	—	—	—	—
計	一二	一二	—	—	—	—	—

五 街庄ノ行政經濟並監督

管内ニ於テ街庄制ヲ施行スルハ花蓮港街、玉里庄ノ一街一庄ニシテ其ノ行政經濟ノ圓滑ナル運用ヲ期スル爲

絶ヘス嚴重ナル監督ヲ爲スト共ニ周到ナル指導ヲ怠ラス
 本年度街庄歳入出豫算左記ノ通ニシテ街庄自體ノ收入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツルニ足ラス應地方費ノ補助ヲ受
 クルノ實況ナリ基本財産ノ造成等ニ依リ財政ノ確立ヲ圖ルノ緊要ナルヲ認メ之ヲ増設ヲ計劃中ナリ而シテ現
 在収益財産左ノ如シ

街庄収益財産

街庄	土地		建物		預金		金額計	
	面積	收益	坪數	收益	金額	額	金額計	
花蓮港街	100,335	3,733	2,567	1,232	6,000	5,600	19,565	
玉里庄	10,642	4,197	1,366	1,135	—	—	5,332	
計	110,977	7,930	3,933	2,367	6,000	5,600	24,897	

街庄ノ豫算

昭和五年度街庄ノ歳入出豫算
 歳入

科	街庄	目	經常部		計	捕	要
			花蓮港街	玉里庄			
花蓮港街 <td>三七、一八九</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td>	三七、一八九	—	—	—	—	—	—
玉里庄 <td>—</td> <td>一九、九七三</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td>	—	一九、九七三	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	五七、一六二	—	—

地租制	八七〇	二、〇四〇	二、九一〇
所得稅制	一九七	八	二〇五
戶稅制	一八、一二〇	一三、七五七	三一、八七七
營業稅制	一〇、九八二	二、一二八	一三、一一〇
雜稅制	七、〇二〇	二、〇四〇	九、〇六〇
財產收入	四、〇〇七	四、四二八	八、四三五
基本財產收入	四、〇〇七	四、四二八	八、四三五
使用料及手数料	二〇、三五六	三、五二五	二三、八八一
使 用 料	二〇、二一六	三、四四六	二三、六六二
小學校 授業料	二、一七四	八八〇	三、〇五四
公學校 授業料	一、五二四	七九二	二、三一六
幼稚園 保育料	一、三七五	六五四	一、三七五
市場使用料	一四、一七〇	四六	一四、八二四
火葬場使用料	五九五	四六	六四一
公園使用料	三七	一四〇	一四〇
公會堂 使用料	一四〇	一	一
水泳場 使用料	一	一、〇七四	一、〇七四
水道使用料	二〇〇	七九	二〇〇
基地使用料	一四〇	七九	二一九
手数料	一四〇	一七	一五七
證明手数料	二〇	一七	一七
督促手数料	一五	六七	一八七
掃除手数料	一五	一五	一五

交付金	二、〇一三	六六四	二、六七七
國稅徵收交付金	二八四	二二二	四九六
地方費稅徵收交付金	一、七二九	四五二	二、一八一
計	六三、五六五	二八、五九〇	九二、一五五
臨時部			
花 蓮 港 街	一四、七二七	二五、四八六	四〇、二一三
	一四、七二七	二五、四八六	四〇、二一三
	五三六	五、四二四	五、九六〇
管轄及土木補助金	八、〇〇〇	一九、四〇〇	二七、四〇〇
傳染病豫防費補助金	六、一九一	三一二	六、五〇三
渡船費補助金	二	三五〇	三五〇
附 金	二	五〇〇	五〇二
寄 附 金	二	五〇〇	五〇二
繰 越 金	三、〇〇〇	七八〇	三、七八〇
收入	二、五七五	七五四	三、三二九
計	二〇、三〇四	二七、五二〇	四七、八二四
合 計	八三、八六九	五六、一一〇	一三九、九七九

歲出

經常部

科	目	花	蓮	港	街	玉	里	庄	計	備	要
役	社	一四、〇九九						一〇、四〇四	二四、五〇三		
	場	六、八三六						六、一〇二	一一、九三八		
	給料及手當	三、五二四						一、八一三	五、三三七		
	雜用	二、八六五						二、一三九	五、〇〇四		
	需用	二二四						一五〇	三七四		
	修繕	六五〇						二〇〇	八五〇		
士	水	五、二六三						二、二九五	七、五五八		
	道	五、二六三						一、七九五	七、〇五八		
	渡	一三、五六八						一〇、九〇〇	二四、四六八		
教	育	六、六七三						四、五〇〇	一一、一七三		
	小	四、八〇六						六、四〇〇	一一、二〇六		
	學	二、〇八九						一、八二三	二、〇八九		
	校	七、三四八						三九〇	九、一七一		
	高	三、九八九						一、一八一	四、三七九		
	等							二五二	一、一八一		
育	生	三、三五九						一、五八七	三、六一一		
	傳	七、八四五							九、四三二		
	染										
	病										
	費										
育	水										
	道										
	費										
育	衛生										
	館										
	費										
育	播										
	除										
	費										

科	目	二、〇一九	八、〇六〇	七、〇六四	九九六	七、三五二	一、三九〇	二、二七五	六三九	二、六二五	四二二	二〇六	一七六	三〇	四一九	一八〇	一三九	一〇〇	一、三八二	六五〇	三、四六三	一五〇	一、〇〇〇	
公	園																							
勸	業																							
	市																							
	場																							
	費																							
社	會																							
	事																							
	業																							
	費																							
	地																							
	方																							
	收																							
	良																							
	費																							
	通																							
	俗																							
	圖																							
	書																							
	館																							
	費																							
	簡																							
	易																							
	宿																							
	泊																							
	所																							
	費																							
	公																							
	會																							
	堂																							
	費																							
	水																							
	泳																							
	場																							
	費																							
	協																							
	議																							
	會																							
	費																							
	用																							
	辦																							
	費																							
	街																							
	庄																							
	稅																							
	取																							
	撥																							
	費																							
	需																							
	用																							
	費																							
	滯																							
	納																							
	處																							
	分																							
	費																							
	雜																							
	費																							
	本																							
	財																							
	產																							
	造																							
	成																							
	費																							
	請																							
	稅																							
	及																							
	負																							
	擔																							
	備																							
	支																							
	出																							
	費																							

計	七二、八六九	三六、四一〇	一〇九、二七九
---	--------	--------	---------

科 目	臨時部		計
	花 蓮 港 街	玉 里 庄	
管 繕 及 土 木 費	八、〇〇〇	一九、四〇〇	二七、四〇〇
管 繕 費	五、〇〇〇	一九、四〇〇	二四、四〇〇
小 公 學 校 建 築 費	五、〇〇〇	一九、四〇〇	二四、四〇〇
土 木 費	三、〇〇〇		三、〇〇〇
衛 生 費	三、〇〇〇	三〇〇	三、三〇〇
管 繕 費	三、〇〇〇		三、〇〇〇
價 所 改 良 費	三、〇〇〇		三、〇〇〇
水 道 費	一、〇〇〇		一、〇〇〇
合 計	八三、八六九	五六、一一〇	一三九、九七九

昭和五年度街庄戸税割負擔額

街 庄	總 額	割 稅 戶 數	一 戶 當 量		
			最 高	最 低	平 均
花 蓮 港 街	一九、七三九	二、二五二	三〇〇、三八〇	三〇〇	八、七六五
玉 里 庄	一一、四二四	一、八三〇	一五五、四九六	六六九	六、七八九
計	三二、一六三	四、〇八二	三〇〇、三八〇	三〇〇	七、七七七

昭和五年度街庄稅負擔

街 庄	稅 額	一 戶 當 量
花 蓮 港 街	三九、四〇八	一一、四七九
玉 里 庄	一九、九七三	一〇、一二八

昭和五年度街庄稅課率

種 別	花 蓮 港 街		玉 里 庄	
	最 高	最 低	最 高	最 低
地 租 制	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
所 得 稅 制	二〇	二〇	二〇	二〇
戶 稅 制	六、〇〇〇	六、〇〇〇	七、四四〇	七、四四〇
營 業 稅 制	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇
雜 種 稅 制	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

稅率ハ本稅一圓當トス

既往三箇年問小公學校費トシテ應地方費ヨリ街庄ニ補助ヲ受ケタル金額左ノ如シ

種 別	昭 和 三 年 度	昭 和 四 年 度	昭 和 五 年 度
花 蓮 港 小 學 校 經 費	一 円	一 円	一 円

校名	經常部	臨時部	補	要
花蓮港公學校經費	三二五	三三五	二九〇	
同 建築費	四、一〇〇	六、五六〇		
三笠小學校經費	四三四	三〇四	二八六	
玉里小學校經費	四九八	五四一	五九一	
玉里第一小學校經費	三五九	三九三	七〇四	
同 建築費		二、〇〇〇	二、七七九	
玉里第二公學校經費	七八九	五八一	五四二	
觀音山公學校經費	七二六	五六八	五〇三	
同 建築費			五、六九五	
計	七、二三一	一一、二八二		

昭和五年度街庄立小公學校經費豫算

校名	經常部	臨時部	補	要
花蓮港小學校	六、六七三			
花蓮港公學校	四、八〇六			
第一幼稚園	一、五五八			
第二幼稚園	五三一			
計	一三、五六八			
三笠小學校	一、四〇〇			
玉里小學校	三、一〇〇			
玉里第一公學校	三、七〇〇			

玉里第二公學校	一、四〇〇		
觀音山公學校	一、三〇〇		
計	一〇、九〇〇		

街庄債

街庄條例

昭和五年八月一日玉里温泉公共浴場使用條例ノ件認可セラル

六埠圳水利

昭和五年度ニ於ケル水利事業實施

埠圳名	調査年月日	灌溉甲敷	實施額	補助額	補	要
玉里圳取入口新設工費	昭和四年九月	四、一〇〇〇〇〇	一、七七二〇	八、八六〇		昭和五年十一月二十六日認可
計	玉里庄玉里	八、二〇〇〇〇	一七、七二〇	八、八六〇		

埠圳灌溉排水面積圖

(昭和六年三月三十一日現在)

公共埠圳組合

兩期作田	區分	水利組合		公共埤圳組合		三十甲以上		三十甲未満		小埤		合計
		數	面積	數	面積	數	面積	數	面積	數	面積	
		一		一		六八		一六二		二三〇		七、四三八
		一		一		五、九七六		一、四六二		七、四三二		七、八一七
		一		一		三七九		一、四六二		七、四三二		七、八一七

總括表

末廣	同	八一										八一
リハガン	同	九〇										九〇
ハラメン	同	二〇										二〇
アホロツ	同	六二										六二
南畔	同	五五										五五
猛子	同	四三										四三
馬久塔	同	二六										二六
舊田	同	三四										三四
尋腰	同	四七										四七
下勝灣	同	一四八										一四八
北頭溪	同	二五										二五
八里灣	同	二〇										二〇
南坑	同	二五										二五
テラアン	同	二七										二七
アラル	同	六一										六一
計		五、九七六										五、九七六

テ	同	一三〇										一三〇
テ	同	四〇										四〇
沙老溪	同	八〇										八〇
ロモ溪	同	二〇										二〇
舞鶴	同	四七										四七
瑞龍	同	八六										八六
打馬燕	同	七二										七二
カララン	同	四〇										四〇
烏鴉立	同	四〇										四〇
奇密善人	同	三一										三一
大和排水路	同	一〇二										一〇二
樹林仔大	同	七八										七八
秋林溪	同	九六										九六
九岸溪	同	二〇										二〇
第一阿眉溪	同	三六										三六
第二阿眉溪	同	三〇										三〇
阿眉溪	同	五八										五八
公埔	同	七三										七三
石牌	同	八八										八八
長良	同	六七										六七
第一玉里	同	六四										六四
第二玉里	同	六四										六四
住												

却下	1		7	國庫地一九甲四三〇五ト交換
交換		二〇二八	二	同
交		二七八四	一	二八、七七四五〇ト交換
相續		〇一五〇	四	
計			四四	

八市區改正

花蓮港

昭和五年度配賦豫算一萬八千八百八十三圓三十一錢ヲ以テ橋梁ニケ所排水路石積三百二十間下水七百三十間
 施行計畫ノ處年度切迫ノ爲次年度ニ繰越シタリ

工事歩合全計畫ニ對シ道路四割五分下水四割橋梁四ヶ所ノ工程ナリ

玉里

昭和五年度豫算四千九百九十三圓八十六錢ヲ以テ市街中楕圓形道路ノ下水百二十間及排水路兩側道路七十四間
 同下水百四十七間暗渠二十四間ヲ竣工セリ

鳳林

昭和五年度豫算二千六百五圓四十九錢ニシテ下水百十四間暗渠十六間ヲ竣工セリ

九森林原野

本年中ニ於ケル豫約賣渡及貸渡規則ニ依ル林野處分狀況左ノ如シ

地目別	種別	件數	面積	積	備	要
田畑	貸渡許可	1		六、七〇〇〇		
山林	同	1		六、七〇〇〇		
山林	同	1		六、七〇〇〇		
山林	豫約賣渡許可	85		二一、六九二五		
田畑	同	161		九二三、五一九八		
田畑	同	246		九四五、二二二三		
田畑	成功賣渡許可	59		二〇、八二七五		
田畑	同	172		四八七、二四七九		
田畑	同	231		五〇八、〇七五四		
合計	同	478		一、四五九、九八七七		

十兵事事務

一 勤務演習召集

本年度勤務演習召集ハ九月以後ニ於テ召集スヘキモノハ別命アル迄召集ヲ見合スヘキ旨陸軍省ヨリノ通
 牒ニ基キ管内ニ於テハ召集者ナシ

二 簡閱點呼

本年度簡閱點呼ハ花蓮港壽及鳳林玉里ノ四ヶ所ニ施行セラレタリ參會スヘキ總員一四八名中疾病不參者

二名ニシテ參會者一四六名ナリ而シテ參會者ハ前年ニ比シ四五名多ク何レモ眞面目ニシテ能ク執行官ノ命ニ違ヒ各點呼場共嚴肅ニ實施セラレタリ殊ニ花蓮港ニ於テハ渡邊臺灣軍司令官臨場セラレタルニ最モ良好ノ成績ナルコトヲ賞讃セラレタリ

三 徵兵身體檢查

應下ニ於ケル徵兵身體檢查ハ五月二十八、二十九ノ兩日花蓮港大隊ニ於テ實施セラル、受檢者一〇一名ニシテ内適齡未滿現役志願者八名アリ、検査ノ結果甲種二十九名第一乙種十七名第二乙種二十三名丙種二十四名丁種七名戊種一名ニシテ前年度ノ受檢者ニ比シ體格稍々不良ナリシハ遺憾ナリ

(一) 寄附受納

本期中寄附受納ハ五件ニシテ其ノ金額内譯左ノ如シ

寄附受納年月日	寄附者	金額又ハ見積價格	摘要
昭和五年三月十三日	猪股松之助	二、〇〇〇、〇〇	研海支廳所在舊演武場、一棟 研海支廳學術講習場
同 四月十二日	サウマ	八二、〇〇	下勝澤警察官を派出所敷地一分二毛五糸 花蓮港廳
同 二月六日	李 外一名	一、〇〇〇、〇〇	下勝澤警察官吏派出所建築材料 花蓮港廳
同 十月六日	吉村佐平	五五、二五	鳳林簡易水道敷地一分一厘八毛五糸 花蓮港廳
同 十月二十日	徐阿漢	一六、〇〇	同上

(二) 暴風被害

昭和五年七月十二日發生シタル暴風雨ハ廳下管内(玉里支廳管内ヲ除ク)各所ニ被害總額四十五萬四千九百三十三圓ノ甚大ナル災害ヲ被ルニ至レリ
就中内地人三名本島人二名ノ死亡者ヲ出シ尙内臺人拾七名ノ負傷者ヲ出シタリ

リ 庶務課土木係主管

一 營 繕

昭和五年度ニ施行セシ營繕工事左ノ如シ

工 事 名	工 費	資 料	備 考
北埔公學校校舍新營繕	四、四六〇	〇〇〇	廳地方費
奇密公學校校舍新營繕	五、八三一	九五〇	同
瑞 穂 區 役 場 新 營 繕	三、三三〇	〇〇〇	同
花蓮港農業補習學校寄宿舎新營繕	二、六三〇	〇〇〇	同
新城小學校寄宿舎新營繕	一、八六〇	〇〇〇	同
加 禮 宛 屠 場 新 營 繕	五三〇	〇〇〇	同
吉野小學校校舍改修外各所災害復舊	一七、九〇三	七〇〇	災害費
警 務 課 官 舎 新 營 繕	四、五三五	九九〇	同 庫
花蓮支廳水上派出所新營繕	五、〇八七	〇〇〇	同
花蓮支廳南濱見張所新營繕	三、九九〇	〇〇〇	同

北埔派出所改築工事外各所災害復舊

九、〇二〇
五九、一七八
〇〇〇
六四〇
同
災害費

二 土木

昭和五年度ニ施行セシ土木工事左ノ如シ

工 事 名	工	費	備 考
花蓮港市區改正工事	二、四六七	五六〇	廳地方費四年度ヨリ繰越ノ分
玉里市區改正工事	二、七一八	七二〇	同
鳳林市區改正工事	二、二五三	九九〇	廳地方費
玉里市區改正工事	三、六二六	三六〇	同
米崙溪護岸工事	五、四〇〇	〇〇〇	同
花蓮港市區改正工事	一〇、六〇六	七三〇	廳地方費工費一六、七七六、八一〇配賦ノ内
各廳管内既成道路橋梁工事	一三、七一七	〇〇〇	廳地方費
花蓮港臺東道路橋梁工事	四、二三五	二〇〇	同
花蓮港水運尾間道路測量工事	一、八〇〇	〇〇〇	同
花蓮港臺東道橋梁架設工事	二六、二六二	八五〇	同 工費四七、〇〇〇ノ内三〇、七七七、二五〇翌年度へ繰越
林田石堤補修工事	二、二六八	四〇〇	國庫四年度ヨリ繰越ノ分
吉野村宮前排水路災害復舊	七、〇〇〇	〇〇〇	同 災害費
吉野村宮前排水路災害復舊	五、一〇〇	〇〇〇	同
花蓮港蘇澳道災害復舊	一〇、〇〇〇	〇〇〇	同
海々マラリヤ防遏地物整理工事	三、七九九	〇〇〇	廳地方費豫算額三、八〇〇圓

水道

玉里マラリヤ防遏地物整理工事	三、六八九	〇〇〇	同 豫算額四、五〇〇圓
渡船費	一、五〇〇	〇〇〇	廳地方費
吉野別改修工事	三五、五四一	九〇〇	國庫工費 二二一、二二五、〇〇〇中繰越額
計	一四一、九八六	七一〇	

(一) 花蓮港水道

本年度ニ於テ豫算配賦ヲ受ケ量水器取付工事施行シ同年八月一日全計量制施行セリ現在給水状況左ノ通

給水戸口數 (最近三ヶ年分調査)

年度別	給水區域内總戸口		給水戸口		未給水戸口		給水戸口百分比		備 考
	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口	
昭和三年度	二、七六〇	九、九一八	一、五三九	六、六六一	一、二二一	三、二五七	五五、強	六七、強	水道區域内未設地
昭和四年度	二、八五七	一〇、八四五	一、七〇八	七、〇九〇	一、一四九	三、七五五	六〇、弱	六五、強	ハ稻住、福住
昭和五年度	三、二一四	一二、〇一四	一、八四二	七、三九九	一、三七二	四、六一五	五七、二	六一、五	蘇新港、北濱南濱

給水栓數 (最近三ヶ年分調査)

年度別	專用栓		共用栓		特別栓	水		量水器	備 考
	本 栓	支 栓	本 栓	支 栓		一三耗	二〇耗		
昭和三年度	八八一	一二九	一六四	—	五	一一三	六四	四一	—
昭和四年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和五年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(二) 昭和五年度中施行セシ水道工事左ノ如シ

工 事 名	工 費	備 考	要
花蓮港 水道量水器取付工事	二一、六六三	〇	〇
花蓮港 水道量水器試験ホルダー据付	一、五五八	〇	〇
花蓮港 水道配水鐵管連絡敷設工事	二、八五〇	〇	〇
鳳林 簡易水道敷設工事	三〇、一四〇	〇	〇
新城 簡易水道敷設工事	六、一八一	〇	〇
北林 簡易水道敷設工事	五、三五〇	〇	〇
鳳林 支廳官舎給水装置工事	五八八	〇	〇
研海 支廳官舎給水装置工事	九九五	〇	〇
花蓮港 水道各戸給水装置工事	六、八二五	六二	〇
鳳林 水道各戸給水装置工事	二、六七四	〇	〇
新成 小公學校水道敷設工事	一、〇一〇	〇	〇
計	七九、八三四	六二	〇

三 庶 務

昭和五年度中施行シタル工事ノ中管轄關係廳地方費二十八件同國庫八件土木關係廳地方費三十件同國庫五件水道關係廳地方費九件其ノ他二件ニシテ内直管施行十二件直管ニシテ一部請負ノモノ三件他ハ競争入札ニ附シテ施行シタリ

又 庶務課教育係主管

一 社寺宗教事務

(一) 神 社

本年中ニ於テ神社ノ創立移轉廢止等ナク現在縣社一無格社四アリ

林田神社本殿改築並板戸神饌殿新設ノ件十月三十日指令第二五三五號ヲ以テ許可セララル

(二) 布教所教會

本年ニ於テ移轉ヲ認可セルモノ大庄臺灣基督長老教會一、其ノ他異動ナシ
舊慣ニ依ル寺廟齋室並宗教的團體本項異動ナシ

二 教育事務並教化改善事業

(一) 教育事務

御眞影奉還 昭和五年十二月二十五日花蓮港、玉里、吉野、豊田、林田、新城各小學校ノ 御眞影ヲ奉還ス
御眞影下附 昭和五年十二月二十七日花蓮港、玉里、吉野、豊田、林田、新城ノ各小學校ヘ 御眞影下賜セラレタリ

學級増加、小學校學級増加一、公學校學級増加五計六學級ヲ増加シタリ

學事會議 五月二十三、四兩日應下小公學校長ヲ招集シ學事會議ヲ開催ス

講習會 臺灣教育會主催學事講習會ニ出席シタルモノ次ノ如シ

講習種類	小學校訓導出席者	公學校訓導出席者
新渡 產教員講習會	三	
訓導 講習會	二	
工業 講習會	二	
農業 講習會	四	
保甲 講習會	一	
計	一二	七

其ノ他文部省高等小學唱歌講習會ニ一名臺灣教育會主催中等教員國語研究會及同歷史研究會ニ各一名ヲ出席セシム

地方學事講習會 八月十五日ヨリ二十一日迄七日間應下教職員音樂講習會ヲ花蓮港高等女學校ニ於テ開催シタリ

昭和五年八月十二、十三、十四ノ三日間臺灣教育會ノ依託ニヨリ體育講習會ヲ花蓮港ニ於テ開催シ應下教職員三十八名ヲ受講セシム

中等學校入學試驗 私立臺灣商工學校ノ委託ヲ受ケ之ヲ施行ス

教育デー 十月三十日各學校ニ於テ勅語奉讀式ヲ舉行シ表彰式講話學藝會等ヲ施行シタリ

體育デー 十月三日ヲ中心トスル體育デーニハ極力體育獎勵ノ下ニ各學校ニ於テ運動會或ハ遠足ヲ行ハシメタ

リ建國祭二月十一日建國祭當日ハ建國ノ精神ヲ鼓吹シ堅實ナル國民精神ヲ確立セシムル目的ヲ以テ各學校共訓話遙拜神社參拜ヲナサシメタリ

教育檢定十一月施行ノ試驗檢定受験者四十三名ノ内免許狀ヲ下附セラレシモノ三名佳良證明書ヲ授與セラレシモノ九名無試驗檢定ニ依リ免許狀ヲ授與セラレタルモノ内地人六名アリ各種會合本年度中小學校長事務打合會並研究會二回公學校長事務打合並研究會二回聯合打合並研究會一回計五回開催ス

(二) 教化改善事業

社會教化活動寫真臺灣總督府並臺灣教育會ヨリ映畫ノ回付ヲ受ケ應下各地ニ巡回映寫ヲ爲ス映寫回数五一回觀覽延人員四一、五四〇人ニ上レリ

巡回文庫臺灣總督圖書館ヨリ大人用並兒童用ノ巡回文庫ノ送付ヲ受ケ大人用ハ各街庄區役場兒童用ハ各小公學校ニ巡回觀覽セシメ讀書趣味ノ涵養ヲ圖リツツアリ大人用觀覽延人員内地人一、〇〇〇人本島人七五六人觀覽冊數内地人一、〇二三冊本島人七九九冊兒童用内地人三、九二一人本島人二、五二八人蕃人九一三人觀覽冊數四、九九八冊内本島人三、二四九冊蕃人一、一六六冊ニ及ヘリ

講習會

1 總督府主催社會教育講習會受講者左ノ通

第二回社會教育講習會廳一人小學校一人公學校一人

第一回女子青年指導者講習會小學校女教員一人公學校女教員三人

少年團指導者講習會廳ヨリ一人民間ヨリ一人

2 花蓮港廳主催社會教育講習會受講者左ノ通

祭式講習會神社祭祀並祭式行事作法ノ一般ヲ會得セシムル爲祭式講習會ヲ開催ス受講者學校職員三九名廳職員三名民間三名

補助員講習會夜學會補助員ノ學力補充教授力振作向上ヲ計ル爲右講習會ヲ開催ス受講者四二名

青年團巡回指導講習會修養行事ノ體得ニヨリ心身ノ淨化ヲ圖リ青年ノ識見向上ヲ圖ル爲七ヶ所ニ於テ巡回指導講習會ヲ開催ス

女子青年指導講習會女子青年ノ指導改善ヲ圖ル爲廳下女子青年指導者ヲ召集シ右講習會ヲ開催ス講習員二二名

國語演習會昭和五年十月十日瑞穂公學校ニ於テ開催ス出演者四年制度公學校四年生十二名六年制度公學校六年生八名六年制度公學校大正十四年度卒業者六名昭和二年度卒業者八名夜學會員十六名ナリ

月見祭本年度月見祭ハ九月六、七日ノ兩日ニ風林織羅馬太鞍壽社ノ四ヶ所ニ於テ執行ス

酒ナシデー勤儉獎勵及禁酒ニ關スル標語ヲ印刷シ學校兒童ノ手ヲ經テ家庭及一般ニ配布ス

時ノ記念日時ノ尊重時間勵行ヲ徹底セシムル爲時ノ記念日ニ關スル記事ヲ新聞ニ掲載シ又標語ヲ印刷配布ス

街庄區役場ニ於テハ一般民衆ニ之カ觀念ヲ喚起セシムル爲當日工場寺院一齊ニ梵鐘汽笛モーターサイレンヲ鳴ラシ正確ナル時間ヲ告知セシメ又學校ニ於テハ時間尊重定時勵行起居動作等ニ付反省ヲ促ス等當日ノ趣旨ヲ訓話セリ

青年記念日十一月二十二日ハ今上陛下東宮ニ在ラセラレシ時全國青年團ニ對シ優ナル旨ヲ賜ハリタル記念日ニシテ本年ハ滿十週年ニ相方ルヲ以テ廳下青年團ニ對シ旨奉讀式訓話講習會修養會體育會音樂會共同作業奉仕作業其ノ他記念事業ヲ行ヒ旨奉戴ノ趣旨ヲ徹底セシム

青年團準則制定廳下青年團ノ組織編制ノ統一ヲ圖ル爲昭和五年十月三十日花蓮港廳訓令第三十號ヲ以テ青年團準則ヲ制定ス

表彰

1 本年度中獎勵金ヲ下附セラレタル學校又ハ優良團體

表

1 本年度中獎勵金ヲ下附セラレタル學校又ハ優良團體

年月日	下附官廳又ハ團體名	表彰セラレタル團體又ハ學校	額	要
昭和五年二月十一日	臺灣總督府	吉野女子青年團	事業獎勵金百圓	
同	同	太巴壠青年團	同	
昭和五年四月十六日	臺灣濟英會	風林公學校	實科教育獎勵金三百圓	

2 本年度中善行篤行者納稅功勞者並模範青年トシテ表彰セラレタルモノ左ノ通

區別	下附官廳	表彰セラレタルモノ	表彰方法
善行篤行者	花蓮港廳	藤岡永盛	置時計一個授與
納稅功勞者	同	陳永盛	同
同	同	宋阿伍	同
同	同	ラタバ	同
同	同	野口佐次郎	同
同	同	吳阿慶	同
同	同	坂木正義	同
模範青年	花蓮港廳	吉田好子	同
同	同	渡邊千代	同
同	同	黃阿火	同
同	同	巴阿	同
同	同	吉田清次郎	同
同	同	カ田	同
同	同	コ	同
夜學會補助員	同	同	同
十ヶ年勤続者	同	同	同

(三) 賑恤慈善感化其ノ他社會事業

御下賜金頒與

昭和五年七月中旬暴風罹災者ニ對シ御救恤金九百八拾圓下賜相成タル趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ回付アリタルニ付罹災者九百九十七名ニ對シ聖旨傳達ノ上夫々交付シタリ

罹災救助

昭和五年六月下旬玉里支廳長良村火災ニ對シ總督府ヨリ救助金二百三十四圓配賦アリタルニ付罹災者ニ對シ夫々交付シタリ

昭和五年十月中旬研海支廳新城ノ火災ニ對シ總督府ヨリ救助金百七十三圓配賦アリタルニ付罹災者ニ對シ夫々交付シタリ

昭和五年七月中旬花蓮研海兩支廳トノ暴風雨罹災者ニ對シ總督府ヨリ救助金五千六百九十三圓配賦アリタルヲ以テ罹災戸數二千五百四十四戸ニ頒與セリ

昭和五年十二月二十八日訓令第九四號ヲ以テ改正セラレタル廳地方費臺灣罹災救助基金規則ニ依リ昭和五年七月中旬暴風雨ノ災害ヲ受ケタル吉野村罹災者中特ニ貧困ナル三十九戸ニ對シ二千三百九十一圓五十錢ノ救助金配付方照會中ナリ

日本赤十字社臺灣支部並愛國婦人會臺灣支部ノ共同ニヨリ昭和五年七月中旬暴風雨ノ災害ヲ受ケタル吉野村罹災者中特ニ貧困ナル十人ニ對シ救助金百二十一圓交付セラレタリ

臺北仁濟院施藥

應下ニ於ケル貧困患者救濟ノ方法トシテ臺北仁濟院ヨリ施療券四百七十三枚ノ交付ヲ受ケ本年度六十一枚使用セリ尙應下ニ於テ本院院外教養ヲ受ケタルモノ二名アリ

廳下不良少年ニシテ臺灣總督府成徳學院ニ入院中ノ者一名アリ

無料宿泊所

昭和五年中ニ於ケル各宿泊所ノ宿泊状況左ノ如シ

宿泊所名	種族別				計	備
	内地人	本島人	平地蕃人	高山蕃人		
花蓮港簡易宿泊所	四	二	三、五六七	六〇〇	四、一七三	
玉里無料宿泊所		二八	四、一八九	二六三	四、四八〇	
新城無料宿泊所		六三	二二五	一、〇一五	一、二九三	

窮民救助

臺灣總督府窮民救助規則ニ依リ本年度救助シタル者玉里支廳下九名研海支廳下一名アリ

公共浴場

瑞穂温泉公共浴場ニ於ケル昭和五年中ノ入浴者延人員ハ一千五百三十九人宿泊者延人員一千百三十八人ニシテ入浴者中三百七十八人ハ無料入浴者ナリ

玉里温泉ニ公共浴場建設ノ爲恩賜財團明治救済會臺灣警察協會並新元財團ノ三團體ヨリ寄附ヲ受ケ昭和五年六月一日起工シ同年十月十日之カ竣工ヲ見タリ

行旅病人救護並行旅死亡人取扱

昭和五年中ニ於ケル行旅病人ノ救護並行旅死亡人ノ取扱状況左表ノ通

一行旅病人救護

種族別	救護人員	救護延日數	救護費	備	考
内地人	一	七七	四八、三〇		
本島人	八	一六四	一〇〇、四〇		
平地蕃人					
高山蕃人					
計	九	二四一	一四八、七〇		

二行旅死亡人取扱

種族別	取扱人員	取扱費	備	考
内地人	一	八、六〇		
本島人	六	七五、八九		
平地蕃人				
高山蕃人				
計	七	八四、四九		

ル 庶務課勸業係主管

一 農業事務

近年土地拂下處分ノ進捗農業人口ノ増加並各種農事改良事項ノ實施ニ伴ヒ農産額モ亦逐年増加スルニ至レリ
耕地 廳下ノ耕地面積ハ土地拂下處分ノ進捗ニ伴ヒ年々増加シ昭和五年末ニ於テ田八千六百三十一甲二分五厘
畑一萬三千百九十六甲一厘計二萬一千八百二十七甲二分六厘ヲ占メ前年ニ比シ田四百八甲九分八厘畑五百甲
六分五厘計九百九甲六分三厘ノ増加ヲ示セリ而シテ農業者ノ戶數及人口當耕地面積ハ田二戸當二甲五厘八毛一人當
二分九厘六毛ニ相當セリ畑二戸當二甲六分二厘七毛一人當三分九厘六毛ニ相當セリ最近五ヶ年ノ耕地面積左ノ如シ

年 別	田	畑	計
昭和五年	八、六三一 ^甲	一三、一九六 ^甲	二一、八二七 ^甲
昭和四年	八、二二二	一二、六九五	二〇、九一七
昭和三年	七、七五〇	一二、八五二	二〇、六〇二
昭和二年	七、五三五	一二、五一六	二〇、〇五一
昭和元年	七、一六四	一二、四五八	一九、六二二

農業者 農業者ハ善人(平地善)最モ多ク本島人之ニ亞キ内地人トシテハ吉野、豊田、林田各村移民ニシテ總戶
數八千五百五十九戶人戸ハ自作小作自作兼小作ヲ合シ計四萬四千五百九十六人ヲ算シ廳下總人口(高山善ヲ含
マス)七萬二千四百二十二人ニ比スレハ六割二分六厘弱ヲ占ム更ニ農業者ヲ自作小作關係ヨリ見レハ自作者最

モ多ク五割八分七厘弱ヲ占メ自作兼小作者一割四分六厘強小作者二割六分七厘強ニ相當ス自作者ノ多キハ他
州ト其ノ趣ヲ異ニスル所ナリ尙前年ノ實績ニ比シ農業戶數ニ於テ七百三十六戶同人口三千二十八人ノ増加ヲ
示セルハ西部地方ヨリノ移住者多キニ因ルモノナリ
最近五ヶ年間ノ農業者自作小作別人口左ノ如シ

年 別	自作		自作兼小作		小作		計		廳下總戶數ニ對シ
	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口	
昭和五年	四、三六八	三六、一六六	一、一八八	六、三三〇	二、七〇三	二一、九二〇	八、二五九	四〇、五六一	五三三
昭和四年	四、三九九	三六、八〇八	一、二七五	六、三三九	一、九七七	二一、五〇二	七、四三三	四一、五六一	五三三
昭和三年	四、三三〇	三五、四三〇	一、二六八	六、四四六	一、八九九	二一、三二七	七、二七七	四〇、九六四	五三三
昭和二年	四、〇八八	三五、一〇四	一、二七七	六、九四七	一、九七三	二一、〇九三	七、一五五	四〇、五五五	五三三
昭和元年	三、八二六	三三、七五五	一、二〇〇	七、二〇〇	一、七五〇	二〇、五五〇	六、八三六	三九、五九九	五三三

農産 廳下ニ於ケル農産ノ主ナルモノハ米、甘蔗、落花生、蔬菜類、葉煙草、豆類、粟、柑橘類、苧蓆木瓜
等ニシテ昭和五年ニ於ケル農産總額ハ四百四十五萬七百一十一圓ナリ之ヲ前年ニ比スレハ三十七萬八千二百五
十七圓ノ減少ナリ

昭和五年中ニ於ケル各種農産物ノ實績ヲ前年ニ對比セハ左ノ如シ

種 別	昭和五年生産額	昭和四年生産額	比較増減 (△印ハ減)
要			

普通作物	二、一七四、四七七	二、三七一、四七九	△	一九七、〇〇二	米價下落ニ因ル
特用作物	一、七〇二、五七五	一、九六九、八六四	△	二六七、二八九	甘蔗ノ減收ニ因ル
園藝作物	五七三、六五九	四八七、六二五	△	八六、〇三四	柑橘及蔬菜類ノ栽培盛トナリタルニ因ル
計	四、四五〇、七一	四、八二八、九六八	△	三七八、二五七	

前表農産物中主要ナルモノニ就キ其ノ概況ヲ記スレハ左ノ如シ

米 應下農産ノ首位ヲ占メ作付面積水陸稻一、二期通計一萬二千五百十甲六分四厘、産米十二萬一千六百五石此生産價格百九十萬七千四百四十六圓ニシテ之ヲ前年ノ實績ニ比スレハ作付面積五百一甲九分收穫高八千七百六十石ヲ増加セリ更ニ之ヲ最近五ヶ年平均ノ實績ニ徴スレハ作付面積八百二十四甲四分三厘收穫高一萬四千六百四十四石ノ増加ニシテ其ノ甲當收量ハ九石六斗八升五合ニシテ前年ニ比シ三斗二升五合ノ增收ナリ作付面積ノ増加ハ兩期作共ニ插秧當時用水潤澤ナリシト獎勵ノ結果ニ因ルモノニシテ甲當收量ノ増加シタルハ生育期間中高温多照ニシテ殊ニ稻熱病ノ被害少ク且米種改良事務ニ依ル優良品種ノ普及ト栽培技術ノ向上ニ因ル昭和五年ノ實績及最近五ヶ年ノ實績ヲ對比セハ左ノ如シ

昭和五年ノ實績

種別	作付面積		收穫高		一甲當平均收量	
	第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期
計	計	計	計	計	計	計

陸	兩期作	三、六八、三三	三、六八、三三	七、一三三	二、三、八四	三、〇〇三	七、三三	九、三三
	單期作	三、七〇、〇〇	三、七〇、〇〇	六、六八九	三、〇、一三	二、二七七	一、二七七	九、三三
計	計	七、三八、三三	七、三八、三三	一三、八二二	五、三、九七	五、二八〇	一、七〇八	一、七〇八
水	兩期作	一、〇〇、〇〇	一、〇〇、〇〇	三、三三〇	三、〇、一三	二、九七七	七、三三	九、三三
計	計	一、〇〇、〇〇	一、〇〇、〇〇	三、三三〇	三、〇、一三	二、九七七	七、三三	九、三三

最近五ヶ年ノ實績

年別	作付面積	收穫高	一甲當平均收量
大正十四年	一〇、五四二、一八	九五、九一〇	九、〇九八
昭和元年	一〇、九四四、一四	一〇一、一九三	九、二四六
昭和二年	一一、三七二、九九	一一二、九五二	九、一二九
昭和三年	一一、五六三、〇〇	一一二、五四五	八、九五八
昭和四年	一一、〇〇八、七四	一一二、四〇五	九、三六〇
以上五ヶ年平均	一一、六八六、二一	一一〇、七〇〇	九、一五六
昭和五年	一一、五一〇、六四	一一一、一六五	九、六八五

甘蔗 米ト相並ヒ應下農産ノ二大宗ニシテ其作付及收量ハ逐年増加シ來リタルモ昭和四年期作付面積ハ三千七百九十五甲五分五厘收量三億四千四百七十一萬四千八百九十八斤ニシテ前年期ニ比スレハ作付面積二十四甲七分ノ増加アルモ天候不順ノ爲收量ニ於テ四千七十八萬五千六百五十五斤ノ減少トナレリ甲當收量ハ九萬八千二百二十一斤ニシテ前年期ニ比スレハ一萬一千二百五十一斤ノ減少ナリ作付面積ノ増加ハ他作ニ比シ蔗作ノ

有利ナルニ依ルモノナリ尙昭和五年期作付ノ狀況ヲ見ルニ面積三千七百八十一甲二分九厘此ノ收穫見込三億七千五百六十一萬二千二百二十斤ヲ算ス今之ヲ前年期ノ實績ニ比スレハ面積十四甲二分六厘四毛ノ減收量三千八百九十九萬七千二百二十二斤ノ增收見込ナリ而シテ收穫見込斤量ノ増加ハ栽培技術ノ向上シタルニ因ル最近五ヶ年ノ實績左ノ如シ

年 期	作 付 面 積	收 獲 斤 量	甲 當 收 獲 斤 量	摘	要
大正十三年	四、二一七、〇五	二四四、七五三、九三二	五八、〇三九		
大正十四年	三、九九二、一〇	二二二、五五九、九一六	五五、七五〇		
昭和元年	三、六三〇、〇五	二二八、六二五、八七四	六二、九八一		
昭和二年	三、三二七、三一	二二四、七六〇、八五五	七三、五六一		
昭和三年	三、七七〇、八五	三八五、九〇〇、〇六三	一〇二、〇七二		
以上五ヶ年平均	三、七八七、四七	二六五、三二〇、一二八	七〇、〇五二		
昭和四年	三、七九五、五五	三四四、七一四、八九八	九〇、八二一		

次ニ製糖會社カ蔗作獎勵ノ方法トシテ其ノ區域内蔗作者ニ對シ交付シタル金額及之ニ對スル蔗作狀況ヲ示セハ左ノ如シ

蔗作獎勵金ノ交付

種 別	昭和三年		昭和四年	
	交付金	蔗園面積	交付金	蔗園面積
早 植 獎 助	一、八三三、三〇	一、五〇、七五〇	一、三二八、〇〇	一、七五五、〇〇
金 肥 獎 助	二、八五五、六〇	一〇九、一〇〇	二、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇
綠 肥 獎 助	三、七五五、七〇	一、〇七、七〇〇	六、三五五、〇〇	一、七五五、〇〇
堆 肥 獎 助	一、八五五、五〇	八三、五八〇	一、九、五五五	一、七五五、〇〇
善 人 特 別 獎 助	一、六、九八、五〇	二八〇、〇三三	八、七三三、一〇一	一、七五五、〇〇
耕 作 前 貸 金	三、三三三、三〇〇	三、三三三、三〇〇	一〇〇、五七七	三、三三三、三〇〇

早 植 獎 助	金 肥 獎 助	綠 肥 獎 助	堆 肥 獎 助	善 人 特 別 獎 助	耕 作 前 貸 金
一、八三三、三〇	二、八五五、六〇	三、七五五、七〇	一、八五五、五〇	一、六、九八、五〇	三、三三三、三〇〇
一、五〇、七五〇	一〇九、一〇〇	一、〇七、七〇〇	八三、五八〇	二八〇、〇三三	三、三三三、三〇〇
九三、一三三	二、七五五、〇〇	二、八八八	一九、五五五	八、七三三、一〇一	一〇〇、五七七
一、三二八、〇〇	二、七五五、〇〇	六、三五五、〇〇	一、九、五五五	三、三三三、三〇〇	三、三三三、三〇〇
一、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇	一、七五五、〇〇

甘 藷 米ニ亞ク應下ノ重要食糧作物ニシテ到ル所之カ栽培ヲ見サルハナク其品種亦頗ル多シ就中あんど
 諸ト稱スル品種ハ最モ美味ニシテ惣菜用又ハ茶菓用トシテ上下ノ家庭ニ愛用セラル大正十四年六月臺北ニ於
 テ開催セラレタル始政三十年記念展覽會ニ即賣品トシテ出品シタルニ頗ル好評ヲ博シ八百貫ヲ即賣シタルモ
 尙顧客ノ需要ニ對シ供給不足ヲ告クル盛況ヲ呈シタルコトアリ爾來臺北基隆方面ヨリ取引ヲ要望セラルル向
 多ク年々管外ニ搬出スル數量モ亦少カラズ昭和五年ノ作付面積一千七百五十二甲一分收量二千七百十二萬二
 千七百六十七斤甲當收量一萬五千四百八十斤ニシテ前年ニ比シ作付面積七十六甲二分六厘收量百二萬四千二
 百九十一斤ノ増加ヲ見ルモ甲當收量ニ於テハ九十三斤ヲ減シタリ作付面積ノ増加シタルハ主トシテ輪作關係
 及新開墾地ノ増加ニ因ルモノナリ最近五ヶ年ノ栽培實績左ノ如シ

年 別	作 付 面 積	收 獲	高	一 甲 當 平 均 收 量	摘	要
大正十四年	一、三三三、一五五	二二、八一二、九三五	一六、三八二			

年 別	作 付 面 積	収 獲	高	一 甲 當 平 均 收 量	備 考
昭和元年	一、三九一、三七	二二、〇〇二、〇四〇	一七、七四〇	二二、五二七	
昭和二年	一、四四四、九〇	二二、四七〇、〇八五	三三、九七八	二二、六一〇	
昭和三年	一、五六九、四八	二四、五〇〇、一六〇	二一、五四五	一九、四二〇	
昭和四年	一、六七五、八四	二六、〇九八、四七六	二〇、六三五	一九、六九五	
昭和五年	一、四八二、六三	二三、三七六、七三九	二〇、九五〇	一九、二〇七	
以上五ヶ年平均	一、七五二、一〇	二七、一二二、七六七	二二、九七一	二一、一〇九	

落花生 製油製菓ノ原料トシ又ハ食料及飼料用トシテ廣ク栽培セララルノ外其ノ油粕ハ煙草ノ肥料トシテ需
 要多ク從テ其ノ栽培面積ハ逐次擴大シツツアリ、昭和五年ノ作付面積ハ一千六十七甲一分收量一萬九千九百
 五十五石甲當收量十八石七斗ニシテ前年ニ比シ作付面積二十三甲六分二厘收量九百九十五石甲當收量五斗七
 合ヲ減セリ作付面積ノ減少ハ主トシテ輪作關係ニ因ルモノニシテ甲當收量ノ減少シタルハ生育期中旱魃多キ
 ニ因ル最近五ヶ年ノ栽培實績左ノ如シ

年 別	作 付 面 積	収 獲	高	一 甲 當 平 均 收 量	備 考
大正十四年	七五四、〇四	一七、七四〇	二二、五二七		
昭和元年	一、四三九、一三	三三、九七八	二二、六一〇		
昭和二年	一、一〇九、四〇	二一、五四五	一九、四二〇		
昭和三年	一、〇四七、七五	二〇、六三五	一九、六九五		
昭和四年	一、〇九〇、七二	二〇、九五〇	一九、二〇七		
昭和五年	一、〇八八、二一	二二、九七一	二一、一〇九		
以上五ヶ年平均					

昭和五年 一、〇六七、一〇 一九、九五五 一八、七〇〇

粟 一部蕃人ノ食料トシテ栽培セララルニ過キス昭和五年ノ栽培面積ハ六十三甲收量三百十三石甲當收量
 四石九斗六升八合ニシテ前年ニ比スレハ栽培面積ニ於テ六甲二分收量八石ヲ減スルモ甲當收量ニ於テハ三斗
 二升九合ヲ増加セリ作付面積ノ減少ハ輪作關係ニ因ルモノニシテ甲當收量ノ増加ハ生育期中天候順調ナリシ
 ニ因ル最近五ヶ年ノ栽培實績左ノ如シ

年 別	作 付 面 積	収 獲	高	一 甲 當 平 均 收 量	備 考
大正十四年	一〇三、一九	六四九	六、二八九		
昭和元年	六九、五一	四三五	六、二五八		
昭和二年	八二、九〇	三七八	四、五六〇		
昭和三年	七三、九五	三六四	四、九二二		
昭和四年	六九、二〇	三二一	四、六三九		
以上五ヶ年平均	七九、七五	四二九	五、三七九		
昭和五年	六三、〇〇	三二三	四、九六八		

蔬 菜 廳下蔬菜類ノ主産地ハ吉野、豊田、林田、ノ三移民村及花蓮港街十六股等ナリ就中吉野村ニ於テハ優
 良ナル内地種蔬菜ヲ産シ年々二萬圓内外ノ蔬菜ヲ花蓮港市場ニ供給シツツアルノミナラス常時東沿岸回航船
 及毎日就航スル花蓮港蘇澳間ノ連絡船ニ供給シツツアリ昭和五年ノ栽培面積ハ一千四十五甲八分六厘收量高
 一千四百七十三萬六千九百二十九斤ニシテ其價額四十九萬一千五十七圓ヲ算スルニ至レリ之ヲ前年ニ比スレ

ハ栽培面積二十三甲三分五厘ヲ増加セルモ早害ノ爲生産高ニ於テ百八十六萬八千七百七十六斤ヲ減少セリ而シテ栽培面積ノ増加ハ市街地人口ノ増加ニ伴ヒ需要多キヲ加ヘタルニ因ルモノナリ最近五ケ年栽培實績左ノ如シ

年 別	作 付 面 積	收 穫 高	生 産 價 格	摘 要
大正十四年	五六二、一〇	七、七五二、七三五	二三六、八九六	
昭和元年	六四三、一〇	九、六七五、二五八	二七一、四五七	
昭和二年	八九二、六九	一四、〇三八、九八二	三七四、二〇九	
昭和三年	九六五、二四	一五、二二六、五一一	四一九、二二四	
昭和四年	一、〇二二、五一	一六、六〇五、〇〇五	四一五、二九六	
以上五ヶ年平均	八一七、一三	一二、六五九、六九八	三四三、四一六	
昭和五年	一、〇四五、八六	一四、七三六、九二九	四九一、〇五七	

煙草 臺灣總督府專賣局製ジャスミン煙草ノ原料タル米國種黄色煙草ハ吉野、豊田、林田ノ三移民村ノ

特産ニシテ其ノ賠償金額ハ實ニ十萬圓内外ニ上リ移民ノ經濟上極メテ重要ナル地位ヲ占ム昭和五年ノ栽培面積ハ百八十七甲四分一厘五毛收納高三十四萬六千九百八十八斤甲當收量一千九百十九斤ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ栽培面積六甲一分二厘五毛收納高五千四百三十一斤ヲ増加セリ最近五ヶ年ノ實績左ノ如シ

年 別	栽培面積	收納高	賠償價額	賠償價額	甲當賠償額	摘 要
大正十四年	一三三、一五	二二五、二四七	八八、七八一	三九、四二	六七一、八二	
昭和元年	一三三、四一	二四〇、六八〇	一一、〇四三	四六、一四	八三二、三四	

年 別	栽培面積	收納高	賠償價額	賠償價額	甲當賠償額	摘 要
昭和二年	一四七、五一	二四六、三四五	一一〇、九二二	四九、〇九	八一九、七六	
昭和三年	一六〇、四〇	三〇三、五五一	一五〇、五七九	四九、六一	九三八、七七	
昭和四年	一八一、二九	三四一、四七七	一五七、一二七	四六、〇一	八六六、七二	
以上五ヶ年平均	一五〇、九五	二七一、四六〇	一二五、六九〇	四六、三〇	八三二、六六	
昭和五年	一八七、四二	三四六、九〇八	一六六、二二二	四七、九一	八八六、八四	

以上ノ外各種農作物ヲ一括シテ其ノ實績ヲ示セハ左ノ如シ

普通作物

品 名	栽培面積	收 穫 高	生 産 價 格	摘 要
黍	二、〇〇	九七	九七	
玉蜀黍	一八、九〇	九七	一、七一三	
蕎麥	二五、五〇	二一六	三、七七三	
大豆	三一、九七	一、五六六	二五、二七一	
其ノ他ノ豆類	九五、五八	三九六	六、四六九	
計	四五四、九五	二、二八四	三七、三二三	

特用作物

品 名	栽培面積	收 穫 高	生 産 價 格	摘 要
胡麻	八、四九	二七、一〇	五九四	
苧麻	二六、六〇	二七、一〇	七、三三六	

黃計	五四、九五	一〇二、四八四斤	一三、七五三
麻	九一、〇四		二一、六八三

園藝作物

種類	樹	數	生産	高	生産	價	額	摘	要
柑類		三三、九二五	六七〇、四二四斤		四一、七一二				
龍眼		五八〇	一〇、一四四		八四九				
檸檬仔		一〇八	一、九二八		一四六				
檳榔		三五、八〇四	二一三、四九三		一〇、二九五				
荔枝		二、二五九	一八、八一六		九〇六				
李		六、八四一	九七、五六一		三、五八三				
桃		一、五三九	一〇、三二七		六二七				
柿		二、六五八	二五、三七三		二、一二四				
木瓜		五、二二九	七一、八二四		一、四八八				
蓮霧		五七四	二〇、二六九		一、三八一				
葡萄		四二七	二、一八五		四四一				
枇杷		一、七九〇	三八、四五八		一、八七三				
芭蕉		一一、六二〇	四六九、〇九五		一〇、九九三				
鳳梨		一〇八、三四四	九六、四六五		六、一八四				
計					八二、六〇二				

養蠶

本年度ヨリ花蓮港街ニ郡是製絲株式會社蠶種製造所設立セラレタルル以テ試ニ林田村ニ於テ極少量蠶種用トシテ飼育シタルモ採算上不利ナル結果其ノ後飼育者ヲ見ス蕃地ニ於テハ蕃人授産ノ目的ヲ以テ獎勵中ニシテ昭和五年ノ産繭高二百六石九斗八升價額四千十五圓ナリ

病害蟲豫防驅除

害蟲巡視員ヲシテ常ニ受持區域ヲ巡視セシメ病害蟲ノ發生ニ對シテハ受持警察官吏ト協力シ驅除豫防ノ督勵ニ當ラシメツツアリ、而シテ廳下稻作病害蟲ノ主ナルモノハ稻熱病一點大螟蛾及泥負蟲ニシテ甘蔗ノ病害蟲ハ螟虫類綿蛾虫黃條病柑蠅類ノ病害蟲ハ星天牛綿吹介殼虫密柑小實蠅媒病甘藷ノ害虫ハさつまいもめいがわりもどきぞうむし等ニシテ被害亦尠カラヌ之等病虫害ニ對シ昭和五年實施セル驅除豫防面積總計六千七百甲餘ニ上レリ

糖業

昭和五年期製糖ハ新式工場ニケ所此ノ能力千五十英噸及舊式糖廠三ヶ所ニシテ本期原料消費高三億二千六百八十四萬二千二百二十八斤製糖高四千九十九萬九千六百六十四斤ニシテ之ヲ前年期ニ比スレハ製糖原料四千三百三十五萬六千二百六十一斤製糖高三十四萬三千四百五十三斤ヲ減セリ而シテ製糖原料ノ減少ハ作付面積ノ減少シタルニ因ルト雖甲當收量及歩留ハ前年ニ比シ向上ヲ見タルナリ

二 林業事務

花	鳳	研	玉	計
里	海	林	里	
一	四	一	六	六
二、八一	二、一六	三、一六	三、九七	六、三二五
一	一	一	一	一
四九	四九	四九	四九	四九
一	四	一	六	六
一二八	九九二	二四六	一、三六六	一、三六六
一	一	一	一	一
一九	一九	一九	一九	一九
二	二	二	二	二
七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇
五	八	一	二	一六
九四六	三八〇	三一六	六四三	八、五〇九

而シテ保安林ノ大部分ハ天然林ヲ其ノ儘保護シツツアルモ保安上急施ノ要ヲ認メ造林ヲ實行シタル箇所ハ米
 嶺風致林外二箇所ニシテ此面積百五十五甲ニ及ヒ何レモ相當ノ成績ヲ舉ケツツアリ

四 官營苗圃及官行造林

イ 官營苗圃

經費別	苗圃名	位置	面積	養成樹種	養成苗數	處分苗數	養成經費	備	要
國庫費	舊新港街	花蓮港	二〇九	沖繩松	一七〇、〇〇〇	八、一一〇	一一二、一三	苗木ニシテ山出スルニ至ラス	苗木小ニシテ山出スルニ至ラス
地方費	同	同	九五五	沖繩松タルベ	一三〇、〇〇〇	二二四、五九	同前シツツハ	同前シツツハ	同前シツツハ
民林監督獎勵費	同	同							

ロ 官行造林

米嶺風致林

花蓮港街ノ北方ニ位スル小丘ニシテ僅カニ草茅ノ繁茂スルニ過キサリシ爲風致増進上大正二年度ヨリ五年度

迄ニ營林費ヲ以テ造林シタルモノニシテ其ノ面積四十九甲ナリ樹種ハ主トシテ相思樹ニシテ一小部分ニ「ビ
 ルマ」合歡ヲ混植セリ本造林地ハ既ニ伐期ニ到達セルヲ以テ更新ヲ行ハントス

米嶺防風保安林（砂防造林）

花蓮港街ノ東北ニ位シ海岸ニ浴ヘル平坦地ニシテ防風及飛砂防止ノ目的ノ下ニ大正七年度ヨリ造林ヲ實行シ
 同十一年度ヨリ廳地方費ニ之ヲ貸下ケ引續キ經營中ニ在リ既成造林面積ハ八十二甲ニシテ十甲歩中ニ「ビ
 マ」合歡ヲ混植セルノ外ハ相思樹ナリ

本年度ハ林道兼防火線ノ新設並手入ヲ行ヘリ

里漏飛砂防止林（砂防造林）

里漏飛砂防止林ハ花蓮港街及薄々里漏ノ南方ニ位シ南濱海岸停車場南方ニ接續スル砂丘ナリ大正七年度ヨリ
 同十年度ニ保安林費ヲ以テ銀合歡草トベラ林投等ヲ造林シタルモノニシテ之ヲ大正十一年度ヨリ廳地方費ニ
 貸下ケ引續造林實行中ニ在リ昭和三年度ヨリ沖繩松ノ混植ヲ計畫シ既ニ面積十七甲五分ニ對シ植付ヲ終リタ
 ルニ發育概シテ良好ナリ而シテ昭和六年度ヨリ海岸線ニ近キ箇所ニ木麻黃ヲ植付クヘク準備中ナリ

五 民營苗圃及民行造林

イ 民營苗圃

支應別	箇所數	面積	養成樹種	養成苗數	備	要

花	五	八	一	五〇、〇〇〇 _本	苗小ニシテ山出ニ適セス
鳳	二	二、四二〇	相	一、二五三、二〇〇	同上
研	二	二三五	相	三〇、〇〇〇	同上
玉	三	四七〇	相	一〇〇、五〇〇	同上
計	二〇	三、九八一	相	一、四三三、七〇〇	同上

民 行 造 林

應地方費民林監督獎勵費支辨苗圃ニ於テ沖繩松ダルベルギヤシツツ等ノ苗木ヲ養成シ無償配付ヲ爲スト共ニ相思樹種子ノ配付ヲ爲シ獎勵指導ニ努メタル結果最近ニ至リ漸ク造林ノ必要ヲ自覺シ造林希望者増加ノ傾向ヲ見ルニ至レリ然レトモ造林適地ハ殆ント官有地タル關係上著シキ發展ヲ見ルコト能ハサル現況ナリ

本年度中ノ實行面積ハ百一甲八分ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ七十四甲八厘二毛ノ増加ナリ

六 林 產 物

本年度林產物處分ノ件數ハ主產物二百五十四件副產物六十六件計三百二十件ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ件數數ニ於テ三十六件價額ニ於テ四萬八千九百六十七錢ヲ減少セリ之カ主ナル原因ハ花邊港木材株式會社ノ拂下價額減少シタルト割籐價格暴落ニ因リ黃籐ノ拂下激減シ又價格低廉ナル米材及内地材ノ移輸入増加ノ影響ニ因ルモノナリ

昭和五年度ノ實績ヲ前四箇年ニ對比セハ左ノ如シ

年度別	主 產 物		副 產 物		其 他 物		合 計
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
昭和元年	八六、六三三	四、五三〇	九、三三〇	四、〇一八	一、一八九	三、三五五	八六、九六九
昭和二年	三三、一〇六	三、一九九	六、六六〇	三、二〇一	三、二二六	一、八七二	三三、九四三
昭和三年	三三、五七三	三、一七七	三、三三〇	一、三三三	二、〇八一	一、五三二	三九、九六四
昭和四年	八六、二八四	四、五二〇	二〇、九七〇	四、四二九	二、九七五	一、八一三	四一、六三三
昭和五年	六六、四六六	三、六二九	三、〇三〇	一、六一	一、六八一	六、九三三	四六、九六六

三 水 產 事 務

應下約三十餘里ニ亘ル沿岸一帯ハ潮流ニ伴フテ去來スル暖流性魚旅極メテ豊富ニシテ天惠的漁場ナリ、昭和五年中ノ水產總額十九萬三千六百七十六圓ニシテ前年ニ比シ三萬九千三百三十五圓ヲ減少シタルハ財界ノ不況ニ伴フ鮮魚並惣田鯉節ノ價額暴落ニ起因スルモノナリ

(一) 漁 業

本年中ノ漁獲高ハ百八十三萬七千四百五斤此ノ價格十一萬八千二百四十三圓ニシテ前年ニ比シ漁獲高二十九萬千三百三十五斤増加シ價格ニ於テ四千九百九十七圓ノ減少ヲ示セリ而テ應下ハ常ニ鮮魚ヲ充タスニ足ラス基隆蘇澳及高雄方面ヨリ移入スル實狀ニシテ其ノ年額五十八萬九千九百九十三斤價格十萬四千六百五十圓ニ上レリ是レ其ノ主ナル原因ハ漁船ノ碇泊スヘキ港灣ナキ爲大型漁船又ハ石油發動機漁船ヲ建造シ沖合漁業ニ從事スル者ナク又一面漁業者ノ多クハ概シテ資力ニ乏シク僅カニ支那型漁船ヲ以テ業ニ從事シ其ノ漁具漁撈法ノ如キモ舊慣ヲ墨守シ改良ノ念ナク進テ沖合漁業ヲ經營スルモノ稀ナルニ因ルモノナリ今若シ米崙灣ニ港灣ヲ築設セララルニ於テハ漁船ノ碇泊便トナリ次テ漁船漁具ノ改良ヲ圖ランカ應下ノ水産業ハ忽ニシテ面目ヲ一新スルニ至ルヘシ

(二) 鯉 漁 業

鯉漁業ノ定置漁業免許漁場ハ五十七箇所漁獲高九十七萬六千九百十八尾價格七萬八千六百九十三圓ニシテ前年ニ比シ漁獲高十一萬三百七十七尾増加シ價格三千四百三圓ヲ減少セリト雖鯉漁業ハ有望ナルヲ以テ一般漁業ノ企業モ續テ促進セントスル機運ニ向ヘテ最近五ヶ年ニ於ケル惣田鯉ノ漁業狀況左ノ如シ

年 別	漁 場	漁 獲		價 格	
		數	價	數	格
昭和元年	四三	一、三五六、二四三	一一八、二八六		
昭和二年	五〇	一、二四一、八四六	一〇一、五〇二		

昭和三年	五六	一、六二九、四四〇	一一二、九八〇
昭和四年	五七	八六六、五四一	八二、〇九六
昭和五年	五七	九七六、九一八	七八、六九三

鯉以外ノ漁業建網、地曳網、流網、延繩其ノ他一本釣漁業等ニシテ最近五ヶ年ノ漁獲高左ノ如シ

年 別	數	價	格	備 考
昭和元年	三一六、二二七	五九、〇六七		
昭和二年	一八一、二五八	四八、一六七		
昭和三年	一八九、七二二	四六、七五九		
昭和四年	一六二、〇二六	四〇、三四四		
昭和五年	一七五、四四二	三九、五五〇		

尙米崙沿岸ニ於ケル虱目魚魚苗ハ頗ル豊富ニシテ年漁獲高百二十五萬尾價格六千九百二十圓ニ達シ年々臺南高雄方面ニ搬出サレツツアリ

(三) 製造業

水産物加工品中其ノ主ナルモノハ惣田鯉節及惣田鯉丸切鹽煮ニシテ製造工場二十三箇所ヲ有ス而シテ本年中ノ水産物總製造高七萬四千八百四十六圓ニシテ前年ニ比シ二萬六千二百二十八圓ヲ減少シタルハ製品價格ノ暴落ニ因ル今右製造高ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

種別	數	量	價	格	摘	要
惣田鯉節		一五〇、〇六二		三三、六〇七		
惣田鯉丸切鹽煮		三二八、五九一		三〇、一八四		
煮干		三、二五五		九一一		
惣田鯉荒粕肥料		四六、八七五		二、一五一		
蒲		一四、五〇〇		五、六六五		
其		二二、九〇三		二、三二八		
合		五六六、一八六		七四、八四六		

(四) 惣田鯉節製造講習

鯉節製造ニ從事スル者ノ多クハ本島人ニシテ技術ノ拙劣ナルコト内地人職工ニ比スヘクモアラス製品ノ品質形状共ニ粗悪ナリ之カ爲市場價格亦低廉ニシテ其ノ利潤少ナク且需要者ノ嗜好ニ適セサルヲ以テ之カ製造法改良ノ必要ヲ認メ大正十三年度ヨリ鯉漁期ニ於テ年々内地ヨリ現業教師ヲ招致シ鯉節製造講習ヲ實施ス而シテ修業生ハ各工場ニ傭入レシムルコトトシ製品ノ改善ヲ計リツツアリ本年ハ平地蕃人子弟中公學校卒業者ニシテ將來水産業者タル希望ヲ有スル者四十一名ヲ採用シ七十五日間ニ亘リ講習ヲ爲シタルニ成績頗ル良好ニシテ製品ハ以前ノ割節ニ比シ一般需要者ノ好評ヲ博シ市價三割乃至五割ノ高値ヲ以テ取引サレタリ

(五) 惣田鯉丸切鹽煮

本品ハ海濱ニ遠キ田舎ノ農家ニ於テ嗜好セラレ其ノ需要多キヲ以テ各製造工場ニ於テ節製造ニ適セサル脂肪

多キ惣田鯉ヲ原料トシテ丸切鹽煮ノ製造ヲ爲シ基隆臺中臺南地方ニ仕向ケタルニ豫期ノ歡迎ヲ受ケタリ本品製造ニ供シタル原料ハ四十二萬八千八百十八尾ニシテ製造高二十二萬八千五百九十一斤此價格三萬百八十四圓ニ上レリ

(六) 養殖業

本年ノ淡水養殖場面積ハ五十七甲三分三厘ニシテ其ノ生産高僅カニ五百八十七圓ニ過キス前年ニ比スレハ面積ニ於テ五厘増加シ生産高五百十圓ヲ減少セリ之レ財界不況ノ結果魚價暴落ニ依ルモノナリ

(七) 水産業團體

近年水産業ノ進展ニ伴ヒ廳下當業者ニ於テモ近ク漁業組合ヲ組織シテ漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合タル漁業者相互間ニ於テ共同ノ施設ヲ爲シ併セテ廳下漁業ノ發達ヲ計ラントシ計畫ノ歩ヲ進メツツアリ

(八) 水産貿易

廳下ヨリ搬出スル水産物ノ主ナルモノハ虱目魚魚苗惣田鯉節及惣田鯉丸切鹽煮等ニシテ廳下ハ常ニ鮮魚ノ需要ヲ充タスニ足ラス基隆蘇澳及高雄地方ヨリ移入スル實況ニ在リ今右移入ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

種別	數	量	金	出	種別	數	量	金	入
虱目魚	一、二五〇、〇〇〇		六、九五〇	鮮	魚	五八〇、一九三		一〇四、六五〇	

四 船 舶

惣 田 鐵 船	一五〇、〇六二	三三、六〇七			
惣 田 鐵 丸 切 離 煮	三二八、五九一	三〇、一八四			
計		七〇、七四一		五八〇、一九三	一〇四、六五〇

本年未現在船舶數日本型船十二隻支那型船百二十三隻竹筏一隻計百三十六隻ニシテ本年中ノ新造ニ係ルモノ日本型船一隻支那型船八隻管外ヨリノ日本型船及支那型船各一隻宛ナリ而シテ難波及解體其ノ他ニ依リ船籍ヲ削除シタルモノ日本型船二隻支那型船五隻計七隻ナリ

五 鑛 業 事 務

昭和五年末ニ於ケル鑛區數四許可面積三五九、二四二坪ニシテ其ノ内譯左ノ如シ

鑛 區 名	鑛 區 數	許 可 面 積	備 考
砂 金 鑛 區	二	一〇三、〇八二	
金 鑛 區	一	二一〇、六〇五	
亞 炭 鑛 區	一	四五、五五五	

右ノ内砂金ハ應下加禮宛ヨリ「タツキリ」ニ至ル一帯ノ平野ニ産シ最モ有望ナルカ如シ

六 商 工 事 務

イ 商 業

應下ノ商況ハ本年モ依然不振ヲ續ケ一般財政經濟ノ緊縮都鄙民心ノ引締及異常ナル米價安等ハ一層之ヲ深刻化シ金融業者ノ貸出警戒事業會社ノ退嬰農村經濟ノ逼迫各階級者購買力ノ減退資金回收難等ノ事情ヨリ商家ノ經營沈衰ニ陥レリ

博覽會出品 本年ハ東京市ニ於ケル「海と空の博覽會」宇治山田市ニ於ケル「神都博覽會」等ニ對シ惣田鐵船節乾バナナ等ヲ出品シタリ

市 場 卸市場ハ花蓮港街ノ經營ニ係ルモノ一アリ本年中ノ取扱高十六萬七千五百九十二圓ニ達セリ小賣市場ハ花蓮港街及玉里庄ノ經營セルモノ各一アリ本年中ノ賣上額花蓮港街二十八萬四千四百五十三圓玉里庄五萬三千九百十九圓合計三十三萬八千三百七十二圓ヲ示セリ

度量衡器販賣特許者 本年未現在ニ於ケル當街特許者花蓮港街二名玉里庄一名計量器販賣特許者花蓮港街一名風林區一名、玉里庄一名ニシテ衡器一部修復特許者花蓮港街一名玉里庄一名ナリ

ロ 工 業

應下ノ工業ハ製糖、製材、電氣ヲ主トシ其ノ他ハ製氷、精米、製油、製麵、製靴、鐵工、竹細工、藤細工及石灰磚瓦、車輛、家具等ノ製造ヨリ味噌醬油ノ醸造等ニ至ル諸種ノ業態ヲ包括セリ而シテ製糖製材電氣ノ三工業ヲ除キテハ何レモ小規模ノ事業ニシテ論スルニ足ラス、昭和五年中ノ工業生産總額ハ一千四十萬二千七百八十一圓ニシテ前年ニ比シ六十七萬一千百十六圓ヲ減セルハ經濟界不況ニ伴フ生産工業ノ萎靡及物價低落等

ニ由ルモノト認ム左ニ主ナル工業ニ關スル概要ヲ記ス 製糖工業 廠下工業ノ大宗ニシテ鹽水港製糖株式會社ノ經營ニ係ル新式製糖工場ニアリ本年ノ製糖高四千四十五萬九千六百五十斤價額七百六十一萬三千四百八十四萬圓ナリ外ニ舊式糖廠三ヶ所製糖高四十五萬三百四十四斤、價額三萬八千七百二十一圓ナリ

製材工業 製材工業ノ主ナルモノハ花連港木材株式會社ニシテ其ノ他個人經營ノモノ七アリ花連港木材株式會社ハ大正八年ノ創立ニ係リ資本金一百萬圓ニシテ扁柏林ノ伐木製材及販賣ヲ業トシ林田山ヨリ安東軍山ニ亘ル林田豫察事業區ニ於テ年々立木約六萬石ノ拂下ヲ受ケ素材又ハ製材トシテ島内及東京大阪等ニ移出スルコト從來年額三十萬圓内外ニ及ヘリ然ルニ各種事業界不況ノ影響ヲ受ケ本年ノ製材高一萬三千三十七石價額二十四萬七千七百十二圓ニシテ管外移出高製材四千二百五十三石素材一萬一千五十五石此價額計二十萬八千四百二十四圓ナリ個人經營ノモノハ主トシテ瀾葉樹ノ拂下ヲ受ケ建築其ノ他ノ用材トシテ販賣スルモノニシテ本年中ノ製材價額約四萬一千八百圓ナリ

電氣工業 廠下ニ於ケル電力ハ花連港電氣株式會社ヨリ供給ヲ受クルノ外鹽水港製糖株式會社工場所在地ニ於テハ同會社ヨリ供給シツツアリ

花連港電氣株式會社ハ大正九年四月ノ創立ニ係リ資本金百二十四萬圓ニシテ發電所ハ花連港鳳林及玉里ノ三ヶ所アリ内花連港及鳳林ハ水力發電ニシテ玉里ハ火力發電ナリ本年中ノ電燈電力ノ供給計一、八九六、九九一キロボルトナリ

製氷 唯一ノ製氷工業ハ花連港電氣株式會社附屬花連港製氷所ノ經營ニ係リ同所ノ製氷ヲ以テ廠下ノ供給ヲ充セリ本年中ノ製氷高ハ二十五萬七千五百五十五貫價額三萬二千七百七十六圓ヲ算セリ

七 畜産事務

昭和五年ニ生産シタル畜産物ノ價額ハ五十六萬七千九百九十四圓ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ一萬八千七百十五圓ノ増加ナリ而シテ其ノ産額之中首位ヲ占ムルモノハ豚ニシテ牛及家禽之ニ亞キ牛乳其ノ他ノ畜産額ハ極メテ僅少ナリ

牛 本年末ニ於ケル飼養頭數ハ水牛二萬四百一十一頭黃牛其ノ他九百九十二頭合計二萬一千四百三頭ニシテ前年ニ比シ二百五頭ノ増加ナリ而シテ本年ノ生産頭數ハ水牛二千八百七十頭黃牛其ノ他八百八十九頭計三千五百九十九頭屠殺水牛三百九十一頭黃牛其ノ他八十頭計四百七十一頭斃死水牛一千二百九十八頭黃牛其ノ他四十頭計一千三百三十八頭ニシテ生産過剩一千二百五十頭ニ及ヘリ

馬 本年末ニ於ケル飼養頭數ハ二十三頭ニシテ前年ニ比シ四頭ノ増加ナリ

豚 本年末ニ於ケル飼養頭數ハ本島種一萬三千八百八十九頭洋種及雜種豚一萬四千九百七十一頭合計二萬八千六百六十頭ニシテ前年ニ比シ二百八十六頭ヲ減セリ而シ本年ノ生産ハ二萬二百二十六頭斃死千八百二十七頭屠殺一萬三千九百四十八頭ニシテ漸次自産自給ノ域ニ達シツツアリ

山羊 本年末ノ飼養頭數ハ五百十三頭ニシテ前年ニ比シ三百四十五頭ヲ減セリ

家禽 本年末ノ飼養羽數ハ鷄鶩七面鳥ヲ通シ十萬七千三百二十九羽ニシテ前年ニ比シ一千五百八十八羽ヲ減セリ

牛 乳 廳下ニ於ケル搾乳業者ハ内地人四名ニシテ平野村薄々吉野村及玉里ニアリ乳牛十九頭ヲ飼養シ搾乳高百一石七斗六升三合ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ乳牛一頭ヲ減シタルモ搾乳高十三石八斗七升八合ヲ増加セリ

牧場經營 廳下ニ於ケル既設牧場面積ハ鹽水港製糖株式會社二千九百七十四甲及吉野村信用販賣購買利用組合三百五十九甲合計三千三百三十三甲ナリシモ鹽水港製糖株式會社ハ昭和元年以來一般事業緊縮ノ結果經營ヲ中止シ僅カニ牧場ノ一區域ヲ營業者ニ使用セシムルニ過キス現在經營中ノモノハ吉野村信用販賣購買利用組合ニシテ其ノ狀況左ノ如シ

本年末ニ於ケル放牧牛ハ水牛百二十三頭黃牛六十頭印度牛十一頭雜種牛二百十六頭計四百十頭ニシテ其ノ生産ハ水牛二十七頭印度牛一頭雜種牛六十六頭計九十四頭ニ上レリ此ノ内水牛三頭雜種牛六頭計九頭ノ斃死牛ヲ出シタルモ放牧牛ハ逐年蕃殖シ經營順調ニ進ミ成績良好ナリ

家畜傳染病 本年一月花蓮港街花蓮港ニ於テ狂犬病一頭發生セシ外法定家畜傳染病ノ發生ナカリシモ五月以來豐田村平林鳳林馬太鞍太巴盟玉里ノ各地方ニ家禽虎列刺發生シ極力防遏ニ努メタル結果著シク蔓延スルニ至ラスシテ終熄セリ

八 移民事務

(イ) 土地開墾ノ狀況

當初ノ移民割當面積ハ一戸當耕地三甲宅地一分五厘ノ標準ナリシカ割當地中水田ヲ有セサルモノ水害ニヨリ流失シタルモノ又ハ農耕不適地等アリシ爲之カ補給トシテ其ノ後ノ割増ヲ爲シ現在一戸當平均約四甲ニ達セリ

昭和五年末ニ於ケル開墾狀況左ノ如シ

村 別	總 面積	開 墾			未 墾	
		田	畑	宅 地	返 地	不 適 地
吉野村	一、二七〇 ^甲	五六一 ^甲	六二四 ^甲	三八 ^甲	一、二二三 ^甲	四七 ^甲
豐田村	七〇八	一四五	五三五	二八	七〇八	一
林田村	七四六	一九四	五一九	二五	七三八	八
計	二、七二四	九〇〇	一、六七八	九一	二、六六九	五五

備考

- 1、吉野村信用購買販賣利用組合ハ三百五十九甲ノ牧場ヲ經營シ牛畜改良蕃殖ヲ圖リツツアリ
- 2、表中農耕不適地ハ水害ニ依リ流失埋没セル土地ナリ

(ロ) 農作狀況

移民村ニ於ケル農作物ノ主要ナルモノハ稻甘蔗蔬菜煙草等ナリ移民ハ逐年本島ノ風土ニ馴ルルト共ニ熱帯農

業ノ經驗ヲ積ミ農産額漸次増加セリ其ノ概況左ノ如シ
 稻ハ水稻一、二期作ヲ合セ作付面積千五百八十五甲收量一萬八千四百三十四石(玄米)ニ上リ自産自給ノ域ニ達セリ

甘蔗ハ最近適地ニ適種ヲ栽培シ耕種肥培ノ法改善セラレ單位面積ノ收量著シク増加シ豊田村ニ於テハ農産物ノ主位ヲ占ムルニ至リ、煙草ハ專賣局ノ補助獎勵ニヨリ相當收益ヲ收メツツアリ吉野村ノ蔬菜ハ里餘ノ地ニ花蓮港街ヲ控ヘ其ノ需要大ナルヲ以テ農家副業トシテ毎年尠ナカラサル收益ヲ擧ケツツアリ、甘藷ハ米ニ亞ク主要食糧ナルノミナラス豚ノ飼料トシテ栽培セラレツツアリ

昭和五年中ニ於ケル農作物播收狀況左ノ如シ

種別	吉野村			豊田村			林田村		
	作付面積	收穫高	價額	作付面積	收穫高	價額	作付面積	收穫高	價額
水稻	2,350	19,286	45,700	3,100	31,100	3,000	2,299	33,250	
甘蔗	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
甘藷	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
大豆	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
蔬菜	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
煙草	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
果樹	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
其他	100	3,111	3,111	100	3,111	100	870	870	
計									

(ハ) 經濟狀態

移民ノ經濟狀態ハ天災ニ因ル農作物ノ豊凶ニヨリ相違アルモ逐年向上シツツアリシカ本年ハ財界ノ不振ト米價ノ暴落トニ由リ銷沈ニ傾クリ特ニ吉野村ハ七月十二三兩日ニ亘ル暴風雨ニ際シ倒壊住家五十餘戸ヲ出スノ慘狀ニ遭遇シ大打撃ヲ受ケタリ只林田村ハ葉煙草耕作ノ成績良好ニシテ多少農家ヲ潤セリ然レトモ概シテ萎靡不況ノ域ニ在ルヲ免レス各村トモ向後一層耕種肥培ノ改善ヲ圖リ以テ村勢ノ振興ヲ期スルノ必要アリト云フヘシ

昭和五年中ノ經濟狀態左ノ如シ

種別	收入			支出		
	種別	金額	摘要	種別	金額	摘要
農産收入	吉野	33,271		吉野	17,059	
	豊田	22,420		豊田	8,272	
	林田	17,766		林田	11,460	
勞働收入	吉野	51,637		吉野	15,358	
	豊田	53,068		豊田	12,240	
	林田	52,041		林田	9,624	
副業收入	吉野	7,312		吉野	1,093	
	豊田	3,962		豊田	8,225	
	林田	24,098		林田	14,435	
生活費	吉野	22,420		吉野	11,460	
	豊田	17,766		豊田	8,272	
	林田	17,766		林田	11,460	
經營費	吉野	53,068		吉野	12,240	
	豊田	52,041		豊田	9,624	
	林田	52,041		林田	9,624	
雜支	吉野	7,312		吉野	1,093	
	豊田	3,962		豊田	8,225	
	林田	24,098		林田	14,435	

二 經理事務

自大正十年度 至昭和五十年 度 經理調

セフオカ 警察官吏駐在所
 カラバオ 警察官吏駐在所
 ルツヒ 警察官吏駐在所
 トホコ 警察官吏駐在所

年度別	國庫支辨警察費	備	要
大正十年度	一、一四五、八八三	八一	
同 十一年度	一、〇六五、二九二	七二	
同 十二年度	一、〇六六、五六四	二六	
同 十三年度	一、〇五五、三四九	〇〇	
同 十四年度	九四三、〇一二	〇〇	
昭和元年度	一、〇〇六、三七九	九七	
同 二年度	九二九、九七一	一七	
同 三年度	九五八、五七四	八〇	
同 四年度	九四五、三〇八	一〇	
同 五年度	九五八、九〇八	六五	

ワ 警務課保安係主管

一 保安事務

(一) 警戒防禦準備

非常警戒防禦ニ關シテハ各支廳共管内ニ適應セル規定ヲ設ケ變災事變ニ備フル組織アリテ常ニ警察補助機關ヲ指導訓練シ一面各種團體ト連絡協調シ實施ニ當リ遺憾ナキ様改善ヲ圖リツツアリ

(二) 火災豫防

廳下ノ建築物ハ市街地ニ於テモ未タ耐火的ノモノ少ナク殊ニ地方部落ニ在リテハ木造茅葺ノ陋屋多ク火災豫防上懸念スヘキ状態ニアリ又廣漠タル原野多キ爲野火ノ發生少ナカラス之カ豫防ニ付テハ保甲會議又ハ蕃社會議其ノ他會合ノ機會ニ於テ訓練シ一般部民ニ周知シ一面警察官吏巡邏ノ際火氣取扱ノ場屋ニ實地臨檢シテ注意ヲ促シ又冬季ニ於テハ壯丁消防組員等ヲシテ警戒取締ヲ勵行セシメツツアルモ尙民度低ク火災豫防ノ觀念ニ乏シキ者アルト家屋ノ構造不備ナルモノ多キ爲年々多大ノ被害アリ本年三月火災豫防ニ付廳下各地ニ於テ活動寫眞ヲ映寫シ宣傳ニ努メタリ

火 災

件	數	燒失戶數	同上棟數	被害見積額	備	考
	六一	六一	一一八	二〇、〇八六	〇〇	

(三) 民有銃砲火藥類ノ取締

民有銃砲火藥類所持者ニ對シ毎月一回以上家宅及使用場所又ハ貯藏所ニ臨檢シ嚴重ナル取締ヲ爲シツツアル
モ火藥類ハ應下ノ開發ニ伴ヒ使用數量夥シク増加シ又其ノ區域度汎ナル爲之カ取締ハ頗ル困難ニ屬シ研究者
慮中ナリ

民有銃砲火藥

昭和五年中

種別	民有			火藥											
	銃	砲	銃砲	火藥	火藥	火藥									
獵銃	二九三	三六	四	射的銃	一	空氣銃	四三三	ダイナマイト	二七、五八六	雷管	二九、三八四	有煙火藥	五、八三一	無煙火藥	五五〇

(四) 銃獵取締

當應下ハ擴大ナル蕃地ヲ抱擁シ銃獵取締ハ理善政策上重要ナル關係アルヲ以テ銃砲火藥類ノ取締ト相俟テ特
ニ銃獵期間中ニアリテハ臨時日時ヲ定ニ狩獵先ニ於ケル一齊取締ヲ爲シツツアリ又管内ニ於テハ山猪其ノ他
野獸ノ爲農作物ノ被害少ナカラサルニ依リ銃器ヲ使用シ驅除願出ツル者多シ

銃獵及害獸驅除

昭和五年期

銃獵免狀下付人員	害獸驅除許可人員	計	備考
六三	七九	一四二	

(五) 講會取締

下級金融機關トシテ又財的隣保相互共助機關トシテ頼母子講其ノ他講會事業ハ最も重要ナル地位ニアルヲ以
テ之カ許可ニ際シテ嚴重ナル調査ヲ爲シ許可後ニ於ケル規約ノ勵行ヲ促シツツアリ

講會

昭和五年末

掛金高	口數	人員	一回ノ掛込金額	備考
五	五六	五五	二八〇	
十	一六〇	一五二	一、六〇〇	
十	一三八	一二六	二、〇七〇	
十五	二二七	二二四	四、五四〇	
二十	一九〇	一八四	四、七五〇	
二十五	三三八	三四〇	一〇、七四〇	
三十	一五〇	一四七	四、九五〇	
三十五	七三	七二	二、五五五	
四十	一九五	一九二	七、八〇〇	
五十	八〇	七九	四、〇〇〇	
計	一、六二七	一、五六一	四三、二八五	

(六) 諸營業取締

地方ノ開發ニ伴ヒ警察取締ニ屬スル諸營業其ノ他ノ物件場屋等年々増加ノ情勢ニアリト雖取締其ノ宜敷ヲ得
各般ノ事務概シテ圓滿ニ執行セラレツツアリ

保安警察上取締諸營業

昭和五年末

支 團 別	保 甲		壯 丁		備 考
	保 數	甲 數	團 數	具 數	
花 蓮 支 團	一三九	一三三	五	八	
鳳 林 支 團	一〇一	一〇一	七	七	
玉 里 支 團	二〇	二〇	七	七	
研 海 支 團	三四	三五六	二	二	
計					

一五七

(七) 保甲壯丁團
 保甲壯丁團ハ警察補助機關トシテ地方ノ治安保持ニ任シ警察上貢獻スル處少ナカラサルモ其ノ實績未タ充分ナラス特ニ訓練教養ニ努メツツアリ

昭和五年末

種 別	許可取消	營業停止	捕	要
旅人宿營業				
代 售 業				
自動車營業				
自動車運轉手				
原動機設置				

保安警察取締營業其ノ他ノ行政處分

昭和五年中

種 別	員 數	種 別	員 數	種 別	員 數	備 考
銃 砲 商 業	一	製 糖 工 場	二	石 灰 貯 藏 所	二	
火 藥 商 業	一	煉 瓦 及 瓦 製 造 所	三	電 氣 予 供 給 スル 營 業	四	
煙 草 販 賣 業	一	陶 器 製 造 所	一	其ノ他 原 動 機 予 設 置 スル 工 場	六	
鐵 工 業 場	三	石 灰 製 造 所	一	自 動 車 販 賣 業	五	
無 鐵 工 業 場	二	波 紋 鐵 皮 製 造 所	一	金 銀 細 工 業	一	
綿 織 業 會 社	一	仲 介 船	四	旅 人 宿 業	一	
綿 織 業 會 社	六	自 家 用 自 動 車	一	下 宿 業	七	
古 貨 物 商 業	一	貨 車	三	飲 料 店	七	
印 刷 業	四	自 家 用 貨 物 車	八	食 店	〇	
印 刷 及 影 刻 業	一	自 家 用 貨 物 車	三	座 敷 店	〇	
石 油 貯 藏 所	一	自 家 用 貨 物 車	六	人 數 店	〇	
苦 力 貯 藏 所	四	自 家 用 貨 物 車	五	妓 女 店	一	
賣 場	四	自 家 用 貨 物 車	〇	妓 女 店	七	
道 士 者 業	一	自 家 用 貨 物 車	一	遊 藝 場	三	
輪 船 場	五	自 家 用 貨 物 車	四	遊 藝 場	六	
渡 船 場	一	自 家 用 貨 物 車	二	遊 藝 場	五	
渡 船 場	三	自 家 用 貨 物 車	三	遊 藝 場	一	
渡 船 場	七	自 家 用 貨 物 車	一	遊 藝 場	六	
自 動 車 運 轉 手	一	自 家 用 貨 物 車	二	遊 藝 場	五	
其 他	八	自 家 用 貨 物 車	〇	遊 藝 場	一	

一五六

(八) 蕃人壯丁團

平地アミ族蕃社ニ於ケル自治的警察補助機關タラシムヘク大正十四年廳下樞要ノ蕃社ニ保甲ノ壯丁團ニ準シ
 アミ族壯丁團ノ設置ヲ試ミタルニ爾來各蕃社競フテ之カ組織ヲ望ミ警察官吏直接指導教養シ良好ナル成績ヲ
 收メツツアリ而モ彼等ノ體格強健ニシテ活動力ニ富ミ質實純朴ナル氣風ハ之カ運用ノ如何ニ依リ將來優秀ナ
 ル警察補助機關タラシムルヲ認ムルニ足ル

蕃人壯丁團

昭和五年末

支 團 別	團 數	團 員			備 註
		團 長	副 團 長	壯 丁	
花 蓮 支 團	六	六	一九	三二九	三五四
鳳 林 支 團	六	六	一二	二二一	
玉 里 支 團	三	三	七	一四三	一五三
研 海 支 團	一	一	八	六八三	七三六
計	一五	一五	三八	六八三	七三六

(九) 消 防

消防機關ハ花蓮港街及玉里庄ニ公設吉野村豐田村及鳳林區鳳林ニ私設消防ノ組織アリ又林田村ニ義勇消防組
 アルノ外村落ニハ何等ノ施設ナク有事ノ際殊ニ火災警防上憂慮セララルモノアルヲ以テ保甲壯丁團アミ族壯
 丁團ニ消防器具ノ備付及消防訓練ヲ督勵シツツアリ

消防組及器具

區 別	名 稱	部 數	組 員		消 防 手	計 員	主 要 器 具		警 備 處
			組 長	副 組 長			噴 筒	水 管 車	
公 設	花蓮港消防組	二	一	一	五六	五九	二	二	二
同	玉里消防組	一	一	一	三一	三四	二	一	一
私 設	吉野消防組	三	一	一	一四一	一四五	三	二	一
同	豐田消防組	三	一	一	七八	八二	三	一	一
同	鳳林消防組	一	一	一	五〇	五三	二	一	一
計		一〇	五	五	二〇六	二一四	一〇	六	六

(十) アミ族勞力

廳下ニ於ケル各種事業ハ常ニ勞力不足ニシテ勢ヒ平地アミ族ノ勞力ニ俟ツノ状態ナリ然ルニアミ族ハ進ンテ
 出役ヲ爲シ勞銀ヲ得ントスル經濟的知識ニ乏シキヲ以テ彼等アミ族ヲ勤勞生活ニ馴致スル爲警察之ニ關與シ
 義務出役ノ制ヲ定メ事業ノ性質緩急ヲ考慮シアミ族農耕ノ餘力ヲ以テ出役ヲ督勵シツツアリアミ族ノ體格強
 健ニシテ勞働力ノ偉大ナルト賃銀ノ低廉ナルヨリ日ト共ニ需要増加ノ状態ナリ

アミ族勞力

昭和五年末

支 團 別	總 數	同 上		出 役 不 能 數	出 役 可 能 數	備 註
		勞 働 力 得	勞 働 力 得			
花 蓮 支 團	一、四八七	七六二	七二五	一六四	五六一	

一五九

一五八

鳳林支廳	二、六一五	一、〇九七	一、五一八	四五五	一、〇六三
玉里支廳	一、二三五	五八五	六五〇	二六一	三八九
研海支廳	五、三九一	二、四六九	二、九二二	八九七	一一二
計					二、〇二五

アミ族職工徒弟

昭和五年末

花蘆支廳	一三二	一四一	三六	計	三〇九	備	考
鳳林支廳							
玉里支廳							
研海支廳							

アミ族出役人員

年別	花蘆支廳	鳳林支廳	玉里支廳	研海支廳	計	備	考
昭和元年	二八三、七二〇		六一、三六七	四、〇六〇	三四九、一四六	昭和元年、同二年鳳林支廳	
昭和二年	二八四、二五五		六五、八二七	四、〇九〇	三五四、一七二	ノ分ハ花蘆支廳ノ中ニ之ヲ	
昭和三年	一〇九、五三五		五五、八七九	二、四七二	三五六、五五二	含ム	
昭和四年	一三二、四七六		三五、〇五九	二四九	三五八、〇七三		
昭和五年	七八、三六四		四一、七四四	二二	二八〇、六九七		

二 司法事務

(一) 犯罪捜査及即決

犯罪檢舉ニ關シテハ内外警察職員之ニ努メ機宜ノ措置ヲ講シ檢舉成績概シテ良好ナルモ犯罪ノ檢舉成績ハ犯

罪豫防上重要ナル事項ニ屬シ延テ警察ノ威信ニ關スルヲ以テ特ニ未檢舉重要犯罪ノ捜査ヲ勵行シ捜査思想ト趣味ノ涵養ニ努メツツアリ
即決区分ハ罪質情狀及其ノ輕重等ヲ考察シ緩嚴其ノ度ヲ失セス公序良俗ノ保持ニ注意シ即決制度ノ主旨ニ適スヘク注意ヲ加ヘツツアリ

犯罪檢舉件數

年次	刑罰法	特別法	犯罪	計	步合	備考
昭和元年	七五	一四〇	九二五	九八八	一、二三八	〇、八七六
昭和二年	六五	一四〇	八二二	一、〇三三	一、一三三	〇、八九七
昭和三年	九四	一〇三	四四	一、三九	一、四七	〇、九四七
昭和四年	一〇五	一〇五	三三	一、三七	一、四六	〇、九六九
昭和五年	一、二〇八	一、二七	二九	一、三六	一、三五	〇、九七

犯罪即決件數人員

年次	懲役	罰金	拘留	料	計	備考
昭和元年	一三五	一八五	三二七	四〇八	四六二	五九三
昭和二年	一五一	二四六	三二三	三九八	四七四	六四四
昭和三年	一六〇	三一九	四一五	五二九	五七五	八四八

昭和四年	一〇四	二三一	六三二	九一八	七三六	一、二四九
昭和五年	七七	一九九	四五三	六七三	五三〇	八七二

(二) 犯罪ノ豫防

犯罪ノ多クハ先天的又ハ常習的ニ基因スルモノ多キハ各種犯罪統計ニヨリ證明セララルル處ナルヲ以テ平素前科者其ノ他刑事要注意人ノ取締ヲ嚴ニシ浮浪戒告者不良少年等ノ改過遷善ニ努ムルハ犯罪豫防上最モ緊要ナルヲ認メ之カ保護取締ノ徹底ヲ促シ一面他管内ヨリ轉入シタルモノニ對シテハ身許調査ヲ勵行シ犯罪ノ豫防資料ニ供シツツアリ

刑事要視察人其ノ他

昭和五年末

支 廳 別	起訴者	懲戒者	常習者	記障者	執行者	出 出	浮浪者	不良少年	計	捕
花 支 廳	七四	一三	二五		一三				一四三	
鳳 支 廳	七七	八	二二		九				一二五	
玉 支 廳	一一	一三	一六		一				五〇	
研 支 廳	一六	一	三		一				一一	
計	一六九	三五	六六		三一				一二九	

カ 警務課衛生係主管

一 衛生事務

(一) 娼妓密淫賣婦ノ檢診治療

廳下ニ於ケル貸座敷營業地域ハ花蓮港街ノミニシテ現在貸座敷數七娼妓人員四十五名ニシテ每週一回警察醫ヲシテ檢診セシメ疾患患者ニ對シテハ入院治療ヲ命シツツアリ其ノ成績左ノ如シ

昭和五年中娼妓檢診治療成績

種 族 別	種 別		檢 査		延 者		無 病 者		合 計		治 療		年 末 現 在	
	有	無	檢	査	者	者	者	者	日 數	平 均 一 回 檢 査 人 員	娼 妓 入 院 者 數	貸 座 敷 數	者	在
内地人			八	一	二	一	一	一	三	二	四			
朝鮮人			四	一	七	一	一	一	八	二	四			
計			一二	二	九	二	二	二	一一	四	八			
			二	三	三	五	一	一	八	五	四			
			四	四	八	二	二	二	一	三	一			
			八	九	一	五	一	一	五	二	一			
			一	二	三	四	五	六	七	八	九			
			三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一			
			五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三			
			七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五			
			九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七			
			一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九			
			一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一			
			一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三			
			一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五			
			一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七			
			二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九			
			二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一			
			二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三			
			二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五			
			二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七			
			三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九			
			三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一			
			三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三			
			三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五			
			三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七			
			四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九			
			四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一			
			四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三			
			四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五			
			四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七			
			五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九			
			五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一			
			五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三			
			五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五			
			五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七			
			六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九			
			六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一			
			六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三			
			六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五			
			六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七			
			七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九			
			七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一			
			七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三			
			七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五			
			七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七			
			八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九			
			八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一			
			八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三			
			八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五			
			八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七			
			九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九			
			九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	一〇〇	一〇一			

(二) 汚水、下水掃除及清潔法

廳下花蓮港街玉里庄玉里ノ二市街ニ在リテハ街庄費支辨常備人夫ヲ以テ汚物運搬糞便汲取下水浚渫市街道路ノ清潔保持ニ努メツツアリ其ノ他市街村落ニ在リテハ各居住者ニ對シ住家内外ノ清潔保持ヲ督勵シツツアリ

(三) 上水、下水

廳下ニ於ケル水道ハ公設一ヶ所其ノ他簡易水道三十一ヶ所アリ此ノ外新ニ布設ヲ要スル箇所不尠井戸ノ改善等飲料水ニ對スル施設改善ニ付テハ督勵中ナリ

下水ノ設備稍完備シツツアルハ花蓮港、玉里及鳳林ノ三市街ニシテ其ノ他ハ未タ完成ニ至ラス常ニ汚水停滯

シ温潤ノ箇所多ク衛生上排水施設ヲ要スルモノアリ

(四) 接客營業者健康診斷

娼妓ヲ除ク宿屋料理屋藝妓酌婦其ノ他接客營業者及從業者ニ對シ年二回其ノ他必要ト認ムル者ニ對シテハ隨時警察醫及公醫ヲシテ健康診斷ヲ爲サシメ疾患者ニ對シテハ治療處置ヲ命セリ本年中ニ於ケル成績左ノ如シ

受檢人員	健康者人員	疾患者人員	備考
二、六七〇	二、六四一	八九	要

(五) 飲食物

各種飲食物及同食器具並着色料防腐劑人工甘味質取締

本項諸取締ニ付テハ受持警察官吏ヲシテ常時臨檢セシムル外年二回以上一齊ニ各店舗ニ就キ現品検査ヲ行ヒ不良品ト認ムル物ニ對シテハ衛生技手ヲシテ化學試驗検査ヲ爲サシムル外隨時管内巡視臨檢セシムル等嚴重取締ヲ勵行シツツアリ

(六) 墓地火葬場及獸類死體埋却場

廊下ニ於ケル現在墓地ハ五十三箇所火葬場五箇所獸類死體埋却場二ヶ所ニシテ所在街庄區長ヲシテ之ヲ管理セシメツツアリ取締上特記スヘキ事項ナシ

(七) 乳肉

(イ) 牛乳

牛乳營業者ハ花蓮支廳下平野村、薄々、吉野村、玉里支廳下玉里ノ四ヶ所ニシテ共ニ營業主ハ内地人ナリ營業諸設備及乳牛並牛乳検査ハ衛生技手ヲシテ定期臨檢取締ヲ爲サシム昭和五年中搾取高百一石七斗六升三合販賣高八十五石一斗八升八合此ノ價格九千三百八十三圓十四錢ニシテ現在十八頭ノ乳牛アリ

(ロ) 肉類

獸肉營業者ニ對シテハ不良肉並防塵昆虫驅除等ニ付衛生技手及警察官ヲシテ常時取締ヲ爲シツツアリ

(八) 公立醫院及公醫

(イ) 香葉醫院

花蓮港街ニ傳染病者ヲ收容スヘキ廳地方費支辨香葉醫院アリ同醫院ハ市區擴張區域内ニ包容セラレ且ツ人家ニ接近シ居ルヲ以ツ他ニ移轉方稟申中ニ屬ス同院職員ハ醫院長一事務囑託一、醫務囑託二調劑囑託二、事務員一、看護婦一、小使一ヲ配置ス本年入院患者月別人員數左表ノ如シ

病名別	月別												計	入院人員	備考	
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二				
腸チフス	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
バラチフス	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	六	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
延人員	一	一七〇	四二													

類々協定シ極力醫療普及ニ努メツツアリ其ノ成績未タ顯著ナラサルモ漸次其ノ効果リ舉クヘキモノト認ム

(十) 衛生機關

(イ) 醫院、醫師、齒科醫師

昭和五年十二月末日現在

支廳別	區別	醫院			官立	公立	私立	計	官立	公立	私立	計	官立	公立	私立	計	官立	公立	私立	計	
		官立	公立	私立																	
花	蓮																				
鳳	林																				
玉	里																				
研	海																				
計		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(ロ) 醫師一人當人口

昭和五年十二月末日現在

支廳別	區別	總人口	醫師數	醫師一人當人口
花	蓮	二六、八一八	九	二、九八〇
鳳	林	二六、六九二	九	二、九六六
玉	里	一七、九〇六	七	二、五五八
研	海	三、〇二七	三	一、〇〇九
計		七四、四四三	二八	二、六五九

(ハ) 醫師分布狀態

昭和五年十二月末日現在

街庄區	區別	醫師數	人口	醫師一人當人口
花	蓮	一	一、六九〇	三、七〇四
平	野	一	六、八三〇	二、四一二
吉	野	三	二、四一二	一、八九〇
壽	林	六	五、六七一	二、四三〇
鳳	林	二	一四、五八〇	一、八九〇
瑞	林	二	八、二四五	四、一二二
新	社	一	三、四三三	三、四三三
玉	里	四	一〇、七九一	二、六九七
大	庄	二	六、四九九	三、二五〇
研	海	二	二、二七〇	一、一三五
計		二八	七四、四四三	二、六五九

(ニ) 其ノ他

支廳別	區別	官立	公立	私立	計	官立	公立	私立	計	官立	公立	私立	計
花	蓮				三				三				三
鳳	林				三				三				三
玉	里				三				三				三
研	海				三				三				三
計					三				三				三

計	三	三一	七一	五	一	一四	七一	七	七	二二	八	五	一	三	三	六
---	---	----	----	---	---	----	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---

(土) 藥品取締

本取締ニ關シテハ警察官ニ於テ常時取締ヲ爲シツツアルニ特ニ専門的智識ヲ要スルヲ以テ衛生技手ヲシテ全管内ニ亘リ藥品巡視ヲ行ハシメ各醫師及營業者ニ對シ藥品取扱上ノ注意ヲ喚起シ嚴重取締ヲセル結果漸次藥品取扱上良好ノ成績ヲ示セリ

(三) 阿片取締

阿片吸食特許者ハ阿片癮網羅ニ依リ新ニ吸食ヲ特許セラレタルモノ九十五名(本廳管内ニ本居ヲ有スル者四十名他州廳管内ニ本居ヲ有スル者五十五名)及從來ノ特許者(入寄留者ヲ含ム)合計二六九名ニシテ一定ノ吸食量ヲ指定シ吸食セシムルノ外之ヲ視察ニ附シ又阿片癮矯正治療受命者二百四十名ニ對シテハ矯正ヲ受クル迄ノ期間矯正治療命令書ニ依リ吸食セシメ本年八月一日ヨリ三名宛花蓮港醫院ニ入院治療中ナリ尙戒告處分ニ付セラレタル六十四名ニ對シテハ嚴重吸食禁止ノ戒告ヲ加ヘ一面阿片ノ要視察人ニ編入視察ニ付シ居レリ其ノ他阿片ノ密輸入製造吸食等ニ付テハ極力取締ヲ勵行シ所期ノ目的達成ニ遺憾ナキヲ期シツツアリ阿片各種營業者阿片要視察人及既往ニ於ケル阿片吸食特許者並阿片烟膏賣下販賣高其ノ他左ノ如シ

(イ) 阿片各種營業者

種族	元賣烟膏人	小賣烟膏人	販賣烟膏器具	元賣阿片	捕	要
内地人	—	—	—	—	—	—
本島人	—	—	—	—	—	—
計	六	六	二	二	—	—

(ロ) 阿片吸食特許者及現在吸食人員

年別	本廳特許人員		現在吸食者(入寄留者ヲ含ム)		捕	要
	本島人	支那人	本島人	支那人		
昭和元年	八六	一四	二四二	一四		
昭和二年	七八	九	二二〇	九		
昭和三年	七四	七	二二三	七		
昭和四年	六九	六	一九九	六		
昭和五年	九六	三	二六六	三		
計	三〇〇	四〇	一〇〇〇	四		

(ハ) 阿片要視察人

支廳別	種別	本島人		支那人		合計		捕	要
		男	女	男	女	男	女		
花	林	三九	一三	—	—	—	—		
鳳	里	四五	—	—	—	—	—		
玉	海	一六	—	—	—	—	—		
研	海	八	—	—	—	—	—		
計	計	六三	一四	—	—	—	—		

昭和五年末現在

各年末現在

昭和五年末現在

計	一〇八	二五	一六	五	一二四	二七	一五一
---	-----	----	----	---	-----	----	-----

(二) 阿片烟膏賣下及販賣

年別	種別	賣下數量	販賣		一人當一日平均 吸食量	阿片吸食人員 (入寄付者ヲ含ム)
			數量	價格		
昭和元年	一等	八五、六〇〇	八四、八八九三	三七、三五一	〇、九四	二五六
昭和二年	同	八三、八〇〇	八二、八八二〇	三六、四六八	〇、九三	二二九
昭和三年	同	七七、六〇〇	七七、八七九〇	三四、一六七	〇、九二	二三〇
昭和四年	同	七三、四〇〇	七二、五〇一七	三一、九〇〇	〇、九一	二二一
昭和五年	同	九三、一〇〇	八〇、九七一六	三五、七八二	〇、七六	二六九

(一) 藥用阿片下附及卸賣

年次	下附數量	卸賣數量	販賣價格	摘要
昭和元年	一〇〇	二五	三、〇〇	前年越 七五五
昭和二年	二五	四五	五、四〇	前年越 三〇瓦
昭和三年	二五	二五	三、〇〇	前年越 三〇瓦
昭和四年	二五	五	三、〇〇	前年越 三〇瓦
昭和五年	二五	五	六〇	前年越 三〇瓦

(三) 屠畜取締
 廳下ニ於ケル屠場二十三ヶ所ノ内屠屋ノ完全ナルハ十四ヶ所ニシテ外九ヶ所ハ蕃木假建ニシテ非衛生的ナル

ヲ以テ漸次改築計畫中ニ屬ス屠畜検査員ハ花蓮支廳へ衛生技手一ヲ配置シ玉里鳳林兩支廳ニハ獸醫ヲシテ支廳所在地ノ屠畜検査事務ヲ囑託シ其ノ他ハ主ニ各屠場所在地ノ警察官ニ於テ検査ス各屠場ニ於ケル屠畜頭數及検査上屠肉内臟ノ一部廢棄シタルモノ左ノ如シ

(イ) 屠畜數及屠場

年別	種別			馬	計	豚	山羊	合計	屠場
	水牛	黄牛	雜種牛						
昭和三年	二二六	二九	四	一	二七〇	一一、八九三	二〇二	一一三、三六五	二二
昭和四年	二五九	六八	五	一	三三二	一一、五九二	二五七	一四、一八一	二二
昭和五年	三九一	六九	一一	一	四七一	一三、九四八	二二二	一四、六四一	二二

(ロ) 屠肉廢棄

稱別	頭數	斤數	價格	頭數止		全部廢棄		一部廢棄	
				全部	一部	頭數	斤數	頭數	斤數
水牛	三九一	一九二、二五二	一四、六九八					二六	九三、一
黄牛	六九	三〇、六一八	四、〇六四						
雜種牛	一一	四、八二〇	六〇八						
馬	四七一	二二七、六九〇	一九、三七〇					二六	九三、一
計	一三、九四八	一、五五六、二二八	四五一、二四四					七八四	六四八、六
山豚	二二二	六、一七六	一、三三四					一四	九、一
羊	二二二	六、一七六	一、三三四					一四	九、一

計	一四、六四一	一、七九〇、〇九七	四七一、九三八	—	—	—	八二四	七五〇、八
---	--------	-----------	---------	---	---	---	-----	-------

(四) 毒蛇咬傷

毒蛇咬傷被害ハ應下ヲ通シ其ノ數尠カラス毒蛇ノ種類ハ七、八種ニシテ就中青竹糸龜殼花ハ被害最モ多ク咬傷被害ハ主ニ蕃人ニシテ本島人之ニ亞ク既往ニ於ケル被害狀況左ノ如シ

毒蛇咬傷既往被害表

年別	支廳別		被害死亡	被害死亡	被害死亡	被害死亡	被害死亡	被害死亡	計
	花	蓮							
昭和元年	二一	—	—	—	—	—	—	—	二一
昭和二年	一七	—	—	—	—	—	—	—	一七
昭和三年	四	—	—	—	—	—	—	—	四
昭和四年	七	—	—	—	—	—	—	—	七
昭和五年	八	—	—	—	—	—	—	—	八
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 鳳林支廳ハ昭和三年二月開設ニ付其ノ以前ハ花蓮支廳分ヘ掲記ス

(五) 出生、死亡ノ狀態

1、生産、死亡

年別	人口	出生	千分比例	死亡	千分比例	摘要
昭和元年	六一、二二九	—	—	—	—	—
昭和二年	六四、五二六	—	—	—	—	—
昭和三年	六六、二九五	—	—	—	—	—
昭和四年	六八、五五八	—	—	—	—	—
昭和五年	七四、四四三	—	—	—	—	—

年次	種族	内地	本島	蕃人	外國人	合計
昭和元年	人口	二、二二二	二、二二二	—	—	二、二二二
昭和二年	出生	二、四五六	二、四五六	—	—	二、四五六
昭和三年	死亡	二、四八五	二、四八五	—	—	二、四八五
昭和四年	出生	二、六三三	二、六三三	—	—	二、六三三
昭和五年	死亡	二、九九六	二、九九六	—	—	二、九九六

備考 本表ハ蕃地ノ蕃人ヲ含マズ

2、生産死亡年次

年次	種族	内地	本島	蕃人	外國人	合計
昭和元年	人口	二、二二二	二、二二二	—	—	二、二二二
昭和二年	出生	二、四五六	二、四五六	—	—	二、四五六
昭和三年	死亡	二、四八五	二、四八五	—	—	二、四八五
昭和四年	出生	二、六三三	二、六三三	—	—	二、六三三
昭和五年	死亡	二、九九六	二、九九六	—	—	二、九九六

3、種族別生産、死亡率

年次	種族	人口千ニ對スル生産率				人口千ニ對スル死亡率			
		内地人	本島人	蕃人	外國人	内地人	本島人	蕃人	外國人
昭和元年	總生産	三、〇九	三、〇三	三、〇三	三、〇三	二、四、八	二、九、三	二、六、七	二、〇、三
昭和二年	總生産	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	二、四、〇	二、九、三	二、六、七	二、〇、三
昭和五年	總生産	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	二、四、〇	二、九、三	二、六、七	二、〇、三

4、死産表

年	内地	本島	人	蕃	外國人	計	摘要
昭和三年	三、五	三、六	三、八	三、〇	三、二	一六、一	三三、七
昭和四年	三、七	三、七	三、七	三、〇	三、五	一五、五	三三、三
昭和五年	三、〇	三、一	三、二	三、五	三、九	一七、一	三三、〇

二 防疫事務

年	内地	本島	人	蕃	外國人	計	摘要
昭和元年	一八	六四	二一	二一	二	一〇五	
昭和二年	一六	六六	二五	二五	一	一〇七	
昭和三年	二〇	六八	二八	二八	三	一〇九	
昭和四年	一七	六〇	二八	二八	二	一〇七	
昭和五年	一〇	六六	二五	二五	一	一〇二	

(一) 傳染病

應トニ發生スル傳染病ハ腸チフス、バラチフス、赤痢、チフテリア及流行性腦脊髄膜炎ノ五種類ニシテ其ノ他法定傳染病ノ發生ナシ就中腸チフスハ毎年四季ヲ通シ發生シ五月乃至九月ヲ最多トシ傳染病中其ノ過半數ヲ占メ逐年減少ノ傾向アリト雖本年中三十四名ノ患者發生シ病毒ハ廳下各街庄區及蕃地ニ散慢セリ就中花蓮港市街ニ在リテハ累年腸チフス多發ニ鑑ミ之カ豫防消毒實施ニ關シ臨時豫算ノ配賦ヲ受ケ市街全部ニ對シ豫防注射ヲ施行シ七月十五日以降十一月三十日迄各戸ノ便所塵芥箱ノ消毒、蠅ノ買收ヲ爲ス等極力防遏ニ努メ

タル結果其ノ成績良好ニシテ腸チフス患者發生ハ前年十九名ニ比シ本年十四名ナリ

昭和五年中廳下ヲ通シ傳染病發生數ハ四十一名保菌者三名ニシテ既往ニ於ケル傳染病患者表左ノ如シ

傳染病既往患者表

年次	痘		腸チフス		バラチフス		赤痢		チフテリア		流腦		計
	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	
大正五年													一〇八
大正十年													一〇八
昭和元年													一〇八
昭和二年													一〇八
昭和三年													一〇八
昭和四年													一〇八
昭和五年													一〇八

昭和五年中支廳別患者表

支廳別	腸チフス		バラチフス		赤痢		チフテリア		流腦		計
	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	
花	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
鳳	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
玉	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六
研	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六
計	一〇	七	七	七	七	七	七	七	七	七	三〇

保菌検査

昭和五年中應細菌試驗室ニ於テ保菌検査人員左ノ如シ

- 一、腸チフス 一、六二八人
- 一、バラチフス 一人
- 一、細菌赤痢 一人
- 一、アメバ赤痢 一人
- 一、流 腦 炎 一人
- 一、デフテリア 一人
- 計 一、六二八人

(二) 地方病

(イ) マラリア防退

由來應下衛生状態ノ不良ナル原因ハ本病ニシテ四季ヲ通シ猖獗ヲ極メ其ノ死亡率最モ多數ヲ占ム明治四十四年樞要ナル地域花連港、玉里ノ兩市街二箇所ニ防退事務ヲ開始シ爾來應地方費豫算配賦ヲ受ケ病毒濃厚ナル地域ニ逐年擴張シ施行地三十四ヶ所ヲ算シ極力防退ニ努メタル結果患者及原虫保有者ノ數年々遞減シ其ノ成績良好ナリ然ルニ應下過半ノ防退未施行地域人口三萬六千餘人ニ在リテハ本病濃厚ニシテ且本病ト密接ノ關

係アル黒水熱患者多發スル等局部的防退施行ハ其撲滅ヲ期スル上ニ於テ遺憾ノ點不尠ヲ認メ昭和四年度以降著地ヲ除ク應下全部ニ防退法ヲ施行シ内樞要ナル市街地又ハ村落二十四ヶ所人口三萬餘人ニ對スル防退方法トシテハ住民ノ年齢ヲ四十歳乃至六十歳ニ制限シ月一回乃至二回定期血液検査ヲ行ヒ發見シタル原虫保有者蚊患者ニ對シテハ三十日ノ内十八日間鹽酸キニーネヲ幼兒及黒水熱既往症者ニハ「オイヒニン」ヲ無料投藥シ其ノ他一般ニ對シテハ防蚊方法トシテ蚊帳ノ使用蚊取線香ノ煙煙ヲ驅蚊方法トシテ蚊族發生又ハ棲息防止ヲ目的トスル地物整理清潔法ヲ常時勵行スルノ外マラリア防退デイトシテ月一回日割ヲ定メ住民總出一齊ニ之ニ當ラシメ受持警察官吏及駐在檢鏡手ヲシテ指導督勵セシメツツアリ

其ノ他血液検査ノ方法トシテ從來薄層法ヲ用ヒ來リタルモ厚層法ト比較對照研究ノ結果原虫發見率ニ於テ示檢鏡時間ニ於テ厚層法ハ薄層法ニ優ルヲ認メ漸次厚層法ニ改ム可ク目下各檢鏡手ヲシテ之カ講習ヲ爲サシメツツアリ

現在マラリア防退法施行地ハ街庄區域全部ニシテ内檢血服藥施行地域左ノ如シ

昭和五年十二月三十一日現在

施行年次	施行地域	現住人口	被檢血人口	防退事務所所在地	摘	要
明治四十四年	花 蓮 港	一、五七三	一、〇九四	花 蓮 港		
同	玉 里 村	二、六八六	一、七七五	玉 里 村		
大正元年	壽 村	一、〇九四	六三八	壽 村		

支	蓮	花	別支	處	服	藥	地	年未現在人口	検査血延人員	検血延人員	原由延人員	検査延人員	患者	死亡
里	薄	荳	軍	歸	十	加	平	米	花					
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六					
一、四八〇	一、四八〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
一、四一〇	一、四一〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
六八四	六八四	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
一、四八〇	一、四八〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
一、四一〇	一、四一〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
六八四	六八四	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
一、四八〇	一、四八〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
一、四一〇	一、四一〇	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六
六八四	六八四	三二一	五〇〇	五六一	三七八	二五八	一四三	一、五七三	一、五二七	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六	一、四九六

マラリア防遏検査成績表

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
計	萬里	平林	軍成	歸化	十股	大和	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人
三六、三七六	三三三	八七八	三二二	五〇〇	五六一	四〇二	八七六	八七六	八七六	八七六	八七六	八七六	八七六	八七六
二八、二二六	三七三	七三三	二七八	四三一	五四四	三二一	八四四	八四四	八四四	八四四	八四四	八四四	八四四	八四四
二七	萬里橋派出所	平林派出所	十股	大和派出所	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人	頭人

昭和五年中

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			
昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭			
和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和			
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五			
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年		
下	末	北	漢	平	加	賀	大	太	米	三	大	馬	里	荳	薄	公	拔	瑞	豐	林	吉	鳳	
勝	廣	野	口	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
二、七五二	二、三九三	六九〇	一、一八三	一、七〇四	一、九八一	一、一〇五	一、四一〇	一、四八〇	六八四	三、一〇七	一、〇九二	七〇七	一、四三	二、九一八	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一
四二五	五三四	三四〇	三四一	二四八	三三四	二六一	一六五	二、二五七	一〇七	四六六	八五七	二、五〇一	五五〇	二、二五七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七	一、一〇七
下	末	北	漢	平	加	賀	大	太	米	三	大	馬	里	荳	薄	公	拔	瑞	豐	林	吉	鳳	
勝	廣	野	口	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
二、七五二	二、三九三	六九〇	一、一八三	一、七〇四	一、九八一	一、一〇五	一、四一〇	一、四八〇	六八四	三、一〇七	一、〇九二	七〇七	一、四三	二、九一八	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一	二、二一一

一八〇